

中國美女傳稿

朽
尾
武

一、中國美女の輪郭

二、美女の規律

(1) 美女の語義について

(2) 美女を表現する語

字書における解釋

(A) 爾雅釋訓

(B) 方言

(C) 說文解字を中心

とした字書

(3) 徐震の美人譜に於ける美女の屬性

三、美女の描寫の方法

— 曹植の洛神賦と後漢書梁冀妻について —

四、資料篇

一、中國美女の輪郭

悠久の中國史において美女の輪郭を描くことは凡夫のよくするわざではないが、あえてその概論を試みることにする。中國の美女を知るには中國人が歷代の文獻で美女と認めたものを調査するのが最も近道である。人それぞれに好みもあることで、資料の選擇にも注意を要するが、この度筆者が調査の對象としたものは次のものである。

(A) 唐・歐陽詢撰・藝文類聚卷十八 人部二 美婦人 中華書局版
(B) 唐・徐堅等撰・初學記卷十九 人部下 美婦人 中華書局版

(C) 北宋・李昉等撰・太平御覽卷三十八 人部二十一 美婦人上・下 中華書局版

(D) 清・張英等撰・淵鑑類函卷五十五 人部十四 美婦人 臺灣新興書局版

(E) 清・蔣廷錫等撰・古今圖書集成 明倫彙編 閨艷部卷五〇〜二六〇 臺灣文星書店版

(F) 清・徐震堦撰・美人譜 香艷叢書一集卷一 臺灣古今書局版

右の書を基礎にして一覽表を作ったが、中國美女傳においては氷山の一角をかいまでたに過ぎない。將來一書をものするときに缺を補いたい。

中國の美女を遊ぶよりどころとして、古今圖書集成の閨艷部列傳々が美人譜に限定して選定した。美人譜では次のようにな

類がなされてゐる。

古来美人の足思慕者共得十六人

西子 毛嫱 夷光 李夫人 卓文君 班婕妤 王昭君 趙飛燕 合德 蔡琰 二喬 綠珠 碧玉

張麗華 侯夫人 楊太真 崔鶯鶯 關盼盼 蘇蕙 非烟 柳姬 霍小玉 貞娘 朱淑真 花蕊夫人

古来名媛有足當美人之目者共得六人

紅拂 李娃 薛濤 紫雲 蘇小 琴操

古来婢妾有足當美人之目者共得四人

翻風 石崇婢 樊素 小蠻 俱白樂天妾 朝雲 東坡妾

次に古今圖書集成の引く四十六人と右をあわせて示す。○印集腋と共通のもの、△印漢人譜のみに見えるもの

(a) 周 1 驪姬 2 南之威 3 夏姬 4 白台 閭須 ⑤ 西施・鄭旦 ⑥ 毛嫱 △ 夷光 8 趙武靈王寵后 9 楚王夫人

鄭襄 10 陰姬 11 趙悼倡后

(b) 秦末 12 虞姬 (美人)

(c) 前漢 △ 李夫人 ⑭ 卓文君 ⑮ 王嬪 (昭君) △ 班婕妤 △ 趙飛燕 △ 合德 附麗嬙

後漢 17 梁冀妻孫氏 20 馮方女 △ 蔡琰

(d) 三國 22 曹氏 (共女) ⑳ 橋公二女 (二喬) ㉔ 孫亮四姬 附薛靈芸 蜀甘后

(e) 晉 25 賈午 △ 綠珠 ㉗ 翻風 28 高柔妻胡氏 29 李勢妹 30 大村氏 △ 蘇蕙

(f) 南齊 △蘇小

(g) 梁 33 劉孝儀妹 34 羊侃妾

(h) 陳 35 張麗華

(i) 隋 ◎紅拂

(j) 唐 37 張嘉貞女 38 餅師妻 39 裴六郎 △楊太真(貴妃) 41 虢國夫人 ◎42 章臺柳(柳姬) 43 紅綃 44 薛瑤英

45 劉無雙 ◎46 崔寶鸞 47 沈真真 48 崔護妻 49 湖州里姚女 ◎50 步非烟 △51 碧玉 △52 關盼盼 △53 霍小玉 △54 李娃

△55 薛濤 △56 紫雲 △57 樊素 △58 小蠻 附 浙東舞女

(k) 五代 59 素娥 △60 花蕊夫人

(l) 前蜀 61 順聖太后徐氏 附 聖太妃 附 62 趙解愁

(m) 南唐 63 仲夫人 64 黃氏

(n) 宋 65 張從恩繼室黃氏 66 狄氏 △67 朱淑真 △68 琴操 △69 朝雲

(o) 明 70 江清妻吳氏 71 董小宛 72 柳如是 73 李香君 74 顧橫波 75 王玉京 76 陳圓圓 77 馮小青 78 曼殊 79 弱

文 80 王翠翹 81 蓮兒 82 張麗人 83 秀雲 84 瓊枝 曼仙(77) 84 林慧如(明代戲園の美人譜による)

(p) 未詳 △85 侯夫人 △86 貞娘(貞娘) ↓ 唐に入れらるるもの 貞娘墓のところに参照。

右の美女の選擇にはかたよりがあるが美女として認めて支障はない次にその概略を亦し中國の美女の姿を再現してみた。

驪姫

國語 晉語一(6)

獻公伐驪戎克之滅驪子獲驪姫以歸立爲夫人人生義齊其姊生季子驪姫請使申生主曲沃以速應重耳處蒲城夷吾處絳城絳城以傲無辱之故公許之史蘇朝告大夫曰二三大夫其戒之乎亂本生矣日君以驪姫爲夫人人民之疾心固皆至矣今君滅其父而畜其子禍之甚也重耳子文從其欲子思報父恥而信其欲雖好色必惡心不可謂好好其色必授之情彼得其情以厚其欲從其惡心必敗國且深亂亂必自文或三代皆然驪姫果作難殺太子而逐二公子

申生をして曲沃を主とし驪子を滅し驪姫を獲て以て歸り立てて夫人と爲す義齊を主む其の姊季子を生む驪姫請ふらく獻公驪戎を伐ちて之に克ち驪子を滅し驪姫を獲て以て歸り立てて夫人と爲す義齊を主む其の姊季子を生む驪姫請ふらく申生をして曲沃を主とし驪子を滅し驪姫を獲て以て歸り立てて夫人と爲す義齊を主む其の姊季子を生む驪姫請ふらく驪の故無からんと公之を許す史蘇朝して大夫に告げて曰く二三の大夫其れ之を戒めよ亂本生れり日に君驪姫を以てて夫人と爲し時民の疾心固より皆至れり今君其の父を滅して其の子を畜ふは禍の基なり其の子を畜ひて又其の欲を從にせしめば子は父の恥を報せんことを思ひて其の欲を信べん好色と雖ども必ず惡心なり好しと謂ふ可からず其の色を好すれば必ず之に情を授けん彼れ其の情を得て以て其の欲を厚くし其の惡心を從にせば必ず國を敗り且つ亂を深くせん亂必ず女戎よりす三代皆然りと驪姫果して難を作し太子を殺して二公子を逐へり

春秋公羊傳 僖公十年(3)

驪姫者國色也其類色一國之選

驪姫は國色なり其の類色一國の選なり

驪姫は麗姫とも書かれる。春秋時代晉の獻公は驪戎を伐ち、克つてつれ歸つて夫人とした。奚齊と卓子の二子を生んだ。驪姫は奚齊を立てようとして公子達を放い、また太子の申生を殺し、重耳、夷吾の二公子を逐つた。獻公の死後、奚齊、卓子は里克に殺され、姫もまた殺された。驪姫については右のほか、春秋左氏傳、呂氏春秋、春秋穀梁傳、說苑、淮南子、潜夫論、論衡、莊子等、その名が見える。驪姫が美女であつたことは莊子の齊物論にも毛嬙、麗姬人之所美也、魚見之深入、鳥見之高飛（毛嬙、麗姬人の美とする所なり、魚之を見れば深く入み、鳥之を見れば高く飛ぶ）といっている。毛嬙、麗姫は美女といわれているが、魚や鳥は現れて逃げてしまふ。だから何が美しいのか、決めかねるというのである。

驪姫は確かに美女であつたのだが、どのような美女であつたか、知ることはできない。公羊傳に言う國色とは國姝、國城、國吾、國容等の類語があり、國第一の美女をいう。尚、明の錢希言は戲瑕の莊子や宋之問の沅湘篇に於いて、後世ではついに、沈魚落雁之容と美女のことを稱するようになったという。色（美色）は魚鳥のみならず、草木をも感じさせると結論する。この解釋は莊子の本文の見解に相反するものではあるが、後世では魚鳥もその美に感ずるという意味に轉じたものであろう。

之南之威

戰國策 魏策(2)

晉文公得南之威、三日不聽朝、遂推南之威而遠之、曰、後世必有以色亡吾國者。
 晉の文公、南之威を得て、三日、朝を聽かず。遂に南之威を推して之を遠ざけて曰く、後世必ず色を以て其の國を亡す者あらんと。

抱朴子 博喻

抱朴子曰、南威、青琴、姽治之極、而必依盛飾以增麗。

抱朴子曰はく南威、青琴、姽治の極みなり。而して必ず盛飾を俟って以て麗を増す。

戰國策にいう色は美色である。南之威は春秋時代の晉の美女である。文公はこの美女を得て三日、政治を怠ったが、色が國を亡すことを憂え、これを遠ざけたという故事。六韜、文伐に戰わずして文事を用いて人を伐つ法十二を示すがその四に、「輔其淫樂、以廣其志、厚賂珠玉、娖以美人、卑辭令聽、順命而合彼將、不爭好節乃定。」其の淫樂を輔けて、其の志を廣くし、厚く珠玉を賂ひ娖し、まじむるに美人を以てし、辭を卑くして令しく聽き、命に順ひて合せよ、彼れ將に爭はずして、好節乃ち定まらんとす。」と述べられ、美女が政治の具に使われている當時のようすがうかがわれる。青琴は神女の名で、漢書の司馬相如傳にも、「青琴處妃之徒、絕殊離俗。」青琴、處妃の徒、殊を絶し、俗を離る。」といわれている。姽治は美しくなまめかしいやま。

3 夏姬

列女傳 孽嬖傳 陳女夏姬

陳女夏姬者、大夫夏徵舒之母也。其狀美好無匹。内拔技術、蓋老而復壯者。三爲王后、七爲夫人、公侯爭之、莫不遂或失意。

陳女夏姬は大夫夏徵舒の母なり。其の狀美好無匹なり。内、技術を拔む蓋し老いて復た壯なる者なり。三たび王后と爲り、七たび夫人と爲る。公侯之を爭ひ、迷惑して失意せざるものなし。

前漢の劉向の列女傳に見えり夏姬の傳記は孽嬖傳に採られたものであるが、孽嬖とは氣に入りの妾をいうが、劉向の小序に、「惟若孽嬖亦甚嬖易淫如嬰或背節棄義指是爲非終被禍敗。」惟よに若し孽嬖は亦た甚だ嬖易淫如嬰、或は背き節を棄て、義を棄て、是を指して非と爲し、終に禍敗を被る。」と解かれる淫亂な美女をいう。夏姬傳の初めの部分のみ引用したが、詳細につ

いては原文を参照されたい。尚、薛靈傳の一語には惡名高い衆の妃めかけ木喜の傳が見える。「木喜者夏衆之妃也。美于色。善于德。亂華無道。女子行丈夫也。佩劍帶冠。然既其禮義。女子婦人求美女。積之於後宮。」木喜は夏の衆の妃なり。色に美にして、德に善く、亂華無道なり。女子にして丈夫の心を行ひ、劍を佩し冠を帶ぶ。然既に禮義を棄てて婦人に淫し、美女を求めて之を後宮に積む。紂の姐已、幽王の褒姒等もまたここに列せられる。

夏姫については春秋左氏傳（資料番號ノ以下同）、詩經陳風（詩ノ、救權記ノ）、西京賦（山海經圖讚、中山經、荀草等にその名が見える。文選所收の張衡の西京賦には後宮の美女を稱して、「妖麗妃夫夏姫、美聲暢於虞氏」）、林靈の夏姫よりも艶はしく、美聲虞氏よりも暢ぶ」といひ、山海經圖讚には「荀草赤實、厥狀如管、婦人服之、綠色易顏、夏姫是艶、厥媚三遷、荀草は亦實、厥狀の如し、婦人之を服し、色を練て顔を易ふ、夏姫是に艶、厥の媚三遷す」と書かれる。山海經中山經の「名曰荀草、服之美人色」(名づけて荀草と曰ふ、之を服すれば人色を美にす)という文についての晋の郭璞の證であるが、本文の注で、「今人更美艶(人をして更に美艶せらしむ)」といひ夏姫もまたこの荀草を服し練て顔に塗って化粧したことであらうと想像したものであらう。

4 白台・閭須

戰國策 魏策(25)

左白台而右閭須、南威之美也。

白台を左にして閭須を右にするは、南威の美なり。

南威の美とは南威のような美人の意。白台・閭須ともにこれ以上傳を詳かにしない。

たり。西施、鄭旦といふ。注會稽志、若羅山は諸暨縣の南五里に在り。輿地志、諸暨縣の若羅山は西施、鄭旦の居せし所なり。
注道志、勾踐、美女を素め以てて吳王に獻す。之を諸暨の若羅山に得たり。實新の女なり。西施山下に浣沙石有り。飾々に羅縠を以てし、教ふるに容歩を以てし、土城に習はしむ。注越書、越土城は會稽縣東六里に在り。都巷に臨んで三年學に服して吳に獻じたり。乃ち相國の范蠡をして進めしめて曰く、越王勾踐に竊かに遭逢する二女有り。越國下困迫し、敢て稽留せず。謹んで臣妾として之を獻せしむ。大王、鄙陋、腹容を以てせず。注貌、揚々たるを寢と曰ひ、通じて寢に作る。漢、顔に寝は陋なり。又貌醜、々々を或ひは侵に作る。史記、魏其不實、嬰之傳、武安の貌侵短小とは醜惡を謂ふなり。願くは納れ以て箕帚の用に供されんことを。吳王大いに悦んで曰く、越二女を貢ぐは乃ち勾踐の忠を吳に盡す證なりと。子胥諫めて曰く、不可なり。王受くる勿れ。臣聞けり。五色は人の目をして言をらしめ、五音は人の耳をして聲をらしむ。昔、桀、湯にありて滅び、紂、文王にありて亡べり。大王、之を受くれば後必ず殃有り。臣聞けり。越王朝に畫りて俸まらず、胸に誦して竟死なり。且つ敢死の士數萬を聚めり。是れ人死なずんば必ず其の願ひを得るなり。越王誠に服し、仁を行ひ、諫を聽き、賢を進めり。是れ人死なずんば必ず其の名を成さん。越王、夏に毛裘を被冬、綿給を御ふ。是れ人死なずんば必ず對隙をなさん。臣聞けり。賢士は國の寶、美女は國の外なりと。夏の亡は妹喜を以てし、殷の亡は妲己を以てし、周の亡は褒姒を以てすと。注桀有施と伐ち、有施氏妹喜を以てて女あはす。爲に寵有りて夏を亡す。紂有蘇を伐ち、有蘇氏妲己を以てて女あはす。爲に寵有りて殷を亡す。幽王有褒を伐ち、有褒の人褒姒を以てて女あはす。爲に寵有りて伯服を主み、太子宜臼を逐ち、太子申に奔り、申人縉を與ふ。西戎、幽王を攻め、周是に於て亡べり。妹喜、木、喜音嬉なり。吳王、聽かず、遂に其の女を受く。越王曰く、善なる哉と。

嘉興縣：南一百里有詒兒亭。勿踐令范蠡取西施以獻夫差。西施於路與范蠡相遇。三年始達於吳。遂生一子。至此亭。其子一歲能言。因名詒兒亭。越絕書曰：西施亡吳國後復歸范蠡。居之五湖而去。

嘉興縣：の南一百里に詒兒亭有り。勿踐范蠡として西施を娶め以て夫差に獻せしむ。西施路に於て范蠡と遇かに通す。三年にして始めて吳に達し遂に一子を生む。此の亭に至り其の子一歳にして能く言ふ。因りて詒兒亭と名づく。越絶書に曰く西施吳國を亡れし後復范蠡に歸し同じ五湖に遊んで去れりと。

莊子 天運

西施病心而顰其里其里之醜人見而美之歸亦捧心而顰其里其里之富人見之堅閉門而不出貧人見之挈妻子而去之走彼知美顰而不知顰之所以美

西施心を病んで其の里に顰す其の里の醜き人見て之を美とす歸りて亦に心を捧げて其の里に顰す其の里の富人を見之堅く門を開ちて出でず貧き人を見之を見て妻子を挈いて之を去て去く彼れ顰を美とするを知て顰の美なる所以を知らず

淮南子 脩務訓 (36)

曼頰皓齒形容骨佳不符脂粉芳澤而性可說者西施陽文也後漢高誘注曼頰細理也今弱也佳好也性猶姿也西施陽文古之好女清莊達古注文選注引許晉注云陽文楚之好人也

曼頰皓齒形容骨佳不符脂粉芳澤を待たずして性説可き者は西施陽文なり注曼頰は細理なり今は弱なり佳は好きなり性は猶ほ姿のごとし西施陽文は古の好き女なり文選注に引く許晉の注に云ふ陽文は楚の好き人なりと

西施鄭旦は春秋時代の越の美女である鄭旦について述べられることすくなかもっぱら西施について語られる二女

共に今の浙江省諸暨縣の苧蘿山で新貴りをしていた女である。越王勾踐が吳王夫差に會稽に敗れ再起を試みるにあたり、好色な吳王夫差の心を亂し、政事を怠らせろべく、范蠡に命じて二女を索め、夫差に獻上する。これに允立ち、羅穀(ろこく)の言を容れず二女を寵愛し、國を亡ぼしてしまふ。この二女を吳に運ぶことになつた范蠡は、吳地記によれば西施に通じ、子を儲けるが、これはおそろく後世の作り話であらう。鄭旦はいつの間にか姿を消すが、西施は吳の亡んだ後も生存し、范蠡のもとに歸つて五湖に遊んだとか、江に沈められたとか傳へられている。

西施はいつたいたいのようす美女であつたか興味のあるところであるが、淮南子の説く如く細腰の皮膚膚のきめこまやかな美女であつたようだ。皓齒といつてゐるので齒も白く美しかったであらう。當時楚でも王が細腰を好み、餓死者が出た(野客叢談)といわれるくらいで、美女に對する好みを物語るものである。

莊子の故事は豫氷に「西施捧心」と題されるくらい有名な話で、西施が心を病んで咳をするたびに眉をしかめた顰(こ)皺(し)が美しかったので、醜女(こ)がよねをしたが、あまりの醜狀に皆女をかくしたといふ。外形にのみとらわれて、本質を見失つことの例えに使われ、顰(こ)皺(し)に倣(な)つてゐる。

西施にまつわる逸話は数多くあるが、別の機會に譲りたい。尚後世のものであるが、關名の西施顰(こ)皺(し)演義がある。

△毛嬙

毛嬙は西施と並稱される美女であるが、その傳は明確でない。イの驪姫のところでも既に引用しておいたが、「毛嬙驪姫人之所羨也」(毛嬙・驪姫人の羨しとする所なり)「莊子・齊物論」といひ、管子・小稱(の)「毛嬙・西施天下之美人也」(毛嬙・西施は

天下の美人なり。潘子の毛嬗・西施、天下之至姣也（毛嬗・西施は天下の至って姣きものなり。淮南子、説林訓の西施毛嬗、狀貌不可同、世稱其好美鈞也。）西施・毛嬗は狀貌同じうす可からずして、世其の好きを稱す、美鈞しければなり。）と稱するが、どのような美人かわからない。宋玉の神女賦には、神女之姣麗兮、陰陽之渥飾被華藻之可好兮、若羽翠之奮翼、其象無雙、其美無極、毛嬗鄒秋不足程、西施掩面比之無色、神女之姣麗なる、陰陽の渥飾を名ひ華藻の女すべきを被り羽翠の習翼を奮ふが、若く其の象雙なく、其の美極りなし。毛嬗も秋を飾りて、西施も面を掩ひて、之に比ぶるに色なし。と神女之美には毛嬗・西施も顔色なしとするが、これはまた毛嬗・西施が天下の美女の規準となつてゐることを示してゐる。詩話や隨筆類で指摘されるように、詩文では美女を表現するに美しいことはで飾りたるので、仲々本當の姿はつかぬが、文學作品として鑑賞するに、面白い看過すべきものである。

△夷光

太平廣記卷二七二、美婦人の部には夷光をはじめとして、麗嬋、趙飛燕、薛靈芸、孫亮姬、朝姝、蜀甘后、石崇婢、翻風、浙東舞女が見える。夷光の傳記もほゞ曖昧で、拾遺記の注によると、夷光と修明は西施・鄭旦の別名とする。古今圖書集成もこの注に由つて、西施・鄭旦の部に附してゐる。

拾遺記の周靈王 太平廣記所收

越謀滅吳、番天下奇寶、美人異味、以進於吳、得陰筆之璫、古皇之璫、相沆之璫、又有美女一名夷光、二名修明、以貢於吳、吳處於椒花之房、貫細珠以爲簾幌、朝下以蔽景、夕卷以待月、二人當軒並坐、理鏡觀粧於珠幌之內、竊窺者莫以不動心、鸞鳥魂謂之神人、吳王夫差目之、若雙鸞之在輕霧、泚水之漾秋葉、妖惑既深、急於國政、及越兵入國、乃抱二人以逃吳苑。

越軍既入見二人在竹樹下皆言神女室而不侵今吳城地門內有折林尚為祠神女之處

越は吳を滅せんことを謀り天下の奇寶美人異味を畜へ以て吳に進む陰峯の孫古皇の驢湘沅の鱉を得又美女有り一と名光と名づけ二と修明と名づるものを以て吳に貢ぐ吳は椒花の房に二女を處き細き珠を貫き以て簾櫳を卷り朝は下して以て景を蔽ひ夕には巻いて以て月を待つ二人は軒に當りて並んで坐せり鏡を理き珠幌の内に觀粧す竊に窺ふ者心を動かし魂を驚かされざるは莫し之を神人と謂ふ吳王夫差之を目するに雙鸞の輕霧爭に在り水の漾に止まる秋藻の若し(吳王の)妖惑既に深き國政を怠る越兵の國に入るに及んで乃ち二人を抱いて以て吳苑に逃る越軍既に入り二人の竹樹の下に在るを見て皆神女と言ひ望めども侵さず今吳城地門内に折林あり尚ほ神女を祠り處と爲せり(今流布している拾遺記と異同あり)

8 趙武靈王惠后(孟姚)

史記 趙世家

武靈王十六年王遊大陵他日王夢見處女鼓琴而歌詩曰美人榮榮兮顏若名之榮命乎命乎曾無我意晨日王飲酒樂數言所夢見其狀吳廣聞之因夫人而內其女娃嬴孟姚也昔有寵於王是爲惠后

武靈王十六年王大陵に遊ぶ他日王夢に處女琴を鼓して歌ふを見る詩に曰く美人榮榮たり顔は若の榮の若し命乎命乎曾無我意と云ふ夢を言ひ其の狀を想ひ見ふ吳廣之を聞き夫人に因りて其の女の娃嬴(あや)す女は孟姚を内るなり其日王に寵有り是れを惠后とす

列女傳 孽嬖傳 趙靈吳女傳

趙靈吳女者號孟姚。吳廣之女。趙武靈王之后也。初武靈王娶韓王女爲夫人。生子章。立以爲后。章爲太子。王嘗夢見處女鼓瑟而歌曰。美人兮。榮兮。願若若。若之榮。命兮。命兮。逢天時而生。曾莫我。我。羸。羸。異日。王飲酒樂。數言新夢。想見其人。吳廣聞之。乃因后而入其女孟姚。其有色焉。王愛幸之。不能離。數年生子。子何。孟姚數微言。后有孕。意太子無慈孝之行。王乃廢后與太子。而立孟姚爲后。以何爲主。是爲惠文王。武靈王曰封章於代。號安陽君。四年。朝羣臣。安陽君若夫。朝主父。從旁觀。羣臣宗室見章懷然也。及旦。於第。心憐之。是時惠后死。父思哀。乃欲分趙而王章於代。計未決而輟。主父游沙丘宮。章以其徒作亂。李兌乃起四邑之兵。擊章。章走主父。主父聞之。兌因圍主父宮。既殺章。乃相與謀曰。以章圍主父。即解兵。言屬表矣。乃遂圍主父。主父欲出不得。又不得食。乃掘倉穀而食之。三月餘。遂餓死沙丘宮。詩曰。流言以對。寇攘式內。言不善之從內出也。

頃曰。吳女名類。神密趙靈。既見變近。惑心乃生。廢后與我。子何是成。主開沙丘。圖以亂傾。

趙靈の吳女は孟姚と號す。吳廣の女。趙武靈王の后なり。初め武靈王、韓王の女を娶つて夫人と爲し、子章を生む。立てて以つて后と爲し、章を太子と爲す。王嘗て夢に處女瑟を鼓して歌ふを見る。曰く、美人、羸羸たり。類は若の榮の若し。命なりかな。命なりかな。天の時に逢うてはる。曾て我れを羸羸とするもの莫しと。異日、王、酒を飲んで樂しむ。數々夢むる所を言ひ、其の人を見んことを想ふ。吳廣之を聞き、乃ち后に因りて、其の女孟姚を入る。甚だ色あり。王之を愛幸して離るる能はず。數年にして子何を生む。孟姚數々微言すらく。后淫意あり。太子慈孝の行なしと。主乃ち后と太子とを廢して、孟姚を立てて惠后と爲し、何を以つて王と爲す。是を惠文王と爲す。武靈王自ら主父と號し、章を代に封じて、安陽君と號す。四年にして羣臣を朝し、安陽君來朝す。主父旁より觀て、羣臣宗室を從ふ。章の懷然として目々弟に反すを見て、心々を憐れむ。是の時惠后死して、父思哀ふ。乃ち趙を分ちて章を代に王とせんと欲す。計未だ決せずして輟む。主父沙丘の宮に遊ぶ。章其の徒を以つて亂を作す。李兌乃ち四邑の兵を起して

章を撃つ。章主父に走り、主父之を問ふ。見因つて主父の宮を圍み、既に身を殺し、乃ち相與に謀つて曰く、章を以つて主父を圍む。即ち兵を解かば、吾が屬夷けられん。乃ち遂に主父を圍む。主父出でんと欲するも得ず。又食を得ず。乃ち雀の糞を搗つて之を食ふ。三月餘にして遂に沙丘の宮に餓死す。詩に曰く、流言以て對ふ、寢内（寝内）に式（しき）ひればなり。と。不善の内より出づるを言へるなり。

頌に曰く、吳女苕の類、神趙靈を（趙靈）、既に見て、寢近し、惑ひ、乃ち生ず。后を廢（廢）、我を興（興）し、子何是れ成れり。主沙丘に閉ぢ、圖以つて亂れ傾く。

惠后が美女であることを伺ふ手掛りは、武靈王が夢にまで想ひ愛幸して止まなかつたこと、美人熒熒たり、類は苕の榮の若し、甚だ色ありといつた抽象的な語のみである。類を苕に例えらるが、苕とは史記の基毋遠の注では「陵苕之草、其華紫（陵苕の草なり、其の華紫なり）」といひ、江表は本草經を引いて「陵苕、生下濕水中、七八月生華紫、草可以染帛、煮沐頭髮即黑也（陵苕は下濕水中に生ず、七八月華を生じ紫なり、草を以つて帛を染む可し、煮て頭髮を沐すれば即ち黒むなり）」と。詩經小雅、苕之華に「苕之華、芸其黃矣（苕の華、芸として其れ黃なり）」と言かれてゐるのによる。この陵苕は鄭玄の箋に華は紫赤であるとし、孔穎達疏では「陵苕之華、本紫赤而繁多、至今亦然、其色黃而衰矣（陵苕の華は本とは紫赤にして繁多なり、今に至つて亦た若然として其の色黄にして衰ゆるなり）」と解釋してゐる。苕は陵に初めは紫赤でやがて黄色になつて凋むという。この花の本は和名のうせんかずらといわれるもので、蔓性で黄赤色の花をつける。満開になる前は紫赤色といえる。色や形は華やかである。一方江表では「注詩疏云、苕、饒也、幽州謂之饒、饒、蔓似豇豆而細、葉似荳蔻而青、其華細綠色、可生食、味如小豆、實也（苕は苕饒なり、幽州之を饒饒と謂ふ、蔓は豇豆に似て細く、葉は荳蔻に似て青し、其の華は細く綠色にして生食すべく、小豆に似て）

豆の薔の如きなり」といひ、詩經の陳風防有鵲巢の、邛有旨苕（苕に旨き苕あり）の孔穎達の疏である。ここていう苕はえんじうである。

憲后の印象からすると、あまり華美とはいへぬ、えんじうの花よりも、大振りて派手な、のうぜんかずらの方かあさわしい。

9 楚王夫人鄭張

張儀之楚、貧、舍人怒而歸。張儀曰：「子必以衣冠之敝故欲歸。」子待我爲子見楚王。當是之時，南后鄭張貴於楚。張子見楚王，不說。張子曰：「王無所用臣，臣請北見晉君。」楚王曰：「諾。」張子曰：「王無求於晉國乎？」王曰：「黃金珠玕犀象，不於楚，實人無求於晉國。」張子曰：「王徒不好色耳。」王曰：「何也？」張子曰：「彼鄭南之女，粉白墨黑，立於衢間，非知而見之者，以爲神。」楚王曰：「楚僻陋之國也，未嘗見中國之女如此其美也。」實人之獨何爲不好色也？乃資之以珠玉。南后鄭張聞之，大恐，令人謂張子曰：「妾聞將軍之晉國，偶有金千斤，進之左右，以快芻蕘。」鄭張亦以金五百斤。張子辭楚王曰：「天下關不通，未知見日也。」願王賜之觴。王曰：「諾。」乃觴之。張子中飲，再拜而請曰：「非有他人於此也。」願王召所候習而觴之。王曰：「諾。」乃召南后鄭張而觴之。張子再拜而請曰：「儀有死罪於大王。」王曰：「何也？」曰：「儀行天下徧矣，未嘗見人如此其美也。」而儀言得美人是欺王也。王曰：「子釋之，吾固以爲天下莫若是兩人也。」（戰國策 楚策）

張儀楚に之いて貧し、舍人怒って歸らんとす。張儀曰く、子必ず衣冠の敝れどもを以っての故に歸らんと欲せば、子待て、我れ子の爲に楚王に見えんと。是の時に當って、南后・鄭張楚に貴とし、張子楚王に見ゆ。楚王説ばず。張子曰く、王臣を用ふる所無し。臣謂ふ北のかに晉君に見えんと。楚王曰く、諾と。張子曰く、王、晉國に求むる無きかと。王曰く、黄金珠玕犀象は楚より出づ。實人晉國に求むる無しと。張子曰く、王徒だ色を好まざるのみと。王曰く、何ぞやと。張子曰く、彼の鄭・南の女、粉白墨黑して衢間（きうかん）に立たば、知ってこれを見る者に非ずんば、以って神と爲さんと。楚王曰く、楚は僻陋の國なり、未だ嘗て中國の女の此の如

く其れ美なるを見ず。寡人それ獨り何爲れぞ色を好まざらんや。乃ち之に資するに珠玉を以て。南后・鄭張之を聞いて大いに怒れ。人をして張子に請はしめて曰く、妾聞く將軍晉國に之くと。偶、金千斤あり之を左右に進めて、以て劉林に供せよ。鄭張も亦金五百斤を以て。張子、楚王に辭して曰く、天下關を閉ぢて通ぜず。未だ見ゆる日を知らず。願はくは王之に觴を賜へ。王曰く、諾。乃ち之に觴す。張子、中飲にして、再拜して請ひて曰く、他人を此に有るに非ず。願はくは王便習する所を召して、之に觴せよ。王曰く、諾。乃ち南后・鄭張を召して之に觴す。張子再拜して請ひて曰く、儀、天下に死罪あり。王曰く、何ぞやと。曰く、儀、天下を行々こと徧ねし。未だ嘗て人の此の如く其れ美なるを見ず。而るに儀、美人を得んと言へるは、是れ王を欺ける也。王曰く、子之を釋け。吾固より以爲らく、天下、是の兩人に若くもの莫しと。

鄭張が、どのような美女であつたか判然としないが、楚王が愛幸したこと、張儀が褒め言葉ではあるが、「未だ嘗て人の此の如く、其れ美なるを見ず」といつてゐることでは知らずが、(論衡の)魏女色艶、鄭袖鼻之(魏女色艶にして鄭袖不愛之を鼻らしむ)といつてゐるのは、戰國策の楚策(威王)や韓非子の六微篇の故事に基づくもので、魏王が楚王に美人を遣つたところ、楚王は説んだ。鄭張は王が新人(魏の美人)に心をあせしめ、新人を愛することより甚だしかつた。王は、婦人が夫に事する所以のものは色であつて、妬むのは情である。いふかかわらず、鄭張は妬むことなく新人を愛することこれ以上である。こうして、王に妬心のないことを知らせておいて新人に、王はあなたの美しさを愛してゐる、けれどもあなたの鼻を惡んでおられる、王に見ゆるときは鼻をおおせと教える。新人が鄭張の教へに従つて鼻をおおうと、王は鄭張に、鼻をおおうのか尋ねる。そこで思ひせふりをしてから、王の鼻を惡むやうだと教える。怒つた王は新人の鼻を切りとらせる。この奸智に盡んだ鄭張は列女傳の孽孽傳に登場する系列の女性とすることができろ。

鄭康などの程度の美女であつたかはとわかくとして、絶對者としての美女ではなく、常に王の寵愛を引き止めようと妍習をめぐらす隣れではあるが、殘虐な性を持つ美女といえる。

10 陰姫

陰姫は戰國時代中山王の寵姫である。次に引く文は戰國策に見えるもので、中山王の臣、司馬喜が趙王に使つて陰姫のことを話さうとしたりである。

戰國策 中山策 (25)

中山王遣使見趙王曰、臣聞趙天下善爲佳麗人之所出也。佳麗人今者臣來至境入都邑觀人民諺俗容貌顏色殊無佳麗好美者、以臣所行多矣、周流無所不通、未嘗見人如中山陰姫者也。不知者、將以爲神力、言不能及也、其容貌顏色固已過絶人矣、若乃其眉目准頰權衡犀角偃月、彼乃帝王之后、非諸侯之姫也。

中山の王は司馬喜を遣はして趙王に見えて曰く、臣聞く趙は天下の善く爲す佳麗人の出づる所なりと。今者臣來つて、境に至り都邑に入り、人民の諺俗を觀るに容貌顏色殊に佳麗好美なる者無し、以ふに臣が行きし所多く、周流して通らざる所無きも、未だ嘗て人の中山の陰姫の如き者を見ざるなり。知らざる者は、特に以つて神力と爲す。言及ぶこと能はざるなり。其の容貌顏色固より已に人に過絶す。若し乃ち其の眉目准頰權衡犀角偃月は、彼れ乃ち帝王の后なり。諸侯の姫に非ざるなりと。陰姫の容貌が人に過絶し、その眉目准頰鼻とひとし、權衡はは骨と眉間、犀角は骨、偃月はひたいの骨、が帝王の右の骨相だという。神力は神のなせるわざ、神人とする本文もある。

77 趙悼倡后

倡后は趙の悼襄王の后であら。倡というのは、もと邯鄲の女倡であつたからである。

列女傳 孽嬖傳 趙悼倡后

倡后者邯鄲之倡趙悼襄王之后也。前日而亂一宗之族。既寡悼襄王以其美而取之。李牧諫曰不可。女之不正。國家所以覆而不安也。此女亂一宗。大王不畏主曰。亂與不亂。在寡人爲政。遂娶之。初悼襄王后生子嘉爲太子。倡后既入爲姬。生子遷。倡后既嬖妾於王。陰譖后及太子於王。使人犯太子而陷之於罪。王遂廢嘉而立遷。倡后爲后。及悼襄王薨。遷立。是爲幽閔王。倡后淫佚不正。通於春平君。多受秦賂。而使王誅其良將武安君李牧。其後秦兵徑入。莫能距。遷遂見虜於秦。趙亡。大夫怨倡后之譖太子及殺李牧。乃殺倡后而滅其家。共立嘉於代。七年不能勝秦。趙遂滅。爲郡。詩云。人而無禮。不死胡俟。此之謂也。

頌曰。趙悼倡后貪叨無定。廢廢后適執詐不慈。淫亂春平窮意所欲。受賂亡趙身死滅國。

倡后は邯鄲の倡にして、趙の悼襄王の后なり。前日一宗の族を亂して既に寡なり。悼襄王其の美なるを以て之を取ら。李牧諫めて曰く不可なり。女の正しからざるは國家覆つて安からざる所以なり。此の女一宗を亂る。大王畏れざるが。王曰く亂るると亂れざるとは寡人が爲政に在りと。遂に之を娶る。初め悼襄王の后、子嘉を生んで太子と爲す。倡后既に入りて姫と爲り、子遷を生む。倡后既に王に嬖幸せられ、陰かに后及び太子と王に譖し、人をして太子を犯して之を罪に陥れしむ。王遂に嘉を廢して遷を立て、后を黜けて倡后を立てて后と爲す。悼襄王薨するに及んで遷立つ、是れ幽閔王爲り。倡后淫佚にして正しからず。春平君に通じ、多く秦の賂を受け、王をして其の良將武安君李牧を誅せしむ。其の後秦の兵徑に入る。能く距ぐるもの莫し。遷遂に秦に虜られ、趙亡ぶ。大夫倡後の太子を譖し及び李牧を殺せしむるを怨み、乃ち倡后を殺して其の家を滅し、共に嘉を代に

立つ。七年秦に勝つ能はず、趙遂に滅んで郡となる。詩に云ふ人にして禮なくんば死せずして胡の何をか俟たんとは、此の譚をり。

頌に曰く趙悼の信后、食貝切にして足る無し。后適石を嫡子とを廢し、詐を執つて慙ならず。春平に淫亂し、意の欲する所を窮む。路を受けて趙を亡げし、身死して國を滅はす。

右の十一人が周代の美女である。今回は周代に限定して美女の概略を述べたが、秦以下は資料集を作るときに改めて加える予定である。美女が美女らしく描かれるようになるのは秦より後のものであり、この際は別表に譲ることとし、資料の所在のみを示しておこう。

汉虞姬（虞美人）

史記 項羽本紀 漢書 項籍傳 宋・沈括 夢溪筆談 樂章 詞譜 碧石漫志 清・沈雄 古今詞話 虞美人 清・俞樾 茶香室續鈔 虞美人 今印は詞曲と虞美人草について説いたもの。詩賦についてはミに引くのを省略。

李夫人

史記 外戚世家 漢書 外戚傳 樂府詩集 李夫人參照

卓文君

史記 司馬相如列傳 漢書 司馬相如傳 西京雜記 蒙求 文君當爐 採蘭雜志

⑦王嬪(王昭君·王明君)

漢書 匈奴傳

後漢書 匈奴傳 (69)

西京雜記 (63)

世說新語 (70)

周秦紀行 (112)

放樓記 (140)

樂府詩集 二十九

王明君·王

昭君 二十九 昭君怨 二十九 昭君數 聞見後錄 (146)

下帷短牀 (162)

明·鄧之麟 女俠傳

△班婕妤

漢書 外戚傳

續列女傳 班婕妤

蒙求 班女辭章

樂府詩集 四十三

班婕妤 婕妤怨

△趙飛燕 △合德

漢書 外戚傳

西京雜記

飛燕外傳 (140)

飛燕遺事

蒙求

飛燕體輕

續列女傳

趙飛燕姊妹

丹鉛總錄 (208)

(附)麗娟

洞冥記 (39)

侍兒小名錄 (153)

雜詠集 (162)

79 梁冀妻孫氏 (孫壽)

後漢書 梁冀傳 (42)

後漢書 (69)

蒙求 孫壽折腰

20 馮方女

典論⁽⁴³⁾

△茶談

後漢書 列女傳 董祀妻 蔡琰 蔡琰辨琴

22 曹氏(曹洪女)

三國志 魏志 荀彧傳法(晉陽秋)⁽⁷⁷⁾
⁽⁴⁷⁾

23 橘公二女(二喬)

三國志 吳志 周瑜傳⁽⁴⁵⁾ 江表傳⁽⁵⁴⁾ 參周詩話 杜牧之作赤壁詩⁽¹⁸³⁾
宋張邦彥 侍兒小名錄 大喬小喬

孫孫亮四娘(朝妹麗居洛珍潔華)

拾遺記⁽⁶⁵⁾ 侍兒小名錄⁽⁵³⁾ 奚囊摘袖⁽⁷⁷⁾

附) 薛靈芸(夜來)

拾遺記⁽⁶⁵⁾ 侍兒小名錄 瓊樹夜來尚衣巧笑

附蜀甘后

三國志蜀志先生甘后

拾遺記(63)

25賈午(韓壽妻)

世說新語或溺

晉書賈充傳(89)

△26綠珠

晉紀(50)

周秦紀行(113)

聞見後錄(146)

綠珠傳(175)

蒙求綠珠墜樓

②7翻風

拾遺記(65) 長生殿

28高柔妻胡氏

高柔本集叙(67)

29李勢妹

世說新語(78)

茹記(80)

天中記(80)

30 大符氏(慕容昭儀)

(晉書)實記 慕容昭 十六國春秋後燕錄(19)

31 蘇蕙(實滔妻·若蘭)

(晉書)列女傳 實滔妻蘇氏 唐武后璇璣圖序(佩)

32 蘇小小

吳地記 樂府詩集 八十五 蘇小小歌 西湖佳話 蘇小小傳 清梁紹壬 蘇小小考 蘇小小全史 宋蘇小小傳 蘇小小名錄 蘇小小

清趙翼 陔餘叢考 五 兩蘇小小

33 劉孝儀妹

太清記(87)

34 羊侃妾

南史 梁羊侃傳(誠齋雜記) 琅邪代醉編六

35 張麗華(張貴妃)

(陳書)皇后 後主沈皇后(附張貴妃)(92)

36 紅拂

(虬髯客傳)(39) (家範秘纂) 剪燈新話 翠翠傳 紅拂記

37 張嘉貞女(郭元振妻)

開元大寶遺事(136)

38 餅師妻

本事詩 情感

39 裴六郎

通幽記(121)

△楊太真(楊貴妃)

舊唐書

皇妃上玄宗楊貴妃傳

唐書

后妃上楊貴妃傳

長恨歌傳

開元大寶遺事(136)

明皇雜錄

楊太真外

傳 清・洪昇 長生殿傳奇

(田中克己)

楊貴妃とフシオバトラ

東京よりあそびて後

元々社

同中国后妃伝

筑摩

書房 井上靖 楊貴妃伝

中沢公論

藤喜真澄

安祿山と楊貴妃

清水書院

41 號國夫人

大唐奇事

明皇雜錄

楊太真外傳(174)

清・慶蘭

卷之三

二編 號國夫人

④章臺柳(柳姓)

章臺柳傳(110)

本事詩 情感 全唐詩話二

43 紅綃

崑崙奴傳 (123)

裴鋼續奇 (太平廣記一九四)

段成式

劍俠傳

明

梅鼎祚

崑崙奴

(盛明雜劇)

44 薛瑤英 (元戴姬)

杜陽雜編 (97)

清·張培仁

妙香室叢話

薛瑤英

薛瑤英

薛瑤英

薛瑤英

薛瑤英

薛瑤英

薛瑤英

薛瑤英

薛瑤英

薛瑤英

薛瑤英

45 劉無雙

劉無雙傳 (116)

宋·張唐英

麗清集

無雙仙客

(類說三九)

46 崔鶯鶯

會真記 (鶯鶯傳) (117)

金唐詩話

六鶯鶯

六鶯鶯

六鶯鶯

六鶯鶯

六鶯鶯

六鶯鶯

六鶯鶯

六鶯鶯

六鶯鶯

六鶯鶯

六鶯鶯

六鶯鶯

47 沈真真

麗清集 (214)

麗清集

麗清集

麗清集

麗清集

麗清集

麗清集

麗清集

麗清集

麗清集

麗清集

麗清集

麗清集

麗清集

48 崔護妻

本事詩 情恩 (132)

元·日仁甫

崔護妻

崔護妻

崔護妻

崔護妻

崔護妻

崔護妻

崔護妻

崔護妻

崔護妻

崔護妻

崔護妻

崔護妻

49 湖州里姚女

揚州夢記(25)

杜牧之詩酒揚州夢 (元明雜劇)

宋張唐史麗清集湖州縣學女 (類說三九)

50 步非烟(武公業の妾)

非烟傳(22)

51 碧玉(竇娥：喬知之の妾)

漢唐書 文苑中 喬知之

宋決選侍兒小名錄 碧玉

麗清集 非烟 (類說三九)

52 關盼盼(一睡時)

全唐詩話 張建封妓

元張唐史 關盼盼 (幽海)

麗清集 燕子樓 (類說三九)

53 霍小玉

唐 蔣防 霍小玉傳 (龍威秘書)

54 李娃

唐 白行簡 李娃傳

元張唐史 曲江花 (幽海)

55 薛濤

唐 李廷又 資暇錄 薛陶箋 宋樂史

太平寰宇記 七二 益州土產

唐詩紀事 薛濤

宋章淵 楊簡贊筆

元高昌著 清陳祥禽 蜀牋譜 蜀都碎事藝

文補遺

宋張唐史

麗清集 蜀妓薛濤

(類說三九) 同 薛濤

△50 紫雲 (崔紫雲 李唐の歌妓)

待兒小名錄 紫雲 (93) 宋計有功 唐詩紀事 杜牧

△52 樊素 (白居易の妾 小樊) (古典文學研究資料彙編 白居易卷 本事詩の項参照)

本事詩 事感 全唐詩話 白居易 剪燈餘話 蠻蠻傳

△58 小蠻 (白居易の妾)

本事詩 事感 全唐詩話 白居易

(附) 浙東舞女

杜陽雜編

59 素娥

唐・袁郊 甘澤謠 花月之奴 類說 又廣記 (三二)

燈下閒談 宋王楙 待兒小名錄 素娥

△60 花蕊夫人 (後蜀主孟昶の夫人 前蜀王建の妾とに列入)

宋葉夢得 海錄 事 帝王后妃 後山詩話 (87) 鐵厓山叢談 花蕊夫人

宋張邦基 雲莊漫錄 九 明陶宗儀 輟耕錄 (88) 清沈鍾 古今詞話 上 96 清趙翼 陔餘叢考

三十九 花蕊夫人 妙香室叢話 花蕊夫人

61 順聖太后徐氏 順聖太后附 (徐耕玄)

十國春秋 (229)

62 趙解愁

十國春秋 (229)

63 神夫人

十國春秋 (229)

64 黃氏

南唐書 (152) 十國春秋 (229)

65 張從恩繼室某氏

洛陽舊聞記 (144) 張相夫人始否終泰

66 狄氏

清尊錄 (163)

67 木淑真 (臨棲居士)

明興起論 國雅品 閨品 孟居士

淑真雪詠

四庫全書總目提要 一七四

斷腸集 同 一九九

斷腸詞 解題

古今閑媛逸事 三才藝類 爲宋

△△琴操

宋 吳曾

能改齋漫錄

杭妓琴操

蘇軾 戲贈田辯之琴娘詩

明談遷 宋林雅中集

琴操

△△朝雲（蘇軾の妾）

蘇軾・朝雲詩序 同 悼朝雲詩序

〃江清妻吳氏

名媛詩歸（286）

77/84

美人譜（明代戲間）

貞娘 貞娘と同一人物か。

貞娘 貞娘者吳國之佳人也云々

宋蘇軾 侍兒小名錄 貞娘

二、美女の規準

(1) 美女の語義について

徐震の美人譜には美女にかかわる十箇條が示されるが、その前に美女の語義を明らかにする必要がある。ただし、この篇では十分意を盡せるほど調査ができていないので、概略を述べるに停める。かつて大木春基教授は大妻国文に美人語

義考(其の二)(五號昭和四年三月)同(其の二)(六號五・三)、「佳人唐義考」(八號五・三)、「同(承前)」(九號五・三)、「秋風婦の周辺」佳人を中心にして、「十一號、五五・三」の詳細な論考をものしておられる。美人語義考には「楚辭(離騷)『恐美人之遲暮』を中心にして、「楚辭を中心にして」という副題があり、楚辭を中心に美人の語義について諸説を綿密に研究されたものである。六號に、「美人の語義の類型について」と題して、検討された内容について例を示しながら整理されているので引用させていただく。

- (A) 本来の美人、美女、すなわち原義で用いられる美人。
(B) 君王あるいは有徳の賢士の喩えとして用いられる美人。

(C) 巫(巫現)、または神靈を指すに用いられる美人。

以上の三分類である。大漢和辭典美人には①容貌の美麗な婦女、美女。②容貌の美麗な男子。美男子。美丈夫。好男子。③君まを指していふ。④才徳の優れた人、賢人。⑤漢代の女官の名。明に及ぶ。⑥虹の異名。⑦梅の異名。と分類される。(A)は①と(B)は②(C)は用例から見ると大漢和辭典は④に入れている。

ここで、とりあえず必要とする項目は①・②・③である。類書類では①は美婦人とし、②は美丈夫と區別している。

一方美女という語は爾雅の「墨子」か戰國策秦策、史記淮南子の等に見られ、史記に「美女者惡女之仇(美女は惡女の仇)とか、説文に「美女者醜婦之仇(美女は醜婦の仇)と言われるように、美女に對立する語として、惡女とか醜婦の語があり、美人に對して醜人の語もある。

(四) 美女を表現する語

字書における解釋

(A) 爾雅 釋訓(4)

の季女、佗佗、美也。(季女、佗佗は美なり) 季女も佗佗ものびやかで美しいことをいう。晉の郭璞はこれに注して、「皆佳麗美艷之貌也」(皆佳麗美艷の貌なり)といひ、北宋の邢昺は疏で「釋曰、李巡曰、皆實容之美也、孫炎曰、季女行之美、佗佗、長之美、衛鄭風君子偕老云、季女佗佗、毛傳云、季女者、行可委曲蹤迹也。佗佗者、德平易也。是皆佳麗美艷之貌也」(釋に曰く、李巡(後漢の人)曰く、皆に寛容の美なり。孫炎(三國魏の人)曰く、季女は行の美なり。佗佗は張の美なり。詩(經)鄭風君子偕老に云ふ、季女、佗佗は毛傳に云ふ、季女とは行くに委曲して蹤迹すべきなり。佗佗は徳の平易なるなり。これ皆に佳麗美艷の貌なり)と釋している。

佳麗とは容貌を整って美しいことといひ、後には美人をいうようになった。白居易の長恨歌に後宮の佳麗三千人といふのは後者に當る。美艷とは男女とも美しくてあでやかさをいう。(2) これも後にはそのような美人を言うようになつた。季女、佗佗は孫炎の説によれば、詩(經)の孔穎達の疏に「行歩の美」といふ。委曲して蹤迹するとは身を屈して人の後に従ふことをいひ、婦人の從順を行動をいう。平易とはおだやかでやすらかなさまをいう。朱子は詩集傳で「季女佗佗は雍容自得の貌と解いており、婦人の態度がやわらざやすらかで、自ら樂しむさまで、詩(經)ではそのさまは山の如く河の如くと表現している。

(四) 美女爲媛(美女は媛と爲す) 媛とはおやめをいい、媛女とは美女をいう。(2) 郭璞はこれに注して「所以結好媛」

(媛と姪を結ぶ所以なり) といふ。邢昺は疏で「釋曰詩鄘風君子偕老云展如之人兮邦之媛也故此釋之郭云所以結好媛孫炎曰君子之援助然則由有美可以援助君子故云美女為媛」釋に曰く「詩鄘風君子偕老に云ふ展に之の如き人は邦の媛なり。故に此に之を釋いて郭(媛)は云ふ媛と好を結ぶ所以なり」と。孫炎曰く「君子の援助は然らば則ち美あ々に由りて以て君子を援助するなり。故に云ふ美女を媛と爲すと」と釋く。

邦の媛とは一國の美人という意で、國色(3)とも言う。孫炎の説によりと媛と援との意を通わせて媛とは美女がその美によつて君子を助けろ意とする。

(8) 方言(27)

の娥嬀好也。秦曰娥、宋魏之間謂之嬀。秦晉之間凡好而輕者謂之娥。自關而東河濟之間謂之嬀或謂之故。趙魏燕代之間曰姝或曰姝。自關而西秦晉之故都曰妍好其通語也。(娥嬀は好なり。秦は娥と曰ひ、宋魏の間にては之を嬀と謂ひ、秦晉の間は凡そ好して輕き者は之を娥と謂ふ。關より東河濟の間は之を嬀と謂ひ、或は之を故と謂ふ。趙魏燕代之間は姝と曰ひ、或は姝と曰ふ。關より西秦晉の故都にては妍と曰ふ。好は其の通(用)語なり。)

(2) 鈇嬀好也。青徐海岱之間曰鈇或謂之嬀。好凡通語也。(鈇嬀は好なり。青州・徐州・海東邊岱秦山之間は鈇と曰ひ、或は之を嬀と謂ふ。好は凡て通用(用)語なり。)

(3) 姝嬀窈窕美也。吳楚衛淮之間曰姝南楚之外曰嬀。宋衛晉鄭之間曰窈。陳楚周南之間曰窈。自關而西秦晉之間凡美色或謂之好或謂之窈。故吳有館娃之宮秦有繡女之臺。秦晉之間美貌謂之娥。美狀為窈。美色為窈。美心為窈。(姝嬀窈窕は美なり。吳楚衛淮の間は姝と曰ひ南楚の外は嬀と曰ひ宋衛晉鄭の間は窈と曰ひ陳楚周南の間は窈と曰ふ。關より西秦晉

の間は凡そ美色を或は之を好と謂ひ或は之を窈と謂ふ。故に吳に館娃之宮有り、秦に棹娥之臺有り。秦晉の間は美貌は之を娥と謂ひ美狀を窈と爲し、美色を豔と爲し、美心を窈と爲す。

（窈、僕容也、自關而西、凡美容謂之窈、或謂之僕。宋衛曰僕、陳楚汝潁之間謂之僕、（僕、僕は容なり、關より西は凡そ美を容は之を窈と謂ひ或は之を僕と謂ふ。宋衛は僕と曰ひ、陳楚汝潁の間は之を窈と謂ふ。）

前漢の揚雄は俗言を書いて中國各地の言語と比較してみせた。先ず好という共通語に對して説かれる。この語に對して娥、嬋、嬋、姮、姮、姮の各字が配されている。①では美に對して姮、嬋、窈、豔、娥、窈が、②では容に對して僕、僕、當てられている。今、後で釋く語を除いて解説しておく。

窈は好の一方言であるが、好はうつくしい、みめよい（大漢和辭典）と釋かれているが、名義抄 佛中九ではウルハシと訓じ、窈は同じく僧上三に好字を當てているからウルハシの意である。窈は美と同義といい、窈窈と熟して善容（とやか）と釋かれるが、一字でもしとやかとかうわしの意がある。名義抄 法下五九ではタヤカナリと訓ず。同じく窈は美心と義を同じくする。美は名義抄 佛下末三九 ヨシウルハシカヨシと訓ずるが、美心はここらうるはしと訓ずるものであろう。窈はおくゆかしい意が原義で、美心とはまさにこれである。後世 あでやかの意にも使われる。名義抄 法下五九にヨシカスカナリと訓じ、窈窈と熟してタヤカナリとする。窈窈二字に熟した語を見ると窈治（論）窈治（詩經の史記李斯傳 佳治窈窈非趙女）窈治（揚雄 劉峻 辨論）等がある。豔はみめよい、うつくしい、あでやか（大漢和辭典）と訓ぜられるが、豔は色つやの美しい豊満をいう。名義抄 法中三ニウルハシ、僧下三ニヤサシナヨ、カナリと訓ず。説文解字は好而長也と釋き、これは美くのびやかなさまをいうのであろう。美貌は美しいが、宋玉の神女

(賦)に見え。美狀はうつくしいようすをいい、美色は美狀が心理的な感下すであらうのに對して色彩感覺につたえるものである。美貌は身體の輪郭を基調とした美しさである。美心は内面の美しさをいうので、既に述べたように心うるわしいさまをいう。亦は美容すなわち美しいすがたをいう。傑もみめよいさまをいう。容は名義抄法下みにカホカタチと訓ぜられるように人の全體像を表現する。館娃宮は吳王夫差が硯石山に作った宮殿をいい、西施をここに置いた。娃は吳人が美女を稱していうことから、娃を館す宮と名づけた。左思の吳都賦等に見え。榛城之臺はどのような臺かはつきりしないが美女をつるして塗りこめた部屋に入れておいにものか。

(C) 説文解字を中心とした字書 (説文解字からの引用は書名を省略する。清段玉裁説文解字注を用いた。)
 の好姫、媛也。从女子(姫は妹なり。女・子に从ふ)。段玉裁は本は女子の美しいのを好といったが、後にはすべての美について言ったものと釋く。媛は女の美しいのをいう。

(D) 妹、嫵巧也。詩曰桃之夭夭。女子笑見。从女聲。(嫵は巧なり。詩經に曰く、桃の妹たりは女子の笑ふ見なり。女に从ひ女聲なり。) 媛は女、妹と通用文字である。(詩經の周南桃夭では女字を使うのが一般である。巧は品をつくること。なまめく、あてやかの意。詩經の媛は若く美しい女子が笑つさま。夭は桃の花の盛んなのを若く美しい女性にたとえたもの。純濃に少壯をいうといひ、朱子の詩集傳は少好(若く美しい)を媛をいうとする。名義抄佛中十一カホヨシ。
 の姁(姁)安姁也。从女今聲。一曰善笑見。(姁は安姁なり。女に从ひ今聲なり。一に善く笑ふ見なり。) 安姁は品よく笑うさまをいう。段注は玉篇安姁善笑見を援用する。

(E) 姁 仿活ののに見え。語。みめよく身輕なりこと。身輕とは身のこなしがしなやかでぎこちなくないことをいう。趙

飛燕や楊貴妃の寵愛された原因の一つが身のこなしの輕やかであつたことと云われている。

(5) 段嬪、好也、从女_レ朱聲。詩曰、靜女其姁。姁は好なり。女に从ひて聲なり。詩に曰く靜女其姁たりと。詩經、邶風、靜女には姁は姁字である。兩字同義でみのうるわしいさまをいう。靜女は貞淑な女性をいいしとやかな美しうをいう。

(6) 娥嬪、美婦也、从女_レ友聲。(娥は美婦なり。女に从ひて友聲なり。) みめよい婦人という。(名義抄) 世にハシナメイタリカホシヤサシタラヤカニ

(7) 妣嬪、少女也、从女_レ毛聲。(妣は少女なり。女に从ひて毛聲なり。) 段注は唐韻、美女を引く。説文解字はおどめの意とするが、おどめは若く美しいことから、若く美しい女性をいうようになったのであらう。(名義抄) 世にハシナメイタリカホシヤサシタラヤカニ

(8) 玟嬪、三女爲玟、玟美也、从女_レ白聲。(玟、三女を玟と爲す。玟は美なり。) (詩經の唐風、綢繆に「今夕何夕、见此粲者。」今夕は何の夕ぞ、此の粲者を見る。)とあつて、その注釋に「三女爲玟、大夫一妻二妾、三女を玟と爲す。大夫は一妻二妾なり。」と言ふのに基づく。大夫は一妻二妾すなわち三女を持つことができた。この三女が美女であるとするのであるが、異説もあり定め難い。今は説文解字に従つて玟は美しい(女)としておこつ。ちなみに詩經の采芣と通用する)を男(夫)とする見解もある。孔穎達疏に「玟は美しき物であり、衆女の美稱とする。

(9) 妹嬪、好也、从女_レ朱聲。(妹は好なり。女に从ひて朱聲なり。) 段注は(4)で引いた詩經の邶風、靜女の毛傳「妹は美色なり及び衛風の毛傳の「妹、順見」(妹は順なるさま)、齊風の毛傳の「初昏之見」(初昏の婚)のさま)を用つて文に随つて訓を爲せといつてゐる。すなわち、邶風の例はみめよいの意、衛風の例はしたがうさま、齊風の例は初婚の時といういふことを意味する。今、邶風にそつて考えると、鄭玄はこれに注して、女徳とは貞靜でなければならぬ。しかる後に徳を保つこと

ができる。美色(みめよきこと)はしかる後に安んずることができ。またよく禮に服従し、禮を待つて行動し、自ら防ぐこと、城隅の如くする。故に愛すべきなのであるとする。や、無理に走り過ぎる解釋であるが、漢代の女性觀の然らしめたものであらう。名義抄 傳ヤハ ヨシウルハシ カホヨシ。

(1) 姣姣、好也。从女交聲。(姣は好なり。女に从ひ交聲なり。) 仿言ののにもすてに見たが、段注に姣は容體壯大の好(美)だという。姿が立派で若くはすやかす美しうさというのであらう。名義抄 傳ヤハ コブと訓ず。姣冶、姣麗等と熟す。

(2) 姣姣、美女也。从女多聲。(姣は美女なり。女に从ひ多聲なり。) 姣はたおやめという。姣姣と熟す。

(3) 妍妍、技也。从女扌聲。(妍は技也。女に从ひ扌聲なり。) 説文解字に仿言ののやうみめよい意は讀みとれない。ただこの技を段注は巧也と注している。大漢和辭典ではさかしい、たくみと訓じているが、巧は(2)で如をつくることと

釋されておる。妍影(顔氏家訓名賢)美(い)かり。妍蚩(抱朴子逸民)美醜(う)等、美しい意として一般に使われていた。

名義抄 傳ヤハ ヨシウルハシ ヤスレ カホヨシ。

(4) 姘姘、閑體行姘姘也。从女危聲。(姘は閑體にして行くこと姘姘なり。女に从ひ危聲なり。) 閑體とはしとやかな身のこなし。姘姘は美しいさま。姘はしとやかにすすむさまと釋く。姘姘と熟す。名義抄 傳ヤハ ミヤヒカニ。

(5) 姘姘、閑深目見也。从女圭聲。或曰吳楚之間謂好姘。(姘は閑く深き目の見なり。女に从ひ圭聲なり。或は曰く吳楚の間好を姘と謂ふなりと。) 吳楚の々の文は仿言ののによる。みめよきまをいう。また、美女の意。姘姘、姘姘、姘姘等に熟す。

名義抄 傳ヤハ ヨシウルハシ ヨシウルハシ (良き女)の意。

(6) 姘姘、長好也。从女巫聲。(姘は長く好きなり。女に从ひ巫聲なり。) 姘はすううとしてみめよいさまをいう。姘姘

と熟す。名義抄 佛中ニヨシ。

(16) 娥 帝堯之女。舜妻。娥皇字也。从女我聲。秦晉謂好曰姪娥。(娥は帝堯の女。舜の妻。娥皇の字なり。女に从ひ我聲なり。秦晉好を謂ひて姪娥と曰ふ。) 方言の(12)に見る如く、みめよい意。娥娥、娥娥、娥嫫、娥嫫、娥眉、娥眉等に熟す。名義抄 佛中ニヨシラルハシ。

(17) 婉 婉也。从女兌聲。(婉は婉なり。女に从ひ兌聲なり。) 婉はみめよいさま。

(18) 阿 阿也。从女阿聲。(阿は阿なり。女に从ひ阿聲なり。) 阿は説文解字の解釋ではたおやかさまの意は讀みとれないが、阿婁とはたおやめ意であり、これからなまよとした女性の意に用いられたと考えても支障ない。阿婁は昔種の各神(阿)にも用いられ、美しくたおやかさまをいう。名義抄 佛中ニタラヤカナリ。

(19) 婉 婉也。从女宛聲。春秋傳曰太子痊婉。(婉は婉なり。女に从ひ宛聲なり。) 春秋傳に曰く太子の痊は婉なり。説文解字は婉を順したがつ。すすおの意に解釋している。注秋傳(左氏傳)は段注が指摘する如く襄公二十六年の傳の文に基づく。段注は詩經の鄭風 野有蔓草 清揚婉婉の傳に、婉然に美なりとあるのを引き、また齊風の蒹葭の傳に、婉は好き眉目なりを注記しており、ここでは眉目の美しい意に釋される。婉婉、婉婉、婉嫫、婉嫫、婉麗等に熟す。

(20) 嫫 嫫也。从女果聲。一曰果敢也。一曰女侍曰嫫。讀若駟。一曰若委。孟軻曰舜為天子。二女嫫。(嫫は嫫なり。女に从ひ果聲なり。) 一に曰く果敢なり。一に曰く女侍を嫫と曰ひ讀んで駟の若し。一に曰く委の若し。孟軻曰く、舜天子を爲り二女嫫を嫫はたをやかで美しいさま。嫫嫫、嫫嫫と熟す。

(21) 姬 姬也。一曰弱也。从女己聲。(姬は姬なり。一に曰く弱なり。女に从ひ己聲なり。)

(22) 嬪は體徳好也。从女官聲。讀若楚卻宛。(宛は體徳好なり。女に从ひ官聲なり。讀んで楚の卻宛の若し。) 嬪は品よく美しいさま。卻宛は春秋楚の人。嬪は集韻に烏丸切音剡(烏丸の切音は剡)とあり、宛と類似音であることともに、宛と婉とは同音であることから意を通わせたものが、名義抄佛中十六體得好見。

(23) 嫿は色好也。从女美聲。(嫿は色好なり。女に从ひ美聲なり。) 嫿はみめうるわしい意。

(24) 嫵は好兒。从女與聲。(嫵は好き兒なり。女に从ひ與聲なり。) 嫵はかめよいさまをいう。嫵に通用する。集韻に嫵少弱也。一曰好兒。或作嫵。(嫵はかめよく弱まなり。一に好き兒なり。或は嫵に作る。) とあることからみて、若く美しいさまをいうのであろう。

(25) 嫵は目裏好也。从女苗聲。(嫵は目裏好なり。女に从ひ苗聲なり。) (苗ののにはかめよいさまをいう。嫵の語意は目もとの美しいさまをいう。名義抄佛中十四好。通俗文(20)には容麗しいものを嫵というと釋く。

(26) 媛は美女也。人所欲援也。从女爰聲。詩曰邦之媛兮。(媛は美女なり。人の援さんと欲する所なり。女に从ひ爰聲なり。詩經に曰く、邦の媛なりと。) 段注に「庸風邦之媛也。傳曰美女為媛援者引也。謂人所欲引為己助者也。鄭箋詩云邦人所

依倚以為援助也。援媛以豐韻為訓。(詩經庸風君子偕老邦の媛なり。毛傳に曰く美女を媛と為す。援とは引く意なり。人の引いて己の助けを為さんと欲する所の者を謂ふなり。鄭箋の詩に云ふ邦の人の依倚して以て援助を為すなりと。媛と媛とは豐韻を以て訓と為す。) という。邦の媛とは一國の美女をいう。媛とは美によって援助してくれる美女をいう。媛と媛とは二字同じ尾韻をもつて成る熟語をいうが、この例だと媛と媛が同韻で意味を通用させていることをいう。

名義抄佛中十二媛媛タラヤカナリウルヘニホフ。爾雅の參照。

(27) 嫋 曲眉行兒。从女𠂔聲。(𠂔は肩を曲げて行く貌なり。女に从ひ𠂔聲なり。) 段注は楚辭 九思 傷時注

に基いて、要嫋とは舞容(舞ひ姿)とする。同じく、續韻では嫋は美好なりと釋く。肩を曲げて歩く姿あるいは舞ひ姿を美好(みめうるわしい)と考えたのであろう。九思は後漢の王逸の作とされるが、今本要嫋は要嫋とする。注は朱

子のつけたもの。嫋は嫋の誤りか。嫋は嫋の俗字。名義抄 佛中ニニウカレメヨシ。

(28) 嫋 嫋好也。从女旋聲。(嫋は好きなり。女に从ひ旋聲なり。) 名義抄 佛中ナセコノム。

(29) 嫋 嫋也。从女規聲。讀若葵。秦晉謂細嫋。(嫋は規なり。女に从ひ規聲なり。讀んで葵の若し。秦晉にては細嫋と謂ふ。) 細嫋とは女體の細くしなやかなさま。清の戴震の方言疏證によると、嫋(原本は魏)細也。自關而西秦晉之間。凡細而有容。謂之嫋。(嫋は細なり。關より西秦晉の間凡て細くして容あるを嫋をいふ。) といい、細腰の女性をいう。

(30) 媚 媚。説也。从女眉聲。(媚は説なり。女に从ひ眉聲なり。) 媚は説(悦)ぶ意。こむ。みめよい等の語意もあり。名義抄 佛中ナヒコフル。

(31) 嫋 嫋。媚也。从女嫋聲。(嫋は媚なり。女に从ひ嫋聲なり。) 嫋はこむ意。嫋媚と熟す。名義抄 佛中ハコフ。

(32) 嫋 嫋。南楚之外。謂好曰嫋。从女情省聲。(嫋は南楚の外にては好を謂ふに嫋と曰ふ。女に从ひ情の省聲なり。) 方言ののにみえる。好と同義の方言で、みめよいの意。嫋の省聲とは嫋の畫を省いた隋(聲)を衣わす。嫋は媚とも書く。方言ののては挂(嫋)寢(嫋)は美なりと釋く。

(33) 嫋 嫋。嫋雅也。从女間聲。(嫋は嫋雅なり。女に从ひ間聲なり。) 嫋雅はみやびやかしとやかの意。名義抄 佛中九

ウルハシミヤヒカナリシツカナリ。

64 嫵 説文解字では女の字とする。方音に好とする。僚、嫵、好見、从人、𡗗聲。𡗗は好き見する人に从み、𡗗聲なり。嫵字の段注にも、毛詩傳及許人部曰、僚、好見、𡗗亦可用此字。毛詩傳及び許慎の説文解字の

人部に曰く、好見なり。𡗗亦此の字も同すべし。と言っている。毛詩傳は陳風月出の傳。

65 嫵 嫵、靜好也。从女、𡗗聲。𡗗は靜かに好むなり。女に从み、𡗗聲なり。廣韻に、嫵、分明、好見。嫵は分明にして好むなり。という。目鼻立ちの整った美しいさまをいう。名義抄、佛中イハミヤビソカニ。

66 嬋 説文解字には須妻字の文中に、嬋媛の形で見える。嬋、組、女字也。从女、須聲。楚司馬曰、女須妻之嬋媛。賈侍中説楚人謂姊爲嬋。組は女の字なり。女に从み、須聲なり。楚詞に曰く、女須妻の嬋媛たるを。賈侍中説いて、楚人は姉を讀みて嬋と爲すと。屈原の楚詞(楚辭)の離騷と同じく、東方朔の上諫の哀令に、女須の語が見えぬ。が、後漢の王逸の注では、女須妻は屈原の姉とする。賈侍中は楚辭の惜誓の作者にも擬せられる前漢の賈誼であらうが、その注は見えず。嬋媛は王逸注して牽引のこと、としい、心引かれることを言う。さて、この嬋は宋の張有の復古編の説文新附に、嬋媛は態なりと説かれてゐる。

嬋の語義は姿態のあややかなさまをいう。嬋媛は身のこなしの軽く柔らかなさまをいう。名義抄、佛中イハミヤビソカニ。同佛中イハミヤ媛媛。媛媛は身のかしを軽く柔らかなさまをいう。文選の張衡の西京賦に、増嬋媛以此多。嬋媛を増して以て此多す。とあり、薛綜の注に、嬋媛此多、姿態妖艷也。嬋媛此多とは姿態妖艷なり。姿態の妖艷なる貌。と云う。

67 嬌 この語は説文解字には見えず、説文新附に、嬌、姿也。嬌はみめよいさまである。と云う。説文新附考で、嬌に通用する。という。みめよいさまをいうが、みめよい女の姿態として、身をくねらせてなやなとするさまをいい、

なまめかしい意も生まれた。嬌娃、嬌逸、嬌麗、嬌豔、嬌婉、嬌嬈等に熟す。〔名義抄〕 佛中ナニ コヒコフル。

(37) 嬈嬈 直好見 从女瞿聲。一曰嬈也。〔補注〕 嬈は直く好き見なり。女に从ひ瞿聲なり。一に曰く嬈なり。直好とはすらりとしてみめよいこと。嬈はあでやかなる事。〔名義抄〕 佛中ナニ コム。

(38) 嬈嬈 好也 从女瞿聲。讀若蜀郡布名。〔補注〕 嬈は好なり。女に从ひ瞿聲なり。讀んで蜀郡の布の名の若し。段注、司馬相如の《上林賦》を引いて「柔條嬈嬈」郭璞曰「皆骨體柔弱長豔見也」柔條嬈嬈たり。郭璞の注曰く皆骨體柔弱長豔の兒なり。という。嬈嬈とはからだつぎしなややで、丈高くなめかしいさ。蜀郡の布とは段注に「結は蜀の目細布だ」といふ。結は蜀絹であり、嬈と通用字である娟と同音であることから、娟と讀むとするのであらう。嬈は《康熙字典》に《鍾鼎文》を引いて「以二目斜視也」二の目を以て斜めに視るなり。といひ、流し目をする女の媚態を表すものであらう。また《漢韻》には「好也 蛾眉也」好きなり、蛾眉なり。ともいふ。蛾眉はかこの眉のようなうつくしい眉の貌をいふ。

(39) 婉婉 女字也 从女燕聲。〔補注〕 婉は女の字なり。女に从ひ燕聲なり。段注に「毛詩燕婉之求 傳曰燕安 婉順也 韓詩作婉婉 婉婉好見 見西京賦注」毛詩「抑風新臺」燕婉之求求む。傳に曰く、燕は安なり、婉は順なり。韓詩は婉婉に作る。婉婉は好き見なり。《張衡の西京賦注》に見ゆ。段注の例により、しとやかな意が認められる。〔名義抄〕 佛中ナニ 婉婉タラヤカナリ ウルハシヤハラカナリ。同佛中ナニ 婉婉タラヤカナリ。

(40) 嬈嬈 白好也 从女瞿聲。〔補注〕 嬈は白く好きなり。女に从ひ瞿聲なり。〔說文解字〕を中心とした字書類には右の外に美女を表現する語はまだあるが、別の機会に譲ることにした。また美女を表現する語は女偏の文字に限らない。〔源雅〕や〔仿〕にその例を見たが、これもその一部に過ぎぬ。この際は資料に基

ねることにするが、例を二三拾ってみると、絶世の美女あるいは國一番の美女を國色(の)というし、同義語として國妹、國客、國娥等の語がある。また、佳麗(の)、容美(の)、至姣(の)、華容(の)等おびただしいものがある。これらについてはより十分な研究を待つて發表したい。

(ハ)徐震の美人譜に於ける美女の屬性

美人譜には既に引いた美女三十八人の後に、美人遺跡及び、容韻、技事、居候、飾助、饌趣に分けて美女にまつわる諸事象が述べられており、容以下十箇條は容貌以下美女にまつわる屬性が述べられている。美人遺跡及び一之容のみ解説を加えてみよう。

美人遺跡有足令人銷魂者

浣紗石 響屧廊 琴台 青塚 蒲東 燕樓 蘇小墓 眞娘墓

(一)浣紗石 西施が苧蘿山(西施山の麓で)浣ったという石(西施(の)参照)吳越春秋句踐陰謀外傳(の)の注に引く(道流に事の次第が見える。また李太白の詩に「浣紗石上女」(の)があり、樓穎の「西施石(西施嘗日浣紗津石上青苔思殺人)」と、盧注の題「西施浣紗石」等はその故事が詠われている。又唐の陸廣微吳地記、會稽記(說郛卷四)にも見える。

(二)響屧廊 吳王夫差が作った廊下で、上を歩くと音を發したという。(吳郡志、紹興記、恆史、佩文韻府所收、誠齋雜記)

(189)

●吳郡志云、古蹟響屧廊在靈巖山寺相傳、吳王令西施輩步屧廊、虛而響、故名、今寺中以圓照塔前小斜廊爲之。

白樂天亦名鳴雁廊。(注)王禹偁。廊壞空留響聲。爲因西子遠廊行。可憐位相終屍諫。誰記當時曳履聲。云々(守山閣叢書。)響聲廊は靈巖山寺に在り。相傳ふ。吳王西施事をして。殿廊を亦ましむ。虚にして響。故に名く。今寺中の圓照塔前の小斜廊を以て之と爲す。白樂天は亦た鳴雁廊と名づく。(注)王禹偁(詩)廊壞れ空しく留む響聲の名。西子廊を遠く行くに因つての爲なり。漢書可し位相終に屍諫す。諫を記さむ當時曳履の聲。)

今、瀨川の引く本文によると、「吳王建廊而虛其下。令西施與宮人步環繞之。則響聲。今靈巖寺圓照塔前小斜廊即其址。」(吳王廊を建てり。而して其の下を虚にして、西施と宮人とをして歩いて之を環繞せしむれば、則ち響く。今の靈巖寺圓照塔前の小斜廊は即ち其の址なり。)となつてゐる。詩の位相は吳の相、位貳字は子胥。西施を越から受けるのを諫め死を賜つた。

の琴の口(臺) 西施が琴を弾いたといわれる臺。

(閭閻義)

●吳郡志八 古蹟 館娃宮 吳越春秋 吳地記 皆云閭閻城西有山。號硯石山。山在吳縣西三十里。上有館娃宮。又方言曰。吳有館娃宮。宮今靈巖寺即其地也。山有琴臺。西施洞。硯池。觀花池。山前有採香徑。皆宮之故跡。(館娃宮 吳越春秋 吳地記には皆云ふ閭閻城の西に山有り。硯石山と號す。山は吳縣の西三十里に在り。上に館娃宮有り。又方言に曰く吳に館娃宮有り。宮は今の靈巖寺が即ち其の地なり。山には琴臺。西施洞。硯池。觀花池有り。山前に採香徑有り。皆宮の故跡なり。)

(4)青塚家 王昭君の墓。終遠青歸絲絲の南にある。胡中の沙漠には白く色褪せた草が多い中で、王昭君の家のみ青々としていたので、青冢と號した。清の胡鳳丹輯の(清宮家誌)(清宮家誌(清宮家誌)云々)がある。

●錦州圖經 胡中多白草。王昭君家獨青。號曰青冢。(胡中には白草多し。王昭君の家、獨り青し。號して青冢と曰ふ。佩文韻府青冢所引)

●太平寰宇記三八 振武軍 金河縣 青家在縣西北 漢王昭君葬於此 其上草名常青 故曰青家（青家在縣の西北になり。漢の王昭君を此に葬る。其の上、草名常に青し。故に青家と曰ふ。）

(5) 蒲東 未詳。

(6) 燕子樓 唐の元和、張尚書の築いた樓で、愛妾の關盼盼を住めせた。江蘇省銅山縣城の西北隅にあった。

●燕子樓序

徐州故張尚書有愛妓曰盼盼。善歌舞。雅多風態。予爲校書郎時。遊徐泗間。張尚書宴予。酒酣。出盼盼以佐歡。

甚。予因贈詩云。醉嬌勝不得。風嫋牡丹花。一歡而去。邇後絕不相聞。迨茲僅一紀矣。昨日。司勳員外郎張仲素續之。勅予因吟

新詩。有燕子樓三首。詞甚婉麗。詰其由。爲盼盼作也。續之從事武寧軍累年。頗知盼盼始末。云尚書既歿。歸葬東洛。而

彭城有張氏書第。第中有小樓。名燕子。盼盼念舊愛而不嫁。居是樓十餘年。幽獨塊然。于今尚在。予愛續之新詠。感彭城

舊遊。因同其題。作三絕句。中國古典文學基本叢書白居易集 擬招興本（徐州の故張尚書に愛妓有りて、燕子と曰ひ、歌

舞と善くして、雅で風態多し。予れ校書郎爲りし時、徐泗の間に遊べり。張尚書、予れに宴し、酒酣にして、盼盼を出し以

て歡を佐け、歡甚。予れ因りて詩を贈りて云ふ。醉嬌勝得ず。風嫋に牡丹花。一歡して去り、邇後絶えて相聞かす。

茲に追ひて僅かに一紀なり。昨日、司勳員外郎張仲素續之。予れを訪ね、因りて新詩を吟じ、燕子樓三首有、詞甚だ婉麗

なり。其の由を詰ふに、盼盼の爲に作りしなり。續之、武寧軍に従事たること累年、頗る盼盼の始末を知れり。云ふ、尚書既に

歿し、歸りて東洛に葬れり。而して彭城に張氏の舊第有り。第中に小樓有り、燕子と名づく。盼盼、舊愛を念ひて嫁かず。是

の樓に居ること十餘年、幽獨塊然として、今に尚ほなりと。予れ續之の新詠を愛で、彭城の舊遊に感じ、因りて其れと題を

同じうし、三絶句を作り。讀下しにつては、近くは田中充己教授の白居易（漢詩大系）があるが、筆者の月解によつて

讀下してゐるので必ずしも一致しないところもある。燕子樓の名妓盼盼は全唐詩では盼盼となつてゐるが底本の字を尊重してそのままにしておいた。張仲素の字續之の續は繪と書くものもあるが兩字は通用字である。

蘇小墓 南齊の錢塘の美女蘇小小³²の墓。蘇小小と稱する妓は南宋にも居たがこれは前者を指す。その墓は今の浙江省杭縣の西湖の西冷橋のほとりにある。〔玉臺新詠〕に錢唐一^{一作塘}蘇小小歌一首があり、また樂府詩集ハすにも同じく蘇小小歌が見える。

唐詩集
吳地記 嘉興縣：前有晉故錢塘蘇小小墓。〔嘉興縣〕前に晉故錢塘蘇小小的墓有り。

西湖佳話 西冷韻迹 在西冷橋側擇一塊吉地：造成一座墳墓：葬於西冷墳墓之內立一石碑上題曰錢塘蘇小小之墓〔西冷橋の側に吉い地を擇び：墳墓を造成し西冷の墳墓の内に葬り石碑を立て、上に題して曰つた錢塘蘇小小的墓と〕

樂府詩集 蘇小小歌〔解題〕一曰錢塘蘇小小歌。樂府唐題曰蘇小小錢塘名倡也。蓋南齊時人。西陵在錢塘江之西。歌云西陵松柏下是也。〔一に錢塘蘇小小歌と曰ふ。樂府唐題に曰く蘇小小は錢塘の名倡なり。蓋し南齊の時の人なり。西陵は錢塘江の西に在り。歌に云ふ西陵松柏下とは是れなり。〕

貞娘墓 貞娘と貞娘は同一人物であらう。貞娘は唐の吳興の妓女。墓は江蘇省吳縣虎丘山劍池の西にある。

吳地記 虎丘山：在吳縣西北九里二百步。其山本晉司徒王珣弟司空王珣之別墅咸和二年舍山爲東西二寺立祠於山寺側有貞娘墓。吳國之佳麗也。行客才子多題詩其上。有梁子鍾繇作詩一絶。其後人稍稍息筆。〔虎丘山：は吳縣の西北九里二百歩に在り。其の山は本と晉の司徒王珣と弟の司空王珣との別墅なり。咸和二年山に舍り東西二寺を爲り祠を山に〕

立てり。寺の側に貞娘の墓有り、吳國の佳麗なり。行客才子多く詩を墓上に題せり。舉子の鐔鉢なるもの有り。詩一絶を作れり。其の後人稍稍思事す。

●唐詩及議

貞娘者、吳國之佳人也。時人比於錢唐蘇小小。死葬吳宮之側。行客慕其華麗。競爲詩題於墓樹。櫛比鱗蹙。有舉子譚鉢者。吳門秀逸之士也。因書絕句以貽後之來者。觀其題處。經過之者。稍自筆矢。詩曰：虎丘山下塚。松柏蕭條畫可悲。何事世人偏重色。貞娘墓上獨題詩。（貞娘は吳國の佳人なり。時の人は錢唐の蘇小小に比せり。死して吳宮の側に葬れり。行客は其の華麗を慕ひ競ひて詩を爲り、墓樹に題すること櫛比鱗蹙せり。舉子の譚鉢なる者有り。吳門の秀逸の士なり。因りて絶句を書き、以て後に來る者に貽せり。其の題する處を觀て、經過の者稍て自筆す。詩に曰く、虎丘山下塚、松柏蕭條として、盡く非可し。何事ぞ世人偏に色を重する。貞娘墓上獨り詩を題すと。）

●白居易

貞娘墓 墓在虎丘寺 貞娘墓虎丘道 不識貞娘鏡中面 唯見貞娘墓頭草 霜摧桃李感折運 貞娘死時猶少年 脂膚美手不牢固 世間有物難留連 難留連易銷歇 寒北花江南雪 （貞娘の墓、虎丘の道、識らず貞娘鏡中の面、唯見る貞娘墓頭の草。霜は桃李を摧ぎ、風は運を折り、貞娘死せる時猶は少年なり。脂膚美手牢固ならず、世間に物有れども留連し難し。留連し難く銷歇易きは、寒北の花江南の雪なり。一白居易集十二）

一之容

嬌首 杏唇 犀齒 酥乳 遠山眉 秋波 芙蓉臉 雲鬢 玉筍 美指 楊柳腰 步步蓮 不肥不瘦 長短適宜

右は美人の容貌を表現する語を示したものであり。

の蹙眉 蹙になつてみ、あるいはむぎわらせみという蹙の一種、蹙が廣く色が白いために美人の顔に例えられる。

●詩經 衛碩人(詩) 碩人其碩。手如柔荑。膚如凝脂。領如蝤蛴。齒如瓠犀。螓首蛾眉。巧笑倩兮。美目盼兮。(碩人其れ碩と
う。手は柔荑の如く。膚は凝脂の如く。領は蝤蛴の如く。齒は瓠犀の如し。螓首蛾眉。巧笑倩たり。美目盼たり。

碩人は衛人の莊姜が美しいが子無きを哀れんで作られた詩。碩は長貌と注されるが、たけたかしと譯される。この詩で莊姜の手、膚、領、齒、首、眉、笑、顔の美しさを述べ、これが後世の美女の描寫法、造形の典型となるものである。柔荑とはやわらかな新生の莢(ちや)といひ手のやわらかく、しなやかなのに例える。凝脂は脂をねり固めたように光澤のあるさま。膚のつやがあり白いさまをいふ。蝤蛴はきくいむし、長く白いので、頸の細長く白いのに例える。瓠犀はひざごの中のたね、白く美しい齒並びの美人に例える。蛾眉は細く美しく曲ったかいこのまゆ。美人のまゆに例える。巧笑とは笑顔、倩は口わたの美しいのをいふ。美目盼たりとは、まなざしの美しいのをいふ。盼とする本文阮刻本もあるが誤と考。盼は恨んでいらむとか、かえりみるの意。盼は目の白目と黒目とはつきりしている意ないしは黒目がちなをいふ。毛傳には「白黒分(白黒分色)といひ、經義釋文では「韓詩云、黑也。」(韓詩に云ふ、黒色なりと。)と釋く。

○杏唇 あんずの實のように赤いくちびる。ただし、杏眼桃腮あるいは杏臉桃腮という表現が一般に用いられる。唇の表現としては、朱唇若丹(朱唇丹の若し)宋玉(神女賦)、丹唇(曹植洛神賦)、紫脣素齒(崔駰七依詩等)が見られる。ここにいう杏唇は杏唇の誤りかとも思える。李賀の詩には、濃蛾疊柳杏唇醉(濃蛾疊柳杏唇醉とあり、濃蛾は色こまやかな蛾眉、疊柳は柳の糸のようにかうなつてまわっている髪、杏唇は良い香りのくちびる。尚、杏臉桃腮とはあんずの花のように白い顔と桃の花のような紅い頬をいふ。

○犀齒 のの鼻首に引いた詩經の齒は瓠犀の如しにもとづく。

① 酥乳 酥は牛や羊の乳から造った飲料。清くなめらかなので、髪や膚等のつやのある美しさに例えられる。酥胸は肌の白くなめらかな胸。酥髪はつやのある美しい髪。酥臂は白くなめらかなうでをいう。

・剪髮餘詠 鸞鸞傳 錄傳貴學士蘭房謠 題曰雲鬟檀口柳眉酥乳纖指香鈎凡六首。粉香汗濕瑤琴軫春
退融融白鳳膏 浴罷檀郎門弄處 露華涼沁紫蒲萄 右酥乳：(貴學士蘭房の謠六に六題を詠せしを録し得たり。曰く、雲鬟檀口柳眉酥乳纖指香鈎凡て六首。粉香汗濕瑤琴軫、春退融融白鳳膏、浴罷檀郎門弄處、露華涼沁紫蒲萄。)

右の例は飲み物としての酥乳であるが、鸞鸞鸞という美女を連想させるもので、この語が底流としてあることに疑いはない。この鸞鸞は字を文鵠といい、幼い時に香屑を飲食に雜せて啖わせた。長じて體が香しかったという。

② 遠山眉 美しい眉を遠山に喩えたもの。(西京雜記) 卓文君に見えぬ。

・西京雜記 司馬相如初與卓文君還成都。文君姣好眉色如望遠山、臉際常若芙蓉、肌膚柔滑如脂。(司馬相如、初め卓文君と成都に還る。文君姣好たり、眉色は遠山を望むが如く、臉の際には芙蓉の若く、肌膚は柔滑にして脂の如し。)

この遠山眉については遠山黛という語もあり、飛燕外傳にも見える。遠山眉は薄く書き遠山のかすんださまにかたどる。

③ 秋波 美人の涼しい目もとに例えられる。波は楚辭招魂に「美人既醉、朱顏酡此、妖光眇視、目曾波也。」(美人既に酔ひ朱顏酡なり。妖光眇視して、目波を曾ぬ。)とあり、王逸の注によると、波は華なり、美女酣樂し、顧望娛戲し、身に光文有り、眇視曲睨す、目采眇然として、白黒分明にして、水の波の華を重なり若し。と云う。美女が酒宴に酔い、美しい顔にぞまり、戯れ

たまはゆいばかりの美女がながし目をする。白黒分明の美し目は水の波の華を重ねるようだといふ。秋波とはこれに添を發し、「佳人未育回秋波」(蘇軾「白菊詩」)や「故事成語考」身體のような故事集にも秋波と動して使われるようになる。

(11)芙蓉含臉 芙蓉は蓮の花。蓮の花のように美しい臉をおぼせをいう。(12)に引いた「西京雜記」參照。

(13)雲髻 髻は髪に同じ。雲のように美しい髪の色。雲髻ともいい、雲鬟、緑鬟、李白「久別離」とか「雲鬟不勝愁」(張氏見「仙家閑情詩」)とか數えるに暇やないほどである。就中「浪浪歌」に「雲鬟花顏金步搖」と詠じられてより、知らぬ者の無いほどに知れ渡った。

(14)玉筍 美人の指を形容した語。筍は美しくのびたたけのこと。韓偓の「詠手詩」に「腕白膚紅玉筍芽」と詠じられている。

(15)菱指 つばなのようにやさしくしなやかな指。(16)の詩經參照。

(17)楊柳腰 楊柳のようにしなやかな腰の美女。やすぎごしの美女をいう。白居易の「愛妾小蠻」を詠じた「楊柳枝」に基づく。

●本事詩事感 白尚書有妓樊素善歌、小蠻善舞。嘗爲詩曰、櫻桃樊素口、楊柳小蠻腰。年既高邁而小蠻方豐艷、乃作楊柳枝辭以託意。(白居易「居易」に妓有り、樊素は歌を喜く、小蠻は舞を喜く。嘗て詩を爲て曰く、櫻桃樊素の口、楊柳小蠻の腰と。年既に高邁にして、小蠻方に豐艷なり。乃て楊柳枝の辭を作り、以て意を託す。樂府詩集ハ十一「楊柳枝」辭題の本支による。流布している「本事詩」と異同あり。)

(18)步步蓮 南齊の東昏侯が金の蓮花を作り、潘妃にその上を歩ませた故事。一歩ごとに蓮花が生ずる意で、美人がゆ

るやかに歩くさまに例える。（南史の） 濯清渠（214）に見えろ。

●南史^三、廢帝東昏侯、鑿金爲蓮花以貼地、令潘妃行其上、曰、此步步生蓮花也。（金を鑿きて蓮花を爲り以て地に貼り潘妃をして其の上を行かしめて曰く、此れ步步蓮花を生ずと。）

の不肥不瘦長短適宜 曹植の洛神賦^註に、環纖得中、脩短合度。（環纖中を得脩短度に合ふ）とある。次に二以下を解く必要があるが、本文を引くのみで省略する。美人畫の題にもなるものが多い。

二之韻（詩賦の題となるものが取り上げられている。）
簾內影 蒼苔履跡 倚欄待月 斜抱雲和 歌餘舞倦時 嫣然巧笑 臨去秋波（轉

三之技（美女の妓藝に關わるもの。）

彈琴 吟詩 圍棋 寫畫 蹴鞠 臨池摹帖 刺繡 織錦 吹簫 抹牌 鞦韆 深詣首律 雙陸
四之事（美女のすることから）

護蘭煎茶 金盆弄月 焚香 咏絮 春曉看花 撲蝶 裁剪 調和五味 染紅指甲 鬪草 教鸚鵡念詩
五之居（美人の住む所）。

金居 玉樓 珠簾 雲母屏 象牙牀 芙蓉帳 翠幃

六之候 美女と季の風の風物。

金盆花開 畫船明月 雲映珠簾 玳筵銀燭 夕陽芳草 雨打芭蕉

七之飾（調度品、装身具）

珠衫 銷帳 八幅繡裙 鳳頭鞋 犀簪 辟寒釵 玉珮 鴛鴦帶 明璫 翠翹
八之助(調度・装身具小物言物。)

象牙梳 菱花 玉鏡台 兔穎 錦箋 端硯 綠綺琴 玉蕭 絢扇 毛詩 玉台香奩諸集 韻書 俊婢 金爐 古瓶
玉合 異香 名花

九之饌(食物)

各色時果 鮮荔枝 魚鮓 羊羔 美醢 山珍海味 松蘿徑 山陽羨佳茗 各色巧製小菜

十之趣(風趣)

醉倚郎肩 蘭湯書沐 枕邊嬌笑 眼色偷傳 拈聲打鶯 微含醋意

三 美女の描寫の方法

—曹植の洛神賦と後漢書梁冀妻について—

文選に收めたる曹植の洛神賦は河洛の神宓妃の傳説に基いて作られたもので、絶世の美女を美辭麗句を使って描き上げたものとして、詩經の碩人等とともに後の美女描寫の典型を示すものである。

●洛神賦 其形也翩若驚鴻、婉若游龍、榮耀秋菊、華茂春松、髮髻兮若輕雲之蔽月、飄飄兮若流風之迴雪、遠而望之、皎若太陽升朝霞、迫而察之、灼若芙蕖出綠波、攬纖得中、脩短合度、肩若削成、腰如約素、延頸秀項、皓質呈露、芳澤無加、鉛華不御、雲髻鬢我、娥眉睂眉、聯娟、丹脣外朗、皓齒內鮮、明眸善睐、廣輔承權、環姿豔逸、儀靜體閑、柔情綽態、媚於語言、奇服

瞻世骨像應圖披羅衣之璫發金瑠璃碧之華裾戴金翠之首飾綴明珠以耀軀踐遠游之文履曳霧縠之輕裾微幽
 蘭之芳馥兮步御瀾…動無常則若危若安進止難期若往若還轉盼流精光潤玉顏含辭未吐氣若幽蘭華容婀娜令
 我忘餐(其の形や翫たること驚瀾の若く婉たること游龍の若く榮は秋菊よりも曜き華は春柳よりも茂り髪髪とし
 て輕雲の月を蔽ふが若く飄飄たること流風の雪を廻らすが若く遠くして之を望めば皎として太陽の朝霞に升るが若く
 迫くして之を望れば灼として美泉の涼波より出たるが若く纖纖中も得脩短度に合ひ肩は削り成せるが若く暗は素
 を絞ねたるが如く延頸秀頂皓質露露し芳澤加ふる無く鉛華御せず雲鬢我我として脩眉聯娟たり丹脣外に朗り皓
 齒内に鮮に明眸善く睐み麗鞠權を承け環姿豔述にして儀靜に體閑なり。予情綽綽態語言に媚び奇服瞻世にして
 骨像圖に應じ羅衣の璫發たるを披て瑤碧の華裾を佩み金翠の首飾を戴き明珠を綴りて以て軀を耀かし遠游の文履を
 踐み霧縠の輕裾を引き幽蘭の芳馥たるに微れ步して山陽に踟躕す…動くに常則なく危きが若く安きが若く進止期し
 難く往くが若く還るが若く轉盼して精を流し光潤なる玉顏あり辭を合んで未だ吐かず氣幽蘭の若く華容婀娜とし
 て我をして餐を忘れしむ。

神女の姿を描いたのだから現實離れのところもあるが先ず神女の形から述べられる。翩は輕やかな身のこせしをいう。
 これは既に述べたように美女たるの條件の一つである。腕はしなやかなさま。榮や華は神女を菊の花や松に例えそのかが
 やく美しうをいつたもの。蔽月廻雪太陽芳澤いすれもその美しうを形を變えて表現したものの。纖纖中を得脩短度に
 合うとは先に引用した「不肥不瘦長短適宜」に當るもの。

次に肩、腰、頸、鬢、眉、脣、齒、眸、顰、鬢等の身體にまつわる描寫が行われさらにその儀ふるまい、服裝等につ

いて細やかな表現がなされる。二で引用した一之谷かう十之趣まで美女の描寫の條件にあてはめれば説明がつく。一から十までは美人畫の道算立てのようになっているが、美女の姿が現實味を帯びて表現される手懸りとして一つの規準を示すものである。次にもう一例後漢の梁冀の妻孫壽について述べたものを引いておこう。

・華端後漢書、梁冀妻孫壽、色美、能作愁眉啼馬髻、折腰步、顰齒笑、以爲媚惑也。梁冀の妻の孫壽は色美しく、能く愁眉啼馬髻、折腰步、顰齒笑を作して、以って媚惑を爲す。

愁眉は後漢の旧流行した眉の描き方で、細く曲った形をしていて、愁いを含んだ表情に作る。啼馬髻はおしつゝを塗って、目の下だけの薄くして涙を流した跡のようにする化粧。愁眉と同じ効果を狙う。啼馬髻は髻を一方にかたよせて結うもの。折腰歩は腰をくし折って歩くさま。足弱く身體を支えかねるようになせる。顰齒笑は歯齧が傷むかのようにみせて笑つさま。いずれも愁いを帯びた表情を作つて男性の心をひきつける化粧である。

以上美女傳研究としては十分ではなく、經過報告の域を出ないが、近き將來一書にまとめることによりその責を償いたい。尚、この稿は櫻美大學を中心に中國文學に現われた女性像という主題の下に文部省から一九七八―一九〇年度に渡つて総合研究費を受けたが、その完成年度に當つていたので、その報告も兼ねて、ここにまとめたものである。櫻美大學でも研究グループで報告集を作ることになるが、資料編の一部が重複することになり、ここに了承いただきたいと思います。

四 資料篇

凡 例

一、資料篇は美女傳に關わる資料を、書物、文、詩、詞に分けて整理した。また、書物についてのみ書名索引を附した。資料の配列は時代順と四部分類を併用した。

二、書物は次の方法で整理した。文は全五古三代秦漢國朝文、和刻本文選、全唐文等を中心に用いた。

(一) 四部分類 叢書、子目類編による分類に従った。

(二) 時代 先秦(周)以下のものあり、漢(前・後)、三國(魏・蜀・吳)、晉・五胡、南北朝(劉宋・南齊・梁・北魏・北齊・北周・陳・隋)、唐、五代・十國、宋(北・南)、金・元・明、清に分けて配列した。作品の配列は同じ時代の枠内で四部分類に従った。

(三) 書名 枠内を書名と編名に分けた。編名には原文にないもので、内容を知らねば必要と思えるものを加えにところがある。また、毛詩と詩經に周易を易經のように統一したものもある。

(四) 撰者 先秦その他必ずしも断定できぬ撰者について通説に従って記入したものもある。

(五) 摘要 美女を表現することは、容態を述べるものを中心に本文から適宜抽出した。

(六) 類書の欄 藝文類聚(藝と略記)、初學記(初)、太平御覽、淵鑑類函(類函)、古今圖書集成(集)にお

ける美女資料の存在を示した。

○藝文類聚^下↓卷十八 人部ニ 美婦人の部ニ三四頁三行（左傳春秋左氏傳）

○隋書^下↓太平御覽卷三八。美婦人ニ 四丁表六行（周易易經）

○類函^下↓淵鑑類函卷五五 美婦人 十八丁表三行（左傳）へ原とあるのは唐類函に基くもの増とあるのは類函で新しく加えたもの。

○集韻^下↓古今圖書集成（文星版）五十二冊 明倫彙編 閨範部 五五四頁第二段十九行（六羊傳）春秋（六羊傳）

⑧備考 二つの枠に分けた。左側の欄に16aのように記入したものは叢書子目類編の一六一頁左側に書名が見

えることを要す。右側の欄は書物の牧められた叢書名等を示したもので、上に底本とすべきもの、下に點校本あるいは普及本で使いやすいものを記した。四備↓四部備要 四叢↓四部叢刊であり、その他百部叢書集成所収本

（略號は集成のそれに準じた）を中心に、世界書局の學術名著（學名）、商務印書館の國學基本叢書（國基）、

五朝小説大觀（五朝小説）、筆記小説大觀（筆記小説）十三經注疏等が主たるものである。

三詩及び詞はほぼ右に準ずるが、四部分類はしていない。整理するに當り次の方針で行った。

⑨漢以下隋までは丁福保の全漢三國晉南北朝詩を用いた。（學術名著版）

⑩唐詩は點校本の全唐詩（中華書局本）によった。

⑪詞は唐詞は全唐詩により、宋詞は唐圭璋の全宋詞を用いた。

[illegible]

中国美女伝稿

四部	時代	書名	撰者	摘 要	藝 初	覽 類	函 集	備 考
12	子語子名家	周尹文子	大道上篇	尹文	董公一立國色	17 324	387 125	306 706 古
13	子語子名家	周鬼谷子			女愛不敵男愛不盡輸			鬼谷子列古 仙仙仙仙仙
14	子語子名家	山海經			巫山神女名曰瑶姬	17 415	387 125	306 706 古
15	子語子名家	穆天子傳			穆天子遊西國美人之地	17 324	387 125	306 706 古
16	子語子名家	六 韜			有王三人散髮主得之獻之於時	17 324	387 125	306 706 古
17	集楚辭	周楚辭	九歌 山鬼 招魂	屈 宋	含辭強笑 操子強容 蘭舟明翠 平容儀 嬌容嬌態 嬌容嬌態 嬌容嬌態 美人獻辭 美人獻辭 美人獻辭 美人獻辭 美人獻辭 美人獻辭	17 324	387 125	306 706 古
18	經禮記	漢禮記	女 許慎		婦容不奪于色	17 324	387 125	306 706 古
19	經小學	漢說文	女 許慎		婦容不奪于色	17 324	387 125	306 706 古
20	經小學	漢通俗文	婦 嬀 嬀 裸 嬀	服虔	婦容不奪于色	17 324	387 125	306 706 古
21	經小學	漢方言	婦 嬀 嬀 裸 嬀	揚雄	婦容不奪于色	17 324	387 125	306 706 古
22	經小學	漢文選	婦 嬀 嬀 裸 嬀	司馬遷	婦容不奪于色	17 324	387 125	306 706 古
23	史正史	漢史記	周本紀 趙世家 外戚世家 陳耳列傳 司馬相如傳	司馬遷	婦容不奪于色	17 324	387 125	306 706 古
24	史正史	漢書	頂籍傳 李夫人傳	班固	婦容不奪于色	17 324	387 125	306 706 古
25	史正史	漢書	戰國策	劉向	婦容不奪于色	17 324	387 125	306 706 古

[illegible]

部	職	書	名	撰者	摘	要	藝	初	覽	類	函	集	備	考	
			本經訓 齊俗訓 說山訓		七端西施之色。 侍西施七端而醜醜終身家。 畫西施之面莫而不可說。 西施方所醜而西施之好醜。 口有所醜而西施之好醜。 西施七端或說不可用其美。 佳人不同醜美人不同面。 美女實於宮。 發頂結飾形勢得不得脂粉。 芳澤而莫西施之陽文。 蔡之幼女衛之稚賢。 美人者非此西施之種。 毛端西施天下之美人。	78 324y		387 1b7	387 1b3	257 a 257 b 257 c	257 a 257 b 257 c				
37	子雜學雜論	後漢	論衡	逢遇	王充	好惡人所好也以醜而醜色。 媚於上媚於下醜是也。 醜色色醜醜色之。						257 b7 257 c7	257 b 257 c	西漢	
38	子雜學雜論	後漢	天祿閣外史		黃憲	王侯將相皆由陰陽氣雜而 得得陰陽氣。						257 b7 257 c7	257 a 257 b		
39	子小說志怪	後漢	洞冥記	(麗娟)	郭憲	麗娟封國王唐教吹簫勝不 欲名譽神人志難此。					257 a 257 b 257 c	1083 b	1083 a	通史	
40	子小說傳奇	前漢	飛燕外傳		伶玄	宣主纖纖細舉上諸人謂之 飛燕合德竟消出浴不濡二人皆出 一世色彩髮鬋髮鬋薄眉蹙蹙 黛施小珠點點朱粧衣裁短綳綳 小袖衣。 合德謂為起疑好起與起好使后 飲味好起疑好以神離人 紅袖似紅掌以房中事。 后浴五藏七通通通通水。 降神在室好治治治治治。 百藥。			257 a 257 b 257 c	1098 a	1098 a	通史			
41	子小說傳奇	後漢	漢武故事		班固	無起疑人十人十人以十人以十人。 然其龍不使物化。 得阿嬌作金釵之。	78 325		380 6b6	257 a 257 b 257 c	1098 a 1098 b 1098 c	1098 a 1098 b 1098 c	1098 a 1098 b 1098 c	通史	
42	子小說傳奇	後漢	漢武內傳		班固	西王母來禁雲之輩。 司馬文國也。	78 325		380 6b6	257 a 257 b 257 c	1098 a 1098 b 1098 c	1098 a 1098 b 1098 c	1098 a 1098 b 1098 c	通史	
43	子雜學經濟	魏	典義	內	文帝	司馬文國也。	78 325		380 6b6	257 a 257 b 257 c	1098 a 1098 b 1098 c	1098 a 1098 b 1098 c	1098 a 1098 b 1098 c	通史	
44			成公義			伐羅成傳教女。									
45	史正史	晉	三國志	吳志	吳主權步夫人	陳壽	夫人以美麗得幸寵寵寵。 鍾繇傳注}→ 50.51	78 324y	380 7a3				868 a		

四部	部	書	名	撰者	摘	要	初	覽	類	函	集	備考
			薛靈芸		魏代所製人薛靈芸年十六容貌絕世			387 2017	18.255200.6			同e
			孤姬蜘蛛		涉虎能開眼皆振絕已名朝			387 30.2	18.255210.7	52 1.2.16		同f
			蜀甘后		後蜀麗居洛珍潔華			387 25.2	18.255200.5			同g
			石崇翻風		慈順容法以世為神智婦人					52 1.2.17		同h
			(旋胡提媛)		胡風平壯無有比其容貌特以姿態異美					52 1.2.17		同i
			(侯王潘夫人)		旋胡提媛並王實親膚體輕					52 1.2.17		同j
			(因祖國獻女)		乘鐵綽約而窈窕絕倫無雙					52 1.2.17		同k
					容法故麗為於當時而頭骨輕麗					52 1.2.17		同l
					潘夫人容貌少儔江東絕色					52 1.2.17		同m
					周成王母因祖國女工體態輕潔					52 1.2.17		同n
					列女傳載王姬體態輕潔					52 1.2.17		同o
66	子道教館	晉	抱朴子	論仙	葛洪	不可以無學而能之也而得之者前						779 a
				勸學		西施之貌						779 a
				刺驢		西施之貌						779 a
				博喻		西施之貌						779 a
67	集別集	晉	高梁集敘		孫統	高梁集胡胡改年一姿色清麗近上						金華260.11 (世說新語載)
68	經小學訓詁	劉宋	纂文		何承天	手瑜美色也	779 255	387 10.2	18.255210.7	52 1.2.16		同p
69	史正史	劉宋	後漢書	梁冀傳	范曄	范曄容貌鍾明漢宮						同q
70	史正史	劉宋	三國志	鍾繇傳注	裴松之注	裴松之注						同r
71		劉宋	三國志	荀彧傳注	裴松之注	裴松之注						同s
72	史別傳通記	隋	續齊世紀	(卷之錫一版)	何集	齊世紀一版並齊國色						同t
73	史載記總紀	魏	十六國春秋	前趙錄	劉聰	劉聰女姿色絕世						同u
				後趙錄	石虎	石虎各標美						同v
				前秦錄	苻堅	苻堅各標美						同w
				後秦錄	苻堅	苻堅各標美						同x
74	史傳記		桑別傳	(世說新語注)								同y
			王蒙別傳	桑別傳								同z
75	史載記總紀	劉宋	三國春秋	武毅之	武毅之	武毅之						同aa
76	子小說傳奇	北齊	山河別記	王恭伯	邢子才	一女子姿容甚麗(世說新語載)						同ab
77	子集詩總論	陳	古今樂錄	挑葉	釋智匠	挑葉王敬恭也揚雄之為文歌						同ac

四	部	職	書	名	撰者	摘	要	藝	初	覽	類	集	備	考
						一篇抄襲								
78	子小說雜錄	劉宋	世說新語	賢媛(王昭君) 初解(李贄注)	劉義慶	王昭君容姿麗 拒宣武以李贄詩為 地處色王昭君容 從世劉氏王昭君 從世劉氏王昭君			387 140 233 240 25 248 249 442			164 b		
79	子小說雜錄	梁	俗說	(宋 神)	沈約	宋神宗時 宋神宗時			18 326	387 140 233 240 25 248 249 442		164 b	535 240 535 240	
80	子小說雜錄	梁	妬記	李翦女		在舊時 在舊時			19 325			164 a	535 240 535 240	
81	子小說志怪	劉宋	太清記	劉孝儀妹	王韶之	劉孝儀妹 劉孝儀妹						164 a	535 240 535 240	
82	子小說志怪	劉宋	異苑	范	劉敬叔	徐球 徐球						164 a	535 240 535 240	
83	子小說志怪	劉宋	幽明錄	買粉兒	劉義慶	見一女子 見一女子						164 a	535 240 535 240	
84	子小說志怪	梁	述異記	(香 水 漢) (宋 都 大)	任昉	香水漢 香水漢						164 a	535 240 535 240	
85	子小說志怪	梁	續齊諧記	陽羨書生	吳均	口中吐 口中吐						164 a	535 240 535 240	
86	子小說志怪	隋	窮怪錄	劉 尊		酒施要 酒施要						164 a	535 240 535 240	
87	集詩評話	梁	詩品	序	鍾 嶸	揚雄入 揚雄入						164 a	535 240 535 240	
88	集詩評話	梁	文心彫龍	雜 文	劉 勰	望曉持 望曉持						164 a	535 240 535 240	
89	史正史	唐	晉書	賈充傳	太宗	賈充傳 賈充傳						164 a	535 240 535 240	
90	史正史	唐	書	五行志	魏徵等	高仲密 高仲密						164 a	535 240 535 240	
91	史雜史	唐	東漢書	記	(譚 誠)	裴處裕						164 a	535 240 535 240	
92	史正史	唐	陳書	高祖草	后	魏徵等						164 a	535 240 535 240	

中国美女伝稿

	四	部	代	書	名	撰者	摘	要	整	初	覽	類	函	集	備	考	
							有神家道出關破谷色施麗那 視助殊光深滋目照成結										
93	史	正	史	唐	南	史	康帝東晉侯	李延壽	潘紀黎鸞鸞蓮花以花池今 潘紀(其集)曰此少生蓮花池 婉人張淨琬腰圍一尺二孫明 王能反腰花池銜滑席王昔 何氏亦枝燕耀華美而南龍 翠石鑲生女有容姿始安通光 納焉				253/13 潘少生蓮 380 隋石鏡人	27/ P			
94	史	地	理	志	唐	吳	地	記	(語兒亭)	陸廣微	西遊了路樂花露酒三年始建丁 吳遊生予親身其成龍驤				38 538 P	338 P	陸廣
95	子	小	說	雜	錄	唐	朝野會載	任懷素	張鷟	任懷素賜女名國色					52 46 P	1047 B	晉書 卷127.2
96	子	小	說	雜	錄	唐	雲溪友議		范摅	吳娘吳國夫人佳比蘇小					52 46 P	1047 B	晉書 卷127.2
97	子	小	說	雜	錄	唐	杜陽雜編	薛平	蘇鶚	元載寵妓薛平名玉貌既奇麗 輕雅放縱不羈學珠不識通以 湘水一水載輕修飾形影 氣貌古今不減衣不下簾				130 255/13 104 229 P	1047 A	晉書 卷127.2	
98	子	小	說	雜	錄	唐	三水小牘	嚴郛	女	皇甫枚	嚴郛女何氏貌麗新聲				52 46 P	1047 A	晉書 卷127.2
99	子	小	說	雜	錄	唐	嘉話錄		皇甫枚	玉水界味國色					52 46 P	1047 A	晉書 卷127.2
100	子	小	說	雜	錄	唐	途	史	盧李二生	盧子	女子容貌麗新聲甚盛				52 46 P	1047 A	晉書 卷127.2
101	子	小	說	雜	錄	唐	乾	驤	子	華州參軍	溫庭筠	宦女之容貌絕代			52 46 P	1047 A	晉書 卷127.2
102	子	小	說	雜	錄	唐	盧氏雜說		盧言	盧江環羅帶時有珠已					52 46 P	1047 A	晉書 卷127.2
103	子	小	說	雜	錄	唐	江陵士子		馮贄	江陵富居士有美姬					52 46 P	1047 A	晉書 卷127.2
104	子	小	說	雜	錄	唐	南	郭	煙	花	錄	馮贄	南郭煙花錄		52 46 P	1047 A	晉書 卷127.2
105	子	小	說	雜	錄	唐	三	餘	帖			馮贄	三餘帖		52 46 P	1047 A	晉書 卷127.2
106	子	小	說	雜	錄	唐	河	東	記	段	何	段	何		52 46 P	1047 A	晉書 卷127.2
107	子	小	說	雜	錄	唐	纂	異	記	劉	景	復	李	政	52 46 P	1047 A	晉書 卷127.2
108	子	小	說	雜	錄	唐	廣	異	記	張	果	女	戴	若	52 46 P	1047 A	晉書 卷127.2
109	子	小	說	雜	錄	唐	王	玄	之	新	繁	縣	令	劉	52 46 P	1047 A	晉書 卷127.2
110	子	小	說	雜	錄	唐	長	文	文						52 46 P	1047 A	晉書 卷127.2
111	子	小	說	雜	錄	唐	李	元	平						52 46 P	1047 A	晉書 卷127.2
112	子	小	說	雜	錄	唐	遊	仙	窟						52 46 P	1047 A	晉書 卷127.2
113	子	小	說	雜	錄	唐	張	鷟							52 46 P	1047 A	晉書 卷127.2

	四部	開代	書名	撰者	摘要	初覽	類函	集備	考		
110	子小說傳奇	唐	章臺柳傳	許堯佐	韓瑒妻柳氏罷地時。當其非時。			52 67 a	1099 a	附載 a. 附載	
111	子小說傳奇	唐	會真記	崔鶯鶯 元稹	鶯鶯顏也。豔異。老嫗。參以生。其意 聯想。紀名不勝其體。始是。融治力 不能。建支體。會真詩。低環。輝影。動 迴步。玉。處。蒙。增。面。滿。比。意。甚。未。挖。地。說 眉。羞。臨。窗。倚。香。綰。受。誠。氣。潮。滿。花。錦 唐。開。王。肌。豐。無。力。嬌。移。多。嬌。金。鎖。鎖 汗。流。珠。粉。黛。紅。綠。落。葉。			52 68 a2	1102 a	附載 a. 附載	
112	子小說傳奇	唐	王氏紀聞	北山道者 李麗名妻	牛肅 懷州密令。文。年。十七。姿。色。絕。人。 李。羅。名。者。意。其。美。某。某。人。傍。羅。色。 傍。聞。多。淫。話。服。觀。被。人。問。珠。結 未。姿。豔。美。			52 68 b2	1102 a	附載 a. 附載	
113	子小說傳奇	唐	周秦行紀	牛僧孺	漢。神。母。道。人。白。願。通。大。后。成。人。 王。端。大。和。已。傳。始。以。潘。淑。起。終 殊。大。后。款。魏。璠。璠。威。人。我。雅 長。面。楚。不。杜。王。端。表。明。德。中。貌 舒。能。逸。老。彩。鄉。隨。近。揚。州。也。鐵 腰。修。昨。隔。幕。甚。麗。潘。淑。好。已。厚 肌。膩。視。小。質。潔。白。如。凝。雪。綠。珠 善。姑。好。短。髮。觀。服。豔。甚。美。多。媚。			52 68 a2	1102 b	附載 a. 附載	
114	子小說傳奇	唐	玄怪錄	(王勝莖)	牛僧孺	一。說。可。以。九。始。露。無。比。			52 68 b2	1102 b	
115	子小說傳奇	唐	博異志	沈亞之	鄭還古	夢。一。美。人。為。古。故。高。發。長。后。要。人			52 68 b2	1103 a	附載 a. 附載
116	子小說傳奇	唐	劉無雙傳	薛 調	劉。底。文。無。雙。錦。霞。碧。眼。資。質。明 麗。若。神。仙。中。人。			52 68 b2	1105 b	附載 a. 附載	
117	子小說傳奇	唐	鄭德璘傳	鄭 德 璘	薛 瑩	事。以。而。能。環。視。眼。常。運。葉。發。文 錦。霞。錦。雲。月。鮮。珠。彩。			52 68 b2	1105 b	附載 a. 附載
118	子小說傳奇	唐	傅 奇	曾 李 衡	裴 鋼	王。校。居。文。國。色。也。			52 68 b2	1107 a	附載 a. 附載
119	子小說傳奇	唐	潘 湘 錄	襄陽老叟	李 隱	王。教。於。潘。湘。羅。翠。掌。有。比。喻 一。女。子。答。其。味。麗。年。可。初。許。			52 68 b2	1107 a	附載 a. 附載
120	子小說傳奇	唐	宣室志	鄭 德 懋	張 讀	一。陳。姿。色。甚。美。崔。大。人。小。女。願。有。容 質。年。十。四。姿。色。甚。麗。被。服。紫。羅。			52 68 b2	1107 b	附載 a. 附載
121	子小說傳奇	唐	通幽記	(何舒翰)裴 陳	助	裴。六。郎。容。範。暗。代。各。歌。婢 麗。姿。而。有。掌。顯。理。母。之。長。婢。也。			52 68 b2	1108 a	附載 a. 附載
122	子小說傳奇	唐	非烟傳	步 非 烟	皇甫枚	武。深。愛。步。非。烟。性。細。容。止。纖。麗 若。不。勝。纖。麗。善。琴。瑟。好。以。草。花。工。等。說。			52 68 b2	1108 a	附載 a. 附載
123	子小說傳奇	唐	崑崙奴傳	(崔 生)	楊巨源	一。品。之。三。妓。人。貌。皆。絕。代。崔。生。建。紅 綰。綾。蓮。葉。明。瑞。工。琴。環。切 壁。紅。臉。嬌。舒。曲。被。於。屏。			52 68 b2	1108 a	附載 a. 附載
124	子小說傳奇	唐	蔣子文傳	羅 鄴	有。好。姘。女。望。望。子。以。資。容。可。愛			52 68 b2	1109 a	附載 a. 附載	
125	子小說傳奇	唐	揚州夢記	湖州羅媛女	于 鄴	女。年。十。餘。歲。杜。牧。撰。曰。此。集。國。色			52 68 b2	1110 a	附載 a. 附載

中国美女伝稿

四部	書名	撰者	摘要	初	賢	類	出	集	備考
126	子小說傳奇 唐 夢遊錄	楊槐青衣	任蕃	唐李賀立客色貌麗若神也				52 67 C 73	1110 b 1110 a
127	子小說傳奇 唐 才鬼記	李季武	鄭黃	李賀立客色貌麗若神也				52 67 C 73	1110 b 1110 a
128	子小說傳奇 唐 薛昭傳		裴鉞	薛昭立客色貌麗若神也				52 67 C 73	1110 b 1110 a
129	子小說傳奇 唐 陰德傳	劉弘敬		方歸諸有深亡感皆能致不				52 67 C 73	1110 b 1110 a
130	子小說諸 唐 妝臺記序		宇文及	北州妝臺記序				52 67 C 73	1110 b 1110 a
131	集文選 唐 洛神賦注		李善	曹植求學道				52 67 C 73	1110 b 1110 a
132	集文選 唐 本事詩	孟榮		才色冠絕				52 67 C 73	1110 b 1110 a
133	史正史 唐 書	劉昫		劉昫有件傳				52 67 C 73	1110 b 1110 a
134	史正史 唐 言	王定保		王定保				52 67 C 73	1110 b 1110 a
135	唐史 (龍組)	龍組		龍組				52 67 C 73	1110 b 1110 a
136	子小說諸 五代 闕伏寶遺事	李紅絲	王仁裕	郭振素衣姿色				52 67 C 73	1110 b 1110 a
137	子小說諸 五代 奇錄	畫工	于迅	趙顯得一數陣圖				52 67 C 73	1110 b 1110 a
138	子小說諸 五代 神異錄	鄧中	神人	寶建龍開拉見神				52 67 C 73	1110 b 1110 a
139	子小說傳奇 唐 虬髯客傳	虬髯客	杜光庭	隋楊素妓有珠色貌紅排十八				52 67 C 73	1110 b 1110 a
140	子小說諸 唐 妝樓記	香溪	張泌	明妃於漢中與漢水畫色有漢				52 67 C 73	1110 b 1110 a
141	史雜史事 宋 朱師洲雜記		塞駒	塞駒				52 67 C 73	1110 b 1110 a
142	史雜史事 宋 澄下開談	素娥	江洵	素娥				52 67 C 73	1110 b 1110 a
143	史雜史事 宋 北夢瑣言	崔夫人	孫光憲	崔夫人				52 67 C 73	1110 b 1110 a
144	史雜史事 宋 洛陽雜記	張翥	張翥	張翥				52 67 C 73	1110 b 1110 a
145	史雜史事 宋 道山清話	官娘		官娘				52 67 C 73	1110 b 1110 a

四部	時代	書	名	撰者	提要	藝	初	覽	類	函	集	備	考									
174	子小說傳奇	宋楊太真傳	魏國夫人	樂史	號國不施杜粉指其說常長國類 類 有妓曰楚宮引腰				增	52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000												
175	子小說傳奇	宋綠珠傳		樂史	吳郡綠珠以珠為上生女為珠 娘生焉為珠兒																	
176	子小說傳奇	宋司馬仲傳		王字	司馬仲畫錄夢美妹一麗人																	
177	子小說傳奇	宋梅妃傳			梅妃為屬文淡雅雅服所愛能明 秀筆不可描畫																	
178	子小說	宋北窗志異(黃撰)			見幼婦年及笄嬌態之密婉媚 之態一發盡解其																	
179		宋關子			西施自處於世不恃其美以自處 於世以爲媚於西施																	
180	集詩評詩話	宋全唐詩話	元旗	尤表	李益全唐詩話 劉禹錫容華莫比元(贈詩曰) 新荷巧樣重雙蛾 有婢 瑞麗者信律																	
181	集詩評詩話	北宋後山詩話	花蕊夫人	陳師道	蜀人以才色入蜀官後主寵花蕊 夫人																	
182	集詩評詩話	北宋楊簡贅筆	咏婦人	章淵	手如柔荑腰如弱柳領如皓齒 齒如瓊瑤膝如羊脂巧笑倩兮 美目盼兮宋王元之贊之元之微 之元之陶淵明作閑居賦一																	
183	集詩評詩話	南宋彥周詩話	(詩人寫物體裁)	許顥	烟柳爭繁藏底高天門前地春 風(寺娃行) 女道士流裙扶頭羞避自眼紅顏 長眉青(半山女詩)(艾翁城詩) 雲霞波洗步如塵一盤盤如柳 二禽 嘲嘲春園乞																	
184	集詩評詩話	(宋)桐江詩話			有女 姿色婉麗神心中人也詩 云 腰如柳水腰如來																	
185	集詩評詩話	宋續本事詩	(鏡兒)	盧櫟	郭駿有婢 鏡兒眉目姿容絕代																	
186	集詩評詩話	宋古今詩話		李頎	何蒙之妻 嘉猷人聲若鐘 詞曰 採桑樂口 楊柳川聲																	
187	史正史	宋金史	歡都傳	脫脫	李琦書字二十餘年姿色																	
188	子雜學雜說	元輟耕錄	崔麗人	陶宗儀	見所著崔麗人圖一麗人銷魂 玉質才貌稱麗人之偶也觀 色麗人乃雜物人其記七歲 意花不足擬其色似花豪之雜物也																	

中国美女佚稿

	四部	部	书	名	撰者	摘	要	藝	初	覽	類	出	集	備	考
189	子	小說	雜錄	元	誠齋雜記	(羊佩垂子腰) 楊素安 簪簾廊)	林坤	韓長壽與王院君遊北湖龍王墓 楊素安妻已絕倫 簪簾廊以撒掉板簾的江上遊遊行 別有風味					52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62	1044 a	清遠 雜錄
190	子	小說	雜錄	元	虛谷閒抄		方回	張氏女國色也夢見少女花容綽 約銀鋪門樓					52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62	1044 a	說海 雜錄
191	子	小說	雜錄	元	瑯嬛記		伊世珍	採薪雜記西遊零體有異					52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62	1045 a	瑯嬛 雜錄
192	子	小說	雜錄	元	女紅餘志	眼 阿	龍輔	龍輔雜記西遊零體有異 從中或能見其阿段客門流莫 替也					52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62	1046 a	說海 雜錄
193	子	小說	雜錄	元	綠衣人傳		吾立釘	身一子綠衣雙鬢年十七六雖 不露妝素飾而法色絕人					52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62	1117 a	綠衣 雜錄
194	子	小說	雜錄	元	蓮塘一紙傳		徐觀	姬學士同蓮塘冷色湖蓮					52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62	1117 b	綠衣 雜錄
195	子	小說	雜錄	元	南樓美人傳		楊維禎	視一美人觀妝綉眼則體態風 流絕色也					52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62	1117 b	綠衣 雜錄
196	子	小說	雜錄	元	牡丹燈記		陳惜	喬生與偶見一婦一美人隨燈約 手入入紅樓樓高則絕色也					52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62	1117 b	綠衣 雜錄
197	集	詩餘	雜錄	元	詩餘餘話	(真個銷魂)	俞輝	楊維禎一紙書絕色名初乳者猶 勝					52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62	1577 a	雜錄 詩餘
198	史	正史	明	元	史	燕鐵木兒傳	宋濂	一婦色甚麗					52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62	275 a	
199	史	雜史	明	元	見聞錄		陳繼儒	蔡文姬與夢一美姬持劍					52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62	357 a	雜錄 史
200	史	文獻	明	元	雙起雜事		楊儀	蔡文姬與夢一美姬					52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62	212 a	雜錄 史
201	史	地理	明	元	楚小志	章華臺	錢希言	雲上細腰宛轉歌臺回廊盡 美人香汗					52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62	544 a	雜錄 史
202	史	地理	明	元	蓬槐夜話		李日華	胡氏酒館一夜首殊色					52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62	612 a	雜錄 史
203	子	雜家	明	元	虎	晉	陳繼儒	虎所捕獲如新瑞麗					52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62	772 a	雜錄 史
204	子	雜家	明	元	長松茹退		釋真可	以美婦人譽好花					52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62	772 b	雜錄 史
205	子	雜家	明	元	通雅瑣言		蘇祐	大月婦人好錦尚脂美而絕					52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62	999 b	雜錄 史
206	子	雜家	明	元	戲	瑕	錢希言	士女麗人之所美也沉思落痛 之客持持曰西施七浦則於道 側轉顧若見老成美客					52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62	1207 a	雜錄 史
207	子	雜家	明	元	耳鉛雜錄		汪麗	楊慎	韓子任麗者利達也七浦則於道 側轉顧若見老成美客					1022 a	雜錄 史
208	子	雜家	明	元	耳鉛總錄	字畫肥瘦 (字學美女)	楊慎	韓子任麗者利達也七浦則於道 側轉顧若見老成美客					52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62	1022 b	雜錄 史
							范蠡西施	范蠡與西施遊太湖不別所出只 世間西湖隨注為主					52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62	1022 c	雜錄 史

部	書	名	撰者	摘	要	藝	初	覽	類	函	集	備	考	
四	部	書	名	撰者	摘	要	藝	初	覽	類	函	集	備	考
			為美且都		因杜牧詩云杜牧詩云杜牧詩云 之句而附會也 謝康公詩云謝康公詩云謝康公詩云 美且都並世故實美且都並世故實 麗都詩之詞雅也魏明帝詩 以詩義治客難能出於辭 中故雖合浸江 華陽明記德豐觀神光明深宮 一伶元記外傳郭松海謝德 王康叔文成謝德晉書謝德 傳元年及年並合錄						52 601 C 9	全集42		
			小 說								52 601 C 21	全集71		
			都仙之廟詞								52 601 C 21	全集77		
209	子	典故類書	明山堂肆考	彭文憲	楊柳堂詩集能書長有					增 255 540 D 1	1067 a	古今圖書集成 明倫彙編		
210	子	典故類書	明天中記	李勢妹 余嫗 花 為	陳耀文 廣色玉羅漢動容 意無所著巧智無比 蓋其名風流難能者名也					增 255 540 C 26	1067 b	古今圖書集成 明倫彙編		
211	子	小說雜錄	明賢奕編	劉元卿	聖後播子女莫氏妹麗						52 601 C 26	1067 a	寶鏡	
212	子	小說雜錄	明淫林雜記	周玄暉 (沈 初)	一麗人在莊莊後類元山						52 601 C 26	1067 b	寶鏡	
213	子	小說雜錄	明珍珠船	陳繼儒	意可初名宜愛或云江南官中自 美人白宜愛此書故宜愛 秦舞陽與珠船在秦舞陽自 才德華美 魏魏后基而清色 東晉後潘妃以金蓮花步地 吳泰伯河李姓魏魏魏魏魏魏 魏魏以魏名魏魏魏 一美色居魏魏 劉魏魏魏魏魏魏魏 第三世客魏魏魏魏魏魏魏魏					52 601 C 26	1067 a	寶鏡		
214	子	小說雜錄	明麗情集	徐渭 觀 后 潘 妃 胡琴魏勝兒 青 城 呂 用 沈 真	楊 慎 才德華美 魏魏后基而清色 東晉後潘妃以金蓮花步地 吳泰伯河李姓魏魏魏魏魏魏 魏魏以魏名魏魏魏 一美色居魏魏 劉魏魏魏魏魏魏魏 第三世客魏魏魏魏魏魏魏魏					52 601 C 26	1067 a	寶鏡		
215	子	小說雜錄	明高坡異纂	李茂元	楊 儀	婦人容貌絕世而肌肉頗豐身 大					52 601 C 26	1067 b	古今圖書集成 明倫彙編	
216	子	小說志怪	明志怪錄	(倪 昂) 祝允明 (王 危 娥) (魏國女 兒) (陳 生)	女子姿態整衣飾麗潔神妙 人 書主通詩文西瑛王元龍 一女子倚欄頭露青體容絕美年 十九燈下珠箔嬌媚新妝麗麗 衣服亦甚華 一女子陳生貌美					52 601 C 26	1067 a	寶鏡		
217	子	小說傳奇	明聚景園記	(滕 生)	瞿 祐	美人風姿整潔約多姿容神					52 601 C 26	1067 a	古今圖書集成 明倫彙編	
218	子	小說傳奇	明義虎傳	祝允明	李 夢 龍						52 601 C 26	1067 a	古今圖書集成 明倫彙編	

中国美女伝稿

	四部	獻	書	名	撰者	摘	要	藝	初	覽	類	函	集	備	考	
219	子小說傳奇	明	桃花仕女傳		沈仕	一異姓、笑甚、肌肉綠、髮、							52 7116 a	續篇		
220	子小說傳奇	明	幽怪錄	趙源再世	田汝成	緣成雙鬢年可十九歲、姿明麗、							52 7116 b	續篇5462 續人傳、		
221	子小說傳奇	明	添婦傳		潘之恆	清陽路婦潘妻、婦、							52 7116 c	續篇		
222	子小說傳奇	明	女俠傳	昭 老	鄒麟	昭昭環、續事、時朝求、人爲、明氏、 豐容制節、光明漢食、觀影側吟、咏 動立、							52 7116 d	續篇 5462續		
223	子小說傳奇	明	趙喜奴傳			一麗女曰趙喜奴也、							52 7116 e	續篇		
224	子小說傳奇	明	耳 諱	(王玉笑) 王同	觀麗好								52 7116 f	續篇5462 (內附手稿)		
225	子小說傳奇	明	大別孤記	(薛生歡、婦女	易成女、續發老、家射、人、一、美婦、								52 7116 g			
226	集總集通代	明	名媛詩歸	江陵袁氏	鍾 惺	吳唐抗木、科能教慧、玉色禮麗、							52 7116 h	明刊		
227	集總集通代	明	詩 話	(解語花)		女子解語花、							52 7116 i	明刊、天寶、復事		
228	集總集通代	明	詞 話			重杜有蘭、若實繁麗、							52 7116 j	明刊、天寶、復事		
229	史記總記	清	十國春秋	順聖(徐氏、明)	吳任臣	徐耕一、支首國也、政變記、妹從花、 大小徐記、 潘氏美、容所悉、其夢在海、家花流、所 生、方國經、新發及丁、結、 神氏及家女、性譽信、通書計、觀、 敗法飾、而能門雅、而若神、以、 存、在、側、度、如、進、女、方、而、能、 南漢後主、宮諫、警、以、味、之、進、性、甚、 拙、白、花、名、其、花、曰、華、警、比、 後子進、數、爲、保、衛、容、能、絕、世、時、 顯、盼、警、笑、點、不、知、校、								52 7116 k	續篇5462 續人傳、 貌麗、(內附)	
				趙 靜 慈		潘氏美、容所悉、其夢在海、家花流、所 生、方國經、新發及丁、結、 神氏及家女、性譽信、通書計、觀、 敗法飾、而能門雅、而若神、以、 存、在、側、度、如、進、女、方、而、能、 南漢後主、宮諫、警、以、味、之、進、性、甚、 拙、白、花、名、其、花、曰、華、警、比、 後子進、數、爲、保、衛、容、能、絕、世、時、 顯、盼、警、笑、點、不、知、校、								52 7116 l		
				神 夫 人		神氏及家女、性譽信、通書計、觀、 敗法飾、而能門雅、而若神、以、 存、在、側、度、如、進、女、方、而、能、 南漢後主、宮諫、警、以、味、之、進、性、甚、 拙、白、花、名、其、花、曰、華、警、比、 後子進、數、爲、保、衛、容、能、絕、世、時、 顯、盼、警、笑、點、不、知、校、								52 7116 m		
				存 矩 側 度		存、在、側、度、如、進、女、方、而、能、 南漢後主、宮諫、警、以、味、之、進、性、甚、 拙、白、花、名、其、花、曰、華、警、比、 後子進、數、爲、保、衛、容、能、絕、世、時、 顯、盼、警、笑、點、不、知、校、								52 7116 n		
				素 索		素、索、							52 7116 o			
				黃 氏		黃、氏、							52 7116 p			
230	史地理方志	清	常熟縣志			趙重陽美而麗、							52 7116 q	續篇5462 續人傳、		
231	史地理方志	清	吳江縣志			陳某妻梁氏有國色、							52 7116 r	續篇5462 續人傳、		
232	史地理方志	清	松江府志			俞明時婦沈淑淑淑淑淑、							52 7116 s	續篇5462 續人傳、		
233	史地理方志	清	中江縣志			曾前註讀本樓上、一夜有美女並立、							52 7116 t	續篇5462 續人傳、		
234	子小說傳奇	清	情史類略		屠震文	楚人妻美而麗、大婦姿甚、							52 7116 u	清和刊、內 附手稿		
235	子小說傳奇	清	美人譜		徐 震	古來人主名城、去去婦婦美入遠、 路容觀波、集居後、餘助餘、							52 7116 v	香韻		
236			析津日記			古詩燕趙多往人美香類如王、							52 7116 w			
237			蘿山子			麗女藏劍、							52 7116 x			

中国美女伝稿

文	時代	詩	文	題	作者	摘	要	藝	初	覽	類	函	集	備	考
10	後漢	正	清	賦	應瑒	後漢正清應瑒賦	後漢正清應瑒賦	1933							全錄漢書
	後漢	神	女	賦	應瑒	後漢神女應瑒賦	後漢神女應瑒賦								全錄漢書
11	後漢	閼	邪	賦	王粲	後漢閼邪王粲賦	後漢閼邪王粲賦	1933							全錄漢書
	後漢	神	女	賦	王粲	後漢神女王粲賦	後漢神女王粲賦								全錄漢書
	後漢	七		釋	王粲	後漢七王粲	後漢七王粲								全錄漢書
12	後漢	止	欲	賦	陳琳	後漢止欲陳琳賦	後漢止欲陳琳賦	1933							全錄漢書
13	後漢	止	欲	賦	阮瑀	後漢止欲阮瑀賦	後漢止欲阮瑀賦	1933							全錄漢書
14	魏	答	繁	飲	書文帝	魏答繁飲書文帝	魏答繁飲書文帝	1933							全錄漢書
15	魏	洛	神	賦	并序曹植	魏洛神賦并序曹植	魏洛神賦并序曹植	1933							全錄漢書
	魏	靜	思	賦	曹植	魏靜思賦曹植	魏靜思賦曹植								全錄漢書
	魏	扇		賦	曹植	魏扇賦曹植	魏扇賦曹植								全錄漢書
	魏	調	漢	唐之所	詠曹植	魏調漢唐之所詠曹植	魏調漢唐之所詠曹植								全錄漢書
16	魏	清	思	賦	阮籍	魏清思賦阮籍	魏清思賦阮籍	1933							全錄漢書
17	晉	夜	酣	賦	袁宏	晉夜酣賦袁宏	晉夜酣賦袁宏	1933							全錄漢書
18	晉	詠	懷	賦	張華	晉詠懷賦張華	晉詠懷賦張華	1933							全錄漢書
19	晉	神	女	賦	并序張敏	晉神女賦并序張敏	晉神女賦并序張敏	1933							全錄漢書
20	晉	安	石	榴	賦	張協	晉安石榴賦張協	1933							全錄漢書
21	晉	七		微	陸機	晉七微陸機	晉七微陸機	1933							全錄漢書
22	晉	閼	情	賦	并序陶潛	晉閼情賦并序陶潛	晉閼情賦并序陶潛	1933							全錄漢書
23	劉宋	江	妃	賦	謝靈運	劉宋江妃賦謝靈運	劉宋江妃賦謝靈運	1933							全錄漢書
24	梁	採	蓮	賦	蕭文士	梁採蓮賦蕭文士	梁採蓮賦蕭文士	1933							全錄漢書
25	梁	麗	人	賦	沈約	梁麗人賦沈約	梁麗人賦沈約	1933							全錄漢書
	梁	傷	美	人	賦	沈約	梁傷美人賦沈約	1933							全錄漢書
26	梁	麗	色	賦	江淹	梁麗色賦江淹	梁麗色賦江淹	1933							全錄漢書
	梁	水	上	神	女	賦	江淹	1933							全錄漢書

文	題	作者	摘	書	藝	初	覽	類	函	集	備	考
27	梁蓮	珠	吳均	嘉興縣隱居人以城鄉入征班超辭職非無故也	52	60	60	60	60	60	60	60
28	梁七	召	何遜	秦氏傳直時絕世初相相不嫌不嫌於之佳麗妍容貌	52	60	60	60	60	60	60	60
29	梁探物作	劉	潛	嘉興縣隱居人以城鄉入征班超辭職非無故也	52	60	60	60	60	60	60	60
30	後周春	賦	庾信	綠珠捧琴至大君還殿	52	60	60	60	60	60	60	60
31	後周七	夕	賦	庾信	52	60	60	60	60	60	60	60
32	隋宴	善	賦	薛道衡	52	60	60	60	60	60	60	60
33	唐麗	色	賦	富嘉謨	52	60	60	60	60	60	60	60
34	唐美	人	賦	呂向	52	60	60	60	60	60	60	60
35	唐夕	踐進	徐	賓	52	60	60	60	60	60	60	60
36	宋神	女	廟	賦	晁補之	52	60	60	60	60	60	60
37	明江	妃	賦	俞安期	52	60	60	60	60	60	60	60

二〇五

[illegible]

詩時代詩文題作者篇			要纂初覽類函集備考		
魏雜			月既近矣尚藏李機發得前藏物隨體容極佳妙海海體輕	19 264	242
8	魏詠懷詩三首之二	阮籍	南國有人客若桃李謝洛陽魏 魏時發品	19 264	全書詩517
	魏詠懷詩三首之二	阮籍	月明露晞一思從女適彼相見一歸國王親約春華	19 264	525
	魏詠懷詩三首之二	阮籍	二紀遊江濱流離寄芳菊菊清 蘭露	19 264	527
	魏詠懷詩三首之二	阮籍	西清佳人賦若白晝修容耀綬	19 264	527
	魏詠懷詩三首之二	阮籍	周郎月夜秋出關都王族深河芳華高髮發朱顏時	19 264	527
	魏詠懷詩三首之二	阮籍	宮華傾城思一顧	19 264	527
9	晉陳郡鬚歌行傳玄	玄	北齊鬚歌行傳玄鬚歌行傳玄鬚歌行傳玄鬚歌行傳玄	19 264	249
	晉鬚歌行有女篇傳玄	玄	有女懷春芳華嬌媚明麗清揚州青鬚時色若若	19 264	249
	美女篇傳玄	玄	陳乃笑露指露露何許容儀希世	19 264	249
	美女篇傳玄	玄	美人何麗顏若芙蓉花一顧私入園再顧前山	19 264	249
	美女篇傳玄	玄	笑楚歌日地遠傳玄	19 264	249
10	晉情詩三首之一	張華	北方佳人	19 264	249
	晉情詩三首之一	張華	明月耀清景觀佳佳入乃笑露指露時時時時	19 264	249
	晉情詩三首之一	張華	窈窕出閨中婉婉婉婉婉婉婉婉婉婉婉婉婉婉婉婉	19 264	249
11	晉陳郡鬚歌行傳玄	玄	扶桑初曉時多雲多雲多雲多雲多雲多雲多雲多雲多雲	19 264	249
	晉鬚歌行有女篇傳玄	玄	康康江離草飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲	19 264	249
	晉鬚歌行有女篇傳玄	玄	萬山何處遊芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳	19 264	249
	晉鬚歌行有女篇傳玄	玄	高樓何處遊芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳	19 264	249
12	晉失題	陸雲	有美人兮芳華嬌媚明麗清揚州青鬚時色若若	19 264	249
	晉失題	陸雲	美人何麗顏若芙蓉花一顧私入園再顧前山	19 264	249
	晉失題	陸雲	笑楚歌日地遠傳玄	19 264	249
	晉失題	陸雲	北齊鬚歌行傳玄鬚歌行傳玄鬚歌行傳玄鬚歌行傳玄	19 264	249
	晉失題	陸雲	有女懷春芳華嬌媚明麗清揚州青鬚時色若若	19 264	249
13	晉鬚歌行有女篇傳玄	玄	陳乃笑露指露露何許容儀希世	19 264	249
	晉鬚歌行有女篇傳玄	玄	美人何麗顏若芙蓉花一顧私入園再顧前山	19 264	249
	晉鬚歌行有女篇傳玄	玄	笑楚歌日地遠傳玄	19 264	249
14	晉陳郡鬚歌行傳玄	玄	北齊鬚歌行傳玄鬚歌行傳玄鬚歌行傳玄鬚歌行傳玄	19 264	249
15	晉鬚歌行有女篇傳玄	玄	有女懷春芳華嬌媚明麗清揚州青鬚時色若若	19 264	249
	晉鬚歌行有女篇傳玄	玄	美人何麗顏若芙蓉花一顧私入園再顧前山	19 264	249
	晉鬚歌行有女篇傳玄	玄	笑楚歌日地遠傳玄	19 264	249
16	劉宋陳郡鬚歌行傳玄	玄	北齊鬚歌行傳玄鬚歌行傳玄鬚歌行傳玄鬚歌行傳玄	19 264	249
17	劉宋陳郡鬚歌行傳玄	玄	有女懷春芳華嬌媚明麗清揚州青鬚時色若若	19 264	249
	劉宋陳郡鬚歌行傳玄	玄	美人何麗顏若芙蓉花一顧私入園再顧前山	19 264	249
	劉宋陳郡鬚歌行傳玄	玄	笑楚歌日地遠傳玄	19 264	249
18	劉宋陳郡鬚歌行傳玄	玄	北齊鬚歌行傳玄鬚歌行傳玄鬚歌行傳玄鬚歌行傳玄	19 264	249
	劉宋陳郡鬚歌行傳玄	玄	有女懷春芳華嬌媚明麗清揚州青鬚時色若若	19 264	249
	劉宋陳郡鬚歌行傳玄	玄	美人何麗顏若芙蓉花一顧私入園再顧前山	19 264	249
	劉宋陳郡鬚歌行傳玄	玄	笑楚歌日地遠傳玄	19 264	249
19	劉宋陳郡鬚歌行傳玄	玄	北齊鬚歌行傳玄鬚歌行傳玄鬚歌行傳玄鬚歌行傳玄	19 264	249
	劉宋陳郡鬚歌行傳玄	玄	有女懷春芳華嬌媚明麗清揚州青鬚時色若若	19 264	249
	劉宋陳郡鬚歌行傳玄	玄	美人何麗顏若芙蓉花一顧私入園再顧前山	19 264	249
	劉宋陳郡鬚歌行傳玄	玄	笑楚歌日地遠傳玄	19 264	249
20	齊陳郡鬚歌行傳玄	玄	北齊鬚歌行傳玄鬚歌行傳玄鬚歌行傳玄鬚歌行傳玄	19 264	249
	齊陳郡鬚歌行傳玄	玄	有女懷春芳華嬌媚明麗清揚州青鬚時色若若	19 264	249
	齊陳郡鬚歌行傳玄	玄	美人何麗顏若芙蓉花一顧私入園再顧前山	19 264	249
	齊陳郡鬚歌行傳玄	玄	笑楚歌日地遠傳玄	19 264	249

詩	賦	詩	文	題	作者	摘	要	藝	初	覽	類	函	集	備	考	
22	梁詠	照流	看落	鈿	明太子	相隨照流水	流搖影	鏡影落簪空	78	34	11					
	梁名	士悅	傾城	臨賦子	——23	相和相	名士悅	傾城	78	34	11					
	梁美	人晨	粧	臨明太子	——23	美入晨	粧		78	34	11					
23	梁陳	南美	女篇	簡文帝	佳麗盡關情	芳態隨流	臉波輕夜覺		58	29	1			全漢詩1055		
	梁	明名	詞	簡文帝	王豐臨	臨寶金	銅鏡映紅		58	29	1			1898		
	梁	東飛	伯樂	——	簡文帝	西飛從	從東飛	伯樂	58	29	1			1898		
	梁知	湘王	名士悅	傾城	簡文帝	美人相	知湘王	名士悅	58	29	1			2908		
	梁戲	贈麗	人	簡文帝	麗人戲	贈麗	人		58	29	1			2908		
	梁率	爾為	詠	簡文帝	借問以	將畫	畫		58	29	1			2909		
	梁詠	內人	畫	賦	簡文帝	北窗聊	就就	夢內	58	29	1			2910		
	梁三	月三	日幸	南	城	詩	簡文帝	芳林	58	29	1			2910		
	梁晚	景出	行	簡文帝	細柳分	殘影	春		58	29	1			2911		
	梁詠	美人	觀	畫	簡文帝	麗人觀	畫		58	29	1			2920		
	梁美	人晨	妝	簡文帝	北窗	聊	就就	夢內	58	29	1			2920		
	梁贈	麗	人	簡文帝	麗人贈	麗	人		58	29	1			2922		
	梁遙	望	簡文帝	微望	望	望	望		58	29	1			2932		
24	梁陳	班婕	妤	元帝	婕妤初	入合	德	58	29	1			全漢詩3905			
	梁採	蓮	曲	元帝	採蓮曲	元帝	採蓮	曲	58	29	1			3905		
	梁古	意	元帝	古	意	元帝	古	意	58	29	1			3905		
25	梁車	中見	美人	蕭綸	關曉	眉眼	眼	58	29	1			2909			
	梁見	娘	人	蕭綸	蕭綸	見	娘	人	58	29	1			2909		
26	梁周	蕭長	史有	妓	蕭紀	蕭紀	蕭紀	蕭紀	58	29	1			2910		
27	梁陳	湘夫	人	沈約	湘夫	人	沈約	湘夫	58	29	1			4915		
	梁少	年	新	婚	為	之	歌	沈約	少年	新	婚	為	之	歌	4100	
	梁夢	見	美	人	沈約	夢見	美人	沈約	夢見	美人	沈約	夢見	美人	沈約	4100	
28	梁詠	美人	春	遊	江淹	江淹	詠	美人	58	29	1			5102		
	梁清	思	新	江淹	清思	新	江淹	清思	58	29	1			5102		
29	梁月	夜	陳南	康	新	有所	王僧孺	月夜	58	29	1			6107		
	梁詠	麗	人	王僧孺	詠	麗	人	王僧孺	詠	麗	人	王僧孺	詠	麗	人	6107
	梁見	麗	人	王僧孺	見	麗	人	王僧孺	見	麗	人	王僧孺	見	麗	人	6107
	梁在	晉	安	酒	席	數	韻	王僧孺	在	晉	安	酒	席	數	韻	6107
	梁為	人	有	贈	王僧孺	為	人	有	贈	王僧孺	為	人	有	贈	王僧孺	6107
30	梁贈	美	人	三	之	抑	惲	贈	美	人	三	之	抑	惲	贈	美
31	梁詠	美	人	康	眉	古	詠	美	人	康	眉	古	詠	美	人	康
	梁南	苑	看	人	還	度	眉	古	詠	美	人	康	眉	古	詠	美
	梁詠	美人	畫	唐	令	度	眉	古	詠	美	人	康	眉	古	詠	美
32	梁陳	南美	女篇	簡文帝	佳麗	盡	關	情	58	29	1			2194		
	梁知	湘王	名士悅	傾城	簡文帝	美人	相	知	湘王	名士悅	傾城	簡文帝	美人	相	知	湘王
33	梁花	中	見	美	人	何遜	羅	風	中	見	美	人	何遜	羅	風	中
34	梁陳	南美	女篇	簡文帝	佳麗	盡	關	情	58	29	1			2194		

詩	文	題	作者	摘	要	整	初	覽	類	函	集	備	考
35	梁陳南日北東南隅行	蕭子顯	大明書堂書曹子云詩	用阿衡楚楚家聲	劉孝綽	18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000 1001 1002 1003 1004 1005 1006 1007 1008 1009 1010 1011 1012 1013 1014 1015 1016 1017 1018 1019 1020 1021 1022 1023 1024 1025 1026 1027 1028 1029 1030 1031 1032 1033 1034 1035 1036 1037 1038 1039 1040 1041 1042 1043 1044 1045 1046 1047 1048 1049 1050 1051 1052 1053 1054 1055 1056 1057 1058 1059 1060 1061 1062 1063 1064 1065 1066 1067 1068 1069 1070 1071 1072 1073 1074 1075 1076 1077 1078 1079 1080 1081 1082 1083 1084 1085 1086 1087 1088 1089 1090 1091 1092 1093 1094 1095 1096 1097 1098 1099 1100 1101 1102 1103 1104 1105 1106 1107 1108 1109 1110 1111 1112 1113 1114 1115 1116 1117 1118 1119 1120 1121 1122 1123 1124 1125 1126 1127 1128 1129 1130 1131 1132 1133 1134 1135 1136 1137 1138 1139 1140 1141 1142 1143 1144 1145 1146 1147 1148 1149 1150 1151 1152 1153 1154 1155 1156 1157 1158 1159 1160 1161 1162 1163 1164 1165 1166 1167 1168 1169 1170 1171 1172 1173 1174 1175 1176 1177 1178 1179 1180 1181 1182 1183 1184 1185 1186 1187 1188 1189 1190 1191 1192 1193 1194 1195 1196 1197 1198 1199 1200 1201 1202 1203 1204 1205 1206 1207 1208 1209 1210 1211 1212 1213 1214 1215 1216 1217 1218 1219 1220 1221 1222 1223 1224 1225 1226 1227 1228 1229 1230 1231 1232 1233 1234 1235 1236 1237 1238 1239 1240 1241 1242 1243 1244 1245 1246 1247 1248 1249 1250 1251 1252 1253 1254 1255 1256 1257 1258 1259 1260 1261 1262 1263 1264 1265 1266 1267 1268 1269 1270 1271 1272 1273 1274 1275 1276 1277 1278 1279 1280 1281 1282 1283 1284 1285 1286 1287 1288 1289 1290 1291 1292 1293 1294 1295 1296 1297 1298 1299 1300 1301 1302 1303 1304 1305 1306 1307 1308 1309 1310 1311 1312 1313 1314 1315 1316 1317 1318 1319 1320 1321 1322 1323 1324 1325 1326 1327 1328 1329 1330 1331 1332 1333 1334 1335 1336 1337 1338 1339 1340 1341 1342 1343 1344 1345 1346 1347 1348 1349 1350 1351 1352 1353 1354 1355 1356 1357 1358 1359 1360 1361 1362 1363 1364 1365 1366 1367 1368 1369 1370 1371 1372 1373 1374 1375 1376 1377 1378 1379 1380 1381 1382 1383 1384 1385 1386 1387 1388 1389 1390 1391 1392 1393 1394 1395 1396 1397 1398 1399 1400 1401 1402 1403 1404 1405 1406 1407 1408 1409 1410 1411 1412 1413 1414 1415 1416 1417 1418 1419 1420 1421 1422 1423 1424 1425 1426 1427 1428 1429 1430 1431 1432 1433 1434 1435 1436 1437 1438 1439 1440 1441 1442 1443 1444 1445 1446 1447 1448 1449 1450 1451 1452 1453 1454 1455 1456 1457 1458 1459 1460 1461 1462 1463 1464 1465 1466 1467 1468 1469 1470 1471 1472 1473 1474 1475 1476 1477 1478 1479 1480 1481 1482 1483 1484 1485 1486 1487 1488 1489 1490 1491 1492 1493 1494 1495 1496 1497 1498 1499 1500 1501 1502 1503 1504 1505 1506 1507 1508 1509 1510 1511 1512 1513 1514 1515 1516 1517 1518 1519 1520 1521 1522 1523 1524 1525 1526 1527 1528 1529 1530 1531 1532 1533 1534 1535 1536 1537 1538 1539 1540 1541 1542 1543 1544 1545 1546 1547 1548 1549 1550 1551 1552 1553 1554 1555 1556 1557 1558 1559 1560 1561 1562 1563 1564 1565 1566 1567 1568 1569 1570 1571 1572 1573 1574 1575 1576 1577 1578 1579 1580 1581 1582 1583 1584 1585 1586 1587 1588 1589 1590 1591 1592 1593 1594 1595 1596 1597 1598 1599 1600 1601 1602 1603 1604 1605 1606 1607 1608 1609 1610 1611 1612 1613 1614 1615 1616 1617 1618 1619 1620 1621 1622 1623 1624 1625 1626 1627 1628 1629 1630 1631 1632 1633 1634 1635 1636 1637 1638 1639 1640 1641 1642 1643 1644 1645 1646 1647 1648 1649 1650 1651 1652 1653 1654 1655 1656 1657 1658 1659 1660 1661 1662 1663 1664 1665 1666 1667 1668 1669 1670 1671 1672 1673 1674 1675 1676 1677 1678 1679 1680 1681 1682 1683 1684 1685 1686 1687 1688 1689 1690 1691 1692 1693 1694 1695 1696 1697 1698 1699 1700 1701 1702 1703 1704 1705 1706 1707 1708 1709 1710 1711 1712 1713 1714 1715 1716 1717 1718 1719 1720 1721 1722 1723 1724 1725 1726 1727 1728 1729 1730 1731 1732 1733 1734 1735 1736 1737 1738 1739 1740 1741 1742 1743 1744 1745 1746 1747 1748 1749 1750 1751 1752 1753 1754 1755 1756 1757 1758 1759 1760 1761 1762 1763 1764 1765 1766 1767 1768 1769 1770 1771 1772 1773 1774 1775 1776 1777 1778 1779 1780 1781 1782 1783 1784 1785 1786 1787 1788 1789 1790 1791 1792 1793 1794 1795 1796 1797 1798 1799 1800 1801 1802 1803 1804 1805 1806 1807 1808 1809 1810 1811 1812 1813 1814 1815 1816 1817 1818 1819 1820 1821 1822 1823 1824 1825 1826 1827 1828 1829 1830 1831 1832 1833 1834 1835 1836 1837 1838 1839 1840 1841 1842 1843 1844 1845 1846 1847 1848 1849 1850 1851 1852 1853 1854 1855 1856 1857 1858 1859 1860 1861 1862 1863 1864 1865 1866 1867 1868 1869 1870 1871 1872 1873 1874 1875 1876 1877 1878 1879 1880 1881 1882 1883 1884 1885 1886 1887 1888 1889 1890 1891 1892 1893 1894 1895 1896 1897 1898 1899 1900 1901 1902 1903 1904 1905 1906 1907 1908 1909 1910 1911 1912 1913 1914 1915 1916 1917 1918 1919 1920 1921 1922 1923 1924 1925 1926 1927 1928 1929 1930 1931 1932 1933 1934 1935 1936 1937 1938 1939 1940 1941 1942 1943 1944 1945 1946 1947 1948 1949 1950 1951 1952 1953 1954 1955 1956 1957 1958 1959 1960 1961 1962 1963 1964 1965 1966 1967 1968 1969 1970 1971 1972 1973 1974 1975 1976 1977 1978 1979 1980 1981 1982 1983 1984 1985 1986 1987 1988 1989 1990 1991 1992 1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 2032 2033 2034 2035 2036 2037 2038 2039 2040 2041 2042 2043 2044 2045 2046 2047 2048 2049 2050 2051 2052 2053 2054 2055 2056 2057 2058 2059 2060 2061 2062 2063 2064 2065 2066 2067 2068 2069 2070 2071 2072 2073 2074 2075 2076 2077 2078 2079 2080 2081 2082 2083 2084 2085 2086 2087 2088 2089 2090 2091 2092 2093 2094 2095 2096 2097 2098 2099 2100 2101 2102 2103 2104 2105 2106 2107 2108 2109 2110 2111 2112 2113 2114 2115 2116 2117 2118 2119 2120 2121 2122 2123 2124 2125 2126 2127 2128 2129 2130 2131 2132 2133 2134 2135 2136 2137 2138 2139 2140 2141 2142 2143 2144 2145 2146 2147 2148 2149 2150 2151 2152 2153 2154 2155 2156 2157 2158 2159 2160 2161 2162 2163 2164 2165 2166 2167 2168 2169 2170 2171 2172 2173 2174 2175 2176 2177 2178 2179 2180 2181 2182 2183 2184 2185 2186 2187 2188 2189 2190 2191 2192 2193 2194 2195 2196 2197 2198 2199 2200 2201 2202 2203 2204 2205 2206 2207 2208 2209 2210 2211 2212 2213 2214 2215 2216 2217 2218 2219 2220 2221 2222 2223 2224 2225 2226 2227 2228 2229 2230 2231 2232 223							

中国美女伝稿

詩賦詩文題作者摘	要藝初覽類函集備考
52 陳詠 織 婦 徐霞春 織機運玉指 賦賦正城置	全唐詩 2173
陳春 情 徐霞春 風沙空動雪花殘	唐 330, 唐 255, 2173
53 陳看 新 婚 周孔正 莫愁年法 玉指頻如美玉 嬌態勝花 含笑初歌 極賦判不除	全唐詩 2181
54 陳陳 東飛 伯勞 歌 陸瑜 西王母夢 夢仙姑 夢女情相 諸女朝霞 諸女朝霞 諸女朝霞 諸女朝霞	全唐詩 2181
55 陳秋 日新 寵美人 應令 江總 後宮唯聞 東漢 諸女情相 諸女朝霞 諸女朝霞 諸女朝霞 諸女朝霞	全唐詩 2181
陳新 入 姬人 應令 江總 洛浦清風 洛浦清風 洛浦清風 洛浦清風 洛浦清風 洛浦清風	全唐詩 2181
56 陳陳 騷歌行 三首 顧野王 齊國趙女 故時 故時 故時 故時 故時 故時	全唐詩 2181
57 陳陳 雜 曲 傅緯 新人新寵 佳人 佳人 佳人 佳人 佳人 佳人	全唐詩 2181
58 陳陳 前日出東南 隅行 徐伯玉 朱城多日 朱城多日 朱城多日 朱城多日 朱城多日 朱城多日	全唐詩 2181
59 陳詠 人 尊 仍 瑟心 伏知道 春風輕暖 佳人 佳人 佳人 佳人 佳人 佳人	全唐詩 2181
60 陳詠 鄰女 樓上 彈琴 梁簡野 有誰能 誰能 誰能 誰能 誰能 誰能	全唐詩 2181
61 陳陳 前日出東南 隅行 殷謙 秦樓出 佳人 佳人 佳人 佳人 佳人 佳人	全唐詩 2181
62 北魏 羅 敷 行 高允 晉書 羅敷 羅敷 羅敷 羅敷 羅敷 羅敷	全唐詩 2181
63 北魏 大 隄 女 王 容 寶曆 羅敷 羅敷 羅敷 羅敷 羅敷 羅敷	全唐詩 2181
64 北齊 陳 司 美 女 篇 二首 魏 收 芙蓉 魏收 魏收 魏收 魏收 魏收	全唐詩 2181
65 北周 陳 前日出東南 隅行 王 褒 魏收 魏收 魏收 魏收 魏收 魏收	全唐詩 2181
66 隋 陳 前日出東南 隅行 盧思道 初正 初正 初正 初正 初正 初正	全唐詩 2181
隋 擢 歌 行 盧思道 秋江 秋江 秋江 秋江 秋江 秋江	全唐詩 2181
隋 美 女 篇 盧思道 京洛 京洛 京洛 京洛 京洛 京洛	全唐詩 2181
隋 後 園 宴 盧思道 常聞 常聞 常聞 常聞 常聞 常聞	全唐詩 2181
67 隋 陳 東飛 伯勞 歌 辛德源 合歡 合歡 合歡 合歡 合歡 合歡	全唐詩 2181
68 唐 賦 得北方 佳人 徐賢妃 出塞 出塞 出塞 出塞 出塞 出塞	全唐詩 2181
69 唐 相 趙 外 柱 楊 遇 佳人 宋之問 江南 江南 江南 江南 江南 江南	全唐詩 2181
70 唐 踏 歌 詞 二首 崔 波 綠波 綠波 綠波 綠波 綠波 綠波	全唐詩 2181
71 唐 戲 贈 趙 使 君 美人 杜荀鶴 紅粉 紅粉 紅粉 紅粉 紅粉 紅粉	全唐詩 2181
72 唐 詠 美 人 天 津 橋 駱賓王 美 美 美 美 美 美	全唐詩 2181
73 唐 綠 珠 篇 喬知之 綠 綠 綠 綠 綠 綠	全唐詩 2181
74 唐 春 女 行 劉希夷 春 春 春 春 春 春	全唐詩 2181
唐 公 子 行 劉希夷 天津 天津 天津 天津 天津 天津	全唐詩 2181
唐 代 泰 女 贈 行 人 劉希夷 驚 驚 驚 驚 驚 驚	全唐詩 2181
75 唐 美 女 篇 王 珣 芙蓉 芙蓉 芙蓉 芙蓉 芙蓉 芙蓉	全唐詩 2181
76 唐 大 提 曲 張 衆 前 前 前 前 前 前	全唐詩 2181

詩	代	詩	文	題	作者	摘	要	語	初	覽	類	函	集	備	考
77	唐	飛	伯	勞	歌	張柬之	青的錦月圓華女姬妝市服	絕世三宮紅妝	97/1047						
77	唐	明	月	李如璧	三五華流河光	臨故壘解	官狹看蟬臥對身	金唐詩101087							
78	唐	安	薄	命	武平一	有女似芙蓉	飄華致姑嬌	雙城	98/101085						
79	唐	越	王	上	詠美人	張謂	半額雙蛾	翠黛新秋	99/101100						
	唐	情	人	玉	清	歌	張謂	→104	100/101106						
80	唐	麗	人	曲	崔國輔	紅粉珠璣	代欲盡無位	金唐詩101103							
81	唐	贈	元	載	歌	楊炎	雪面清入金	楚勝如柳不勝春	101/101105						
82	唐	西	施	詠	王綏	顏色不重	西施寧久教	芳華宜滿枝	102/101107						
83	唐	盧	姬	篇	崔顥	盧姬何處	綠羅裙紅	手挑封花人	103/101108						
84	唐	越	女	歌	王昌齡	越女作林	蓮花紅	手挑封花人	104/101109						
	唐	采	蓮	曲	王昌齡	吳越越	蓮花紅	手挑封花人	105/101109						
	唐	西	宮	秋	怨	王昌齡	芙蓉怨	美人秋	106/101105						
85	唐	古	意	三	首	常建	楚王臺	何處	107/101107						
86	唐	古	歌	三	首	蕭維翰	美人何處	108/101107							
87	唐	萊	女	萬	楚	山陰柳家	女雙眉	109/101108							
88	唐	後	庭	怨	王諱	君從紅	門	110/101107							
89	唐	越	女	歌	劉長卿	自於	111/101107								
90	唐	詠	史	十	首	李華	沂水春	112/101107							
91	唐	飛	燕	篇	王翰	李成	113/101105								
92	唐	春	舊	作	春	孟浩然	佳人	114/101106							
93	唐	古	風	十	首	李白	燕趙	115/101107							
	唐	中	山	孺	子	母	歌	李白	116/101107						
	唐	西	施	李	白	西施	117/101107								
	唐	上	元	夫	李	白	上元	118/101107							
	唐	效	古	二	首	李	白	119/101107							
	唐	擬	古	十	首	李	白	120/101107							
	唐	寄	遠	十	首	李	白	121/101107							
	唐	西	施	李	白	西施	122/101107								
	唐	口	號	女	王	美	半	李	白	123/101107					
	唐	越	女	詞	二	首	李	白	124/101107						

[illegible]

詩 代 詩 文 題 作 者 摘				要 藝 初 覽 類 函 集 備 考
唐 雜 興 五 首 之 一	權 德 輿	二	二八學得大是女龍開計故自尋故	328.3676
			乍聽絲管似竹聲最覺不堪源夜聲	328.3676
			疏狂漸覺明月欲盡金釵欲盡初居住	328.3676
			別處雙飛燕亂啼百花如綺照深閨	328.3676
			巫山雲雨冷沈沈珠箔香羅幕綠楊影	328.3676
116	唐 大 提 曲	楊 巨 源	二八學得大是女龍開計故自尋故	328.3676
	唐 閨 姐 詞	楊 巨 源	妍豔照江張散成竹樓觀錢滿錦院	328.3676
	唐 崔 娘 詩	楊 巨 源	清麗猶勝不似不似不似不似不似不似	328.3676
	唐 美 人 春 怨	楊 巨 源	妾家近城陽理理理理理理理理理理	328.3676
	唐 蕩 女 詞	楊 巨 源	露叶桃江發雙燕燕燕燕燕燕燕燕燕	328.3676
	唐 名 妹 詠	楊 巨 源	河橋幸未移芳艸艸艸艸艸艸艸艸	328.3676
117	唐 館 娃 官 一 賦 之 一	劉 禹 錫	官館詩娃性體體體體體體體體體體	328.3676
	唐 贈 李 司 空 妓	劉 禹 錫	高髻雲鬟綠髮春歌一曲杜幸被	328.3676
118	唐 王 昭 君	張 仲 素	仙城冷下城	328.3676
119	唐 有 所 思	盧 仝	當時飲醉美人家美人顏色如花天涯遊歷西戎	328.3676
120	唐 宮 娃 歌	李 賀	漢苑香飄照如空花房夜掃紅守宮	328.3676
	唐 端 公 李 賀	宋 王 哲 端 公 注 口 口 口 口 口 口 口 口	宋王哲端公注口口口口口口口口口	328.3676
	唐 美 人 梳 頭 歌	李 賀	西施曉夢銷魂處驚起芙蓉睡未足	328.3676
121	唐 白 衣 裳 二 首 之 一	元 稹	唐詩輕麗兩院後平昔詞調未離	328.3676
	唐 鶯 鶯 詩	元 稹	紅紅翠翠舊衣裳紅紅翠翠舊衣裳	328.3676
	唐 離 思 二 首 之 一	元 稹	自愛殘花曉鏡中傷心無處避殘花	328.3676
	唐 會 真 詩 三 十 韻	元 稹	微月透簾櫳低聲解帶羅帶解帶解帶	328.3676
122	唐 續 古 詩 十 首 之 五	白 居 易	窈窕雙鬟女容德俱如玉	328.3676
	唐 長 恨 歌	白 居 易	漢皇重色思傾國回眸一笑百媚生六宮粉黛無顏色	328.3676
	唐 簡 簡 吟	白 居 易	蘇軾七言簡簡花開柳絮飛	328.3676
	唐 和 夢 遊 春 詩 一 百 韻	白 居 易	昔君夢遊處夢時猶在六宮餘夢猶在六宮	328.3676
	唐 盧 侍 御 虛 舟 詩 一 百 韻	白 居 易	鬱金堂下春風暖中山雨後深春暖	328.3676
	唐 吳 宮 辭	白 居 易	一入吳宮殿一入吳宮殿一入吳宮殿	328.3676
	唐 鄰 女	白 居 易	鄰女出時如自出如自出如自出如自出	328.3676
	唐 和 李 勢 女	白 居 易	漢水短流分枝子孫如花子孫如花子孫	328.3676
123	唐 美 人 梳 頭	張 碧	玉墀花院小枝紅玉墀花院小枝紅	328.3676
124	唐 姑 蘇 臺 雜 句	李 紳	越王巧破夫差國西施曾笑越王心	328.3676
125	唐 李 夫 人 歌	韋 洛	瑤閣初開曉曉曉曉曉曉曉曉曉曉	328.3676

—
—
—
—
—
—

[illegible]

詩	時代	詩	文	題	作者	摘	要	聲	初	覽	類	出	集	備	考
唐	詠	手	韓	偓	腕	腕紅玉筍承取	腕紅玉筍承取	腕紅玉筍承取	腕紅玉筍承取	腕紅玉筍承取	腕紅玉筍承取	腕紅玉筍承取	腕紅玉筍承取	腕紅玉筍承取	腕紅玉筍承取
唐	病	憶	韓	偓	信知	信知	信知	信知	信知	信知	信知	信知	信知	信知	信知
唐	思	笑	韓	偓	官樣	官樣	官樣	官樣	官樣	官樣	官樣	官樣	官樣	官樣	官樣
唐	密	意	韓	偓	呼花	呼花	呼花	呼花	呼花	呼花	呼花	呼花	呼花	呼花	呼花
唐	偶	見	韓	偓	醉眠	醉眠	醉眠	醉眠	醉眠	醉眠	醉眠	醉眠	醉眠	醉眠	醉眠
唐	叢	娜	韓	偓	暮柳	暮柳	暮柳	暮柳	暮柳	暮柳	暮柳	暮柳	暮柳	暮柳	暮柳
唐	偶	見	韓	偓	金釵	金釵	金釵	金釵	金釵	金釵	金釵	金釵	金釵	金釵	金釵
144	唐	傷	灼	灼	章	章	章	章	章	章	章	章	章	章	章
145	唐	卷	簾	黃	滔	綠	綠	綠	綠	綠	綠	綠	綠	綠	綠
	唐	啓	帳	黃	滔	得	得	得	得	得	得	得	得	得	得
	唐	去	扇	董	滔	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道
146	唐	西	施	崔	道融	穿	穿	穿	穿	穿	穿	穿	穿	穿	穿
	唐	西	施	崔	道融	穿	穿	穿	穿	穿	穿	穿	穿	穿	穿
147	唐	西	施	蘇	拯	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東
148	唐	詠	手	二	趙	光	光	光	光	光	光	光	光	光	光
149	唐	范	蠡	周	量	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西
150	唐	潘	妃	孫	元	曾	曾	曾	曾	曾	曾	曾	曾	曾	曾
151	唐	西	施	盧	注	湖	湖	湖	湖	湖	湖	湖	湖	湖	湖
152	唐	題	西	施	胡	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
153	唐	王	昭	若	梁	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻
154	唐	達	鄭	女	周	演	演	演	演	演	演	演	演	演	演
155	唐	閨	閨	懷	古	裴	裴	裴	裴	裴	裴	裴	裴	裴	裴
156	唐	見	美	閨	琴	不	不	不	不	不	不	不	不	不	不
157	唐	看	前	女	韓	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭
158	唐	詠	美	人	騎	馬	無	無	無	無	無	無	無	無	無
159	唐	贈	鄭	女	薛	端	端	端	端	端	端	端	端	端	端
160	唐	贈	歌	姬	崔	仲	仲	仲	仲	仲	仲	仲	仲	仲	仲
161	唐	柳	眉	趙	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞
	唐	檀	口	趙	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞
	唐	織	指	趙	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞
	唐	酥	乳	趙	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞	鸞
162	唐	古	意	九	三	貧	貧	貧	貧	貧	貧	貧	貧	貧	貧
	唐	經	宮	貴	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
163	唐	富	貴	曲	杜	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良
	唐	詠	西	施	杜	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良
164	唐	題	唐	陵	妓	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
165	唐	王	女	舞	霓	裳	李	太	太	太	太	太	太	太	太
166	宋	踏	青	詩	張	詠	春	游	游	游	游	游	游	游	游
167	宋	前	樓	十	二	韻	劉	劉	劉	劉	劉	劉	劉	劉	劉

中国美女伝稿

詩時代詩文題作者摘				要藝初覽類函集備考
168	宋紅玉誰家女四首之一	劉敞	紅玉誰家女雙體似水流 紅玉誰家女明麗特奇 翠霞金髮夜細以翳斜輝 春風能吹衣不知解人意	公是東(集初)
169	宋魏國夫人夜游園	蘇軾	佳人自軀花髮露初凝 紅玉誰家女明麗特奇	蘇軾集
170	宋美女篇	曹勣	芙蓉曉輝水綠勻 曉風輕暖轉流輝 九疑服故臣詩	
171	宋白紵歌	一登游	雲母屏深翠初度 美人羅山何所似 湘雲滿處離風輕眼明似地以	陳師道集
172	宋潭畔芙蓉	浣花女	芙蓉花發滿江紅 畫道芙蓉勝客	
173	金瓶梅詞話	朱之才	玉成臨君顏色 春來引婦人國朝來 曉起雙雙生 夕如靜夜 曉初晴 翠微翠微	金瓶梅詞話
174	金瓶梅詞話	劉迎	寶梯倚盡金庭茂 明眸映翠 春風輕暖轉流輝	金瓶梅詞話
175	金瓶梅詞話	李俊民	君現明麗 曉風輕暖轉流輝 美人羅山何所似 湘雲滿處離風輕眼明似地以	金瓶梅詞話
176	元古風	趙孟頫	絕代佳人 曉風輕暖轉流輝 美人羅山何所似 湘雲滿處離風輕眼明似地以	趙孟頫集
177	元古風	趙孟頫	絕代佳人 曉風輕暖轉流輝 美人羅山何所似 湘雲滿處離風輕眼明似地以	趙孟頫集
178	元古風	趙孟頫	絕代佳人 曉風輕暖轉流輝 美人羅山何所似 湘雲滿處離風輕眼明似地以	趙孟頫集
179	元古風	趙孟頫	絕代佳人 曉風輕暖轉流輝 美人羅山何所似 湘雲滿處離風輕眼明似地以	趙孟頫集
180	元古風	趙孟頫	絕代佳人 曉風輕暖轉流輝 美人羅山何所似 湘雲滿處離風輕眼明似地以	趙孟頫集
181	元古風	趙孟頫	絕代佳人 曉風輕暖轉流輝 美人羅山何所似 湘雲滿處離風輕眼明似地以	趙孟頫集
182	元古風	趙孟頫	絕代佳人 曉風輕暖轉流輝 美人羅山何所似 湘雲滿處離風輕眼明似地以	趙孟頫集
183	元古風	趙孟頫	絕代佳人 曉風輕暖轉流輝 美人羅山何所似 湘雲滿處離風輕眼明似地以	趙孟頫集
184	元古風	趙孟頫	絕代佳人 曉風輕暖轉流輝 美人羅山何所似 湘雲滿處離風輕眼明似地以	趙孟頫集
185	元古風	趙孟頫	絕代佳人 曉風輕暖轉流輝 美人羅山何所似 湘雲滿處離風輕眼明似地以	趙孟頫集
186	元古風	趙孟頫	絕代佳人 曉風輕暖轉流輝 美人羅山何所似 湘雲滿處離風輕眼明似地以	趙孟頫集
187	元古風	趙孟頫	絕代佳人 曉風輕暖轉流輝 美人羅山何所似 湘雲滿處離風輕眼明似地以	趙孟頫集
188	元古風	趙孟頫	絕代佳人 曉風輕暖轉流輝 美人羅山何所似 湘雲滿處離風輕眼明似地以	趙孟頫集
189	元古風	趙孟頫	絕代佳人 曉風輕暖轉流輝 美人羅山何所似 湘雲滿處離風輕眼明似地以	趙孟頫集
190	元古風	趙孟頫	絕代佳人 曉風輕暖轉流輝 美人羅山何所似 湘雲滿處離風輕眼明似地以	趙孟頫集
191	元古風	趙孟頫	絕代佳人 曉風輕暖轉流輝 美人羅山何所似 湘雲滿處離風輕眼明似地以	趙孟頫集
192	元古風	趙孟頫	絕代佳人 曉風輕暖轉流輝 美人羅山何所似 湘雲滿處離風輕眼明似地以	趙孟頫集
193	元古風	趙孟頫	絕代佳人 曉風輕暖轉流輝 美人羅山何所似 湘雲滿處離風輕眼明似地以	趙孟頫集
194	元古風	趙孟頫	絕代佳人 曉風輕暖轉流輝 美人羅山何所似 湘雲滿處離風輕眼明似地以	趙孟頫集
195	元古風	趙孟頫	絕代佳人 曉風輕暖轉流輝 美人羅山何所似 湘雲滿處離風輕眼明似地以	趙孟頫集

詩	代	詩	文	題	作者	摘	要	藝	初	覽	類	函	集	備	考
196	明	安樂治民女少曾識之明 年幾曉與吳山 則已參寥人處想吳山 酒飯話流	賀佑	吳山安樂治民女少曾識之明 年幾曉與吳山 則已參寥人處想吳山 酒飯話流	賀佑	吳山安樂治民女少曾識之明 年幾曉與吳山 則已參寥人處想吳山 酒飯話流	吳山安樂治民女少曾識之明 年幾曉與吳山 則已參寥人處想吳山 酒飯話流	吳山安樂治民女少曾識之明 年幾曉與吳山 則已參寥人處想吳山 酒飯話流	吳山安樂治民女少曾識之明 年幾曉與吳山 則已參寥人處想吳山 酒飯話流	吳山安樂治民女少曾識之明 年幾曉與吳山 則已參寥人處想吳山 酒飯話流	吳山安樂治民女少曾識之明 年幾曉與吳山 則已參寥人處想吳山 酒飯話流	吳山安樂治民女少曾識之明 年幾曉與吳山 則已參寥人處想吳山 酒飯話流	吳山安樂治民女少曾識之明 年幾曉與吳山 則已參寥人處想吳山 酒飯話流	吳山安樂治民女少曾識之明 年幾曉與吳山 則已參寥人處想吳山 酒飯話流	吳山安樂治民女少曾識之明 年幾曉與吳山 則已參寥人處想吳山 酒飯話流
197	明	無	題	薛瑄	絕世奇哉一餘仙客好樓居	絕世奇哉一餘仙客好樓居	絕世奇哉一餘仙客好樓居	絕世奇哉一餘仙客好樓居	絕世奇哉一餘仙客好樓居	絕世奇哉一餘仙客好樓居	絕世奇哉一餘仙客好樓居	絕世奇哉一餘仙客好樓居	絕世奇哉一餘仙客好樓居	絕世奇哉一餘仙客好樓居	絕世奇哉一餘仙客好樓居
198	明	妾	薄	命	郭鈺	孤雲遙望楚山深	孤雲遙望楚山深	孤雲遙望楚山深	孤雲遙望楚山深	孤雲遙望楚山深	孤雲遙望楚山深	孤雲遙望楚山深	孤雲遙望楚山深	孤雲遙望楚山深	孤雲遙望楚山深
199	明	團	扇	仕	女	姚綸	濃雲散雨散花陰	濃雲散雨散花陰	濃雲散雨散花陰	濃雲散雨散花陰	濃雲散雨散花陰	濃雲散雨散花陰	濃雲散雨散花陰	濃雲散雨散花陰	濃雲散雨散花陰
200	明	戲	題	美人	鏡背	吳騷	輕霞散雨散花陰	輕霞散雨散花陰	輕霞散雨散花陰	輕霞散雨散花陰	輕霞散雨散花陰	輕霞散雨散花陰	輕霞散雨散花陰	輕霞散雨散花陰	輕霞散雨散花陰
201	明	梅	邊	美人	夏寅	欲向東風問春信	欲向東風問春信	欲向東風問春信	欲向東風問春信	欲向東風問春信	欲向東風問春信	欲向東風問春信	欲向東風問春信	欲向東風問春信	欲向東風問春信
202	明	題	美	人	邊	寅	月宮秋冷桂團圓	月宮秋冷桂團圓	月宮秋冷桂團圓	月宮秋冷桂團圓	月宮秋冷桂團圓	月宮秋冷桂團圓	月宮秋冷桂團圓	月宮秋冷桂團圓	月宮秋冷桂團圓
203	明	邯	鄲	美人	歌	康海	越山越水越人歌	越山越水越人歌	越山越水越人歌	越山越水越人歌	越山越水越人歌	越山越水越人歌	越山越水越人歌	越山越水越人歌	越山越水越人歌
204	明	緝	甲	麗	人	楊慎	銀甲輝輝若玉生	銀甲輝輝若玉生	銀甲輝輝若玉生	銀甲輝輝若玉生	銀甲輝輝若玉生	銀甲輝輝若玉生	銀甲輝輝若玉生	銀甲輝輝若玉生	銀甲輝輝若玉生
205	明	竊	陽	樂	王世貞	大羅織成即成曲	大羅織成即成曲	大羅織成即成曲	大羅織成即成曲	大羅織成即成曲	大羅織成即成曲	大羅織成即成曲	大羅織成即成曲	大羅織成即成曲	大羅織成即成曲
206	明	采	蓮	油	丘吉	細語呼人遠不聞	細語呼人遠不聞	細語呼人遠不聞	細語呼人遠不聞	細語呼人遠不聞	細語呼人遠不聞	細語呼人遠不聞	細語呼人遠不聞	細語呼人遠不聞	細語呼人遠不聞
207	明	西	湖	采	蓮	油	朱陽仲	五湖春色盡西湖	五湖春色盡西湖	五湖春色盡西湖	五湖春色盡西湖	五湖春色盡西湖	五湖春色盡西湖	五湖春色盡西湖	五湖春色盡西湖
208	明	西	湖	采	蓮	油	沈明臣	五湖春色盡西湖	五湖春色盡西湖	五湖春色盡西湖	五湖春色盡西湖	五湖春色盡西湖	五湖春色盡西湖	五湖春色盡西湖	五湖春色盡西湖
209	明	無	題	王樞登	一	金	金	金	金	金	金	金	金	金	金
210	明	烏	樓	曲	阮自華	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山
211	明	獨	公	詩	題	趙士文	張璠	張璠	張璠	張璠	張璠	張璠	張璠	張璠	張璠
212	明	采	蓮	詠	沈一	金	金	金	金	金	金	金	金	金	金
213	明	新	詞	詞	王	參	泓	王	參	泓	王	參	泓	王	參
214	明	濃	詞	詞	王	參	泓	王	參	泓	王	參	泓	王	參
215	明	采	蓮	曲	阮自華	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山
216	明	流	衣	曲	陳薦文	流衣曲	流衣曲	流衣曲	流衣曲	流衣曲	流衣曲	流衣曲	流衣曲	流衣曲	流衣曲
217	明	江	南	樂	二	首	之一	陳拜瞻	清明時節遊何處	清明時節遊何處	清明時節遊何處	清明時節遊何處	清明時節遊何處	清明時節遊何處	清明時節遊何處
218	明	烏	樓	曲	阮自華	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山	飛樓望遠望吳山
219	明	羅	人	篇	陳鶴	寧為羅裳舞吳山	寧為羅裳舞吳山	寧為羅裳舞吳山	寧為羅裳舞吳山	寧為羅裳舞吳山	寧為羅裳舞吳山	寧為羅裳舞吳山	寧為羅裳舞吳山	寧為羅裳舞吳山	寧為羅裳舞吳山
220	明	牡丹	花	下	美人	蔣立言	牡丹花下美人歌	牡丹花下美人歌	牡丹花下美人歌	牡丹花下美人歌	牡丹花下美人歌	牡丹花下美人歌	牡丹花下美人歌	牡丹花下美人歌	牡丹花下美人歌
221	明	夕	秀	詞	王參泓	夕秀詞	夕秀詞	夕秀詞	夕秀詞	夕秀詞	夕秀詞	夕秀詞	夕秀詞	夕秀詞	夕秀詞
222	明	賦	得	人	臨	水	一	顧	潤	顧	潤	顧	潤	顧	潤
223	明	詠	美人	雨中	觀	荷	徐小淑	詠美人雨中觀荷	詠美人雨中觀荷	詠美人雨中觀荷	詠美人雨中觀荷	詠美人雨中觀荷	詠美人雨中觀荷	詠美人雨中觀荷	詠美人雨中觀荷
224	明	詠	畫	屏	美人	二	首	之一	葉小鸞	詠畫屏美人	詠畫屏美人	詠畫屏美人	詠畫屏美人	詠畫屏美人	詠畫屏美人
225	明	桃	葉	歌	景	嘉	嗣	景	嘉	嗣	景	嘉	嗣	景	嘉
226	唐	火	鳳	詞	二	首	李自樂	火鳳詞	火鳳詞	火鳳詞	火鳳詞	火鳳詞	火鳳詞	火鳳詞	火鳳詞
2	唐	春	清	孟浩然	春	清	孟浩然	春	清	孟浩然	春	清	孟浩然	春	清
唐	周	明	府	君	漢	曹	孟浩然	周明府君漢曹	周明府君漢曹	周明府君漢曹	周明府君漢曹	周明府君漢曹	周明府君漢曹	周明府君漢曹	周明府君漢曹

中国美女伝稿

詞牌	詩	文	題	作者	摘	要	藝	初	覽	類	出	集	備考
1	唐好時	光	玄宗	明	李隆基	寶曆元年宮中宴	避險	詩	李隆基	唐詩	李隆基	唐詩	全唐詩
2	唐巫山一段雲		昭宗	李	李煜	線柳雲間笑	明	李煜	李煜	唐詩	李煜	唐詩	全唐詩
3	唐虞美	人	後主	李	李煜	鳳凰小閣底	李煜	李煜	李煜	唐詩	李煜	唐詩	全唐詩
4	蜀甘州	曲	後主	李	李煜	重疊嶺	能解	李煜	李煜	唐詩	李煜	唐詩	全唐詩
5	唐清平樂	詞	李	李	李煜	禁煙香	禁煙香	李煜	李煜	唐詩	李煜	唐詩	全唐詩
6	唐調笑	令	王建		王建	御園鳳	鳳	王建	王建	唐詩	王建	唐詩	全唐詩
7	唐憶江	南	崔橈		崔橈	平江鎮	崔橈	崔橈	崔橈	唐詩	崔橈	唐詩	全唐詩
8	唐商歌	子	溫庭	詩	溫庭	曉使	溫庭	溫庭	溫庭	唐詩	溫庭	唐詩	全唐詩
9	唐巫山一段雲	二	毛文錫		毛文錫	曉使	毛文錫	毛文錫	毛文錫	唐詩	毛文錫	唐詩	全唐詩
10	唐琴秀	兩	岐	和	岐	涼	岐	岐	岐	唐詩	岐	唐詩	全唐詩
11	唐選方	怨	顧	顧	顧	暮影	顧	顧	顧	唐詩	顧	唐詩	全唐詩
12	唐虞美	人	首	顧	顧	暮影	顧	顧	顧	唐詩	顧	唐詩	全唐詩
13	唐按擢	子	二	尹	尹	尹	尹	尹	尹	唐詩	尹	唐詩	全唐詩
14	唐商歌	子	一	毛	毛	毛	毛	毛	毛	唐詩	毛	唐詩	全唐詩
15	唐虞美	人	李	李	李	李	李	李	李	唐詩	李	唐詩	全唐詩
16	唐春光	好	九	三	歐陽	歐陽	歐陽	歐陽	歐陽	唐詩	歐陽	唐詩	全唐詩
17	唐虞美	人	二	二	歐陽	歐陽	歐陽	歐陽	歐陽	唐詩	歐陽	唐詩	全唐詩
18	唐虞美	人	二	二	歐陽	歐陽	歐陽	歐陽	歐陽	唐詩	歐陽	唐詩	全唐詩
19	唐春光	好	九	三	歐陽	歐陽	歐陽	歐陽	歐陽	唐詩	歐陽	唐詩	全唐詩
20	宋浪淘	沙	令	柳	永	柳	永	柳	永	唐詩	柳	唐詩	全唐詩
	宋合歡	帶	柳	永	柳	永	柳	永	柳	唐詩	柳	唐詩	全唐詩
	宋洞仙	歌	柳	永	柳	永	柳	永	柳	唐詩	柳	唐詩	全唐詩
	宋玉蝴蝶	詞	柳	永	柳	永	柳	永	柳	唐詩	柳	唐詩	全唐詩
	宋西施	三	柳	永	柳	永	柳	永	柳	唐詩	柳	唐詩	全唐詩

詞	賦	詩	式	題	作者	摘	要	藝	初	覽	類	函	集	備	考	
					宋河	傳二首之一	柳永	零	紅	送	楚	賦	寶		0197	
21					宋菊	花	新	張先	望	湖	秋	暮	院	淡	沈	金來詞0199
22					宋更漏	子四首之一	晏殊	殊	夢	東	風	過	繁	華	宮	金來詞0199
					宋漁家	傲四首之一	晏殊	殊	雨	寒	風	吹	粉	梅	院	0197
						十三	晏殊	殊	雨	寒	風	吹	粉	梅	院	0197
23					宋菩薩	蠻歌	目	謝絳	望	湖	秋	暮	院	淡	沈	金來詞0199
24					宋朝	玉	階	杜安世	春	色	人	伴	晚	清	人	金來詞0199
25					宋鷓鴣	天	九	首	之一	晏殊	殊	雨	寒	風	吹	金來詞0199
					宋浣溪	沙	十	首	之一	晏殊	殊	雨	寒	風	吹	金來詞0199
					宋采桑	子	二	首	之一	晏殊	殊	雨	寒	風	吹	金來詞0199
					宋菩薩	蠻九首之一	晏殊	殊	雨	寒	風	吹	粉	梅	院	0197
26					宋滿庭	芳五首之一	蘇軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	金來詞0199
					宋三部	樂情	景	蘇軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	金來詞0199
					宋浣溪	沙	十	首	之一	晏殊	殊	雨	寒	風	吹	金來詞0199
					宋鷓鴣	天	九	首	之一	晏殊	殊	雨	寒	風	吹	金來詞0199
27					宋鷓鴣	天四首之一	李之儀	儀	儀	儀	儀	儀	儀	儀	儀	金來詞0199
28					宋菩薩	蠻五首之一	晏殊	殊	雨	寒	風	吹	粉	梅	院	0197
29					宋浣溪	沙	十	首	之一	晏殊	殊	雨	寒	風	吹	金來詞0199
30					宋蘭	湘	結	萬	年	歡	賀	鑄	鑄	鑄	鑄	金來詞0199
					宋小	重	山	賀	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	金來詞0199
31					宋江城	子	離	離	離	離	離	離	離	離	離	金來詞0199
32					宋卜	算	子	陳師道	道	道	道	道	道	道	道	金來詞0199
33					宋看	花	迴	越	調	周邦彥	彥	彥	彥	彥	彥	金來詞0199
					宋減	字	本	蘭	花	周邦彥	彥	彥	彥	彥	彥	金來詞0199
					宋南	柯	子	二	首	之一	周邦彥	彥	彥	彥	彥	金來詞0199
					宋燭	影	搖	紅	周邦彥	彥	彥	彥	彥	彥	彥	金來詞0199
34					宋西江	月	九	首	之一	謝逸	逸	逸	逸	逸	逸	金來詞0199
35					宋清	平	樂	二	首	之一	毛滂	滂	滂	滂	滂	金來詞0199
					宋調	笑	令	毛	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂	金來詞0199
																金來詞0199
36					宋水	龍	吟	三	首	之一	周紫芝	芝	芝	芝	芝	金來詞0199
					宋南	柯	子	三	首	之一	周紫芝	芝	芝	芝	芝	金來詞0199
37					宋梅	花	引	何子綰	綰	綰	綰	綰	綰	綰	綰	金來詞0199
					宋鵲	鵲	鵲	鵲	鵲	鵲	鵲	鵲	鵲	鵲	鵲	金來詞0199
					宋鵲	鵲	鵲	鵲	鵲	鵲	鵲	鵲	鵲	鵲	鵲	金來詞0199
					宋南	歌	子	九	首	之一	何子綰	綰	綰	綰	綰	金來詞0199
					宋生	查	子	六	首	之一	何子綰	綰	綰	綰	綰	金來詞0199
38					宋醜	奴	兒	慢	蔡伸	伸	伸	伸	伸	伸	伸	金來詞0199
					宋菩薩	蠻一	首	之一	蔡伸	伸	伸	伸	伸	伸	伸	金來詞0199
					宋清	平	樂	三	首	之一	蔡伸	伸	伸	伸	伸	金來詞0199

中国美女传稿

詞	詩	文	題	作者	摘	要	藝	初	覽	類	出	集	備	考
39	宋	綵鸞歸	令	張元幹	玲瓏圓潤	無間	管樂	流	聲	錄	元	全宋詩	017101	
40	宋	晏	葉	黃	五	首	之	三	晏	清	老	金家詞	017111	
41	宋	生	查	子	管	鑑	雙	時	水	園	香	金家詞	017171	
42	宋	虞	美	人	三	首	之	三	晏	清	老	金家詞	017172	
43	宋	生	查	子	管	鑑	雙	時	水	園	香	金家詞	017173	
44	宋	臨	江	仙	張	孝	祥	遠	山	蒼	翠	金家詞	017174	
45	宋	醉	落	魄	重	午	趙	長	卿	南	枝	金家詞	017175	
46	宋	意	難	忘	投	梭	花	機	難	記	得	金家詞	017176	
47	宋	臨	江	仙	張	孝	祥	遠	山	蒼	翠	金家詞	017177	
48	宋	踏	莎	行	石	孝	友	披	風	披	金	家	詞	017178
49	宋	買	新	郎	韓	玉	韓	玉	韓	玉	韓	玉	韓	玉
50	宋	玲	瓏	四	犯	方	千	里	傾	城	名	錄	元	
51	宋	西	江	月	黃	機	控	翠	垂	嫩	綠	金家詞	017179	
52	宋	秋	蕊	香	趙	希	彰	碧	陽	春	綠	金家詞	017180	
53	宋	青	玉	案	蓮	女	陳	允	平	涼	香	金家詞	017181	
54	宋	瑞	鸞	仙	紅	葉	蔣	捷	甜	橙	酸	金家詞	017182	
55	宋	馬	家	春	慢	無	名	氏	珠	玉	圓	金家詞	017183	
56	宋	五	綵	結	同	心	無	名	氏	珠	玉	圓	金家詞	017184
57	宋	德	泰	城	無	名	氏	香	德	泰	城	金家詞	017185	
58	宋	柳	梢	青	無	名	氏	有	蘭	人	畫	金家詞	017186	
59	宋	步	踏	宮	無	名	氏	東	風	吹	金家詞	017187		
60	宋	鵲	鵲	天	佳	人	無	名	氏	金	似	金家詞	017188	
61	宋	沈	國	春	美	人	眉	即	李	貞	巧	金家詞	017189	
62	宋	元	人	月	圓	趙	五	顯	一	枝	仙	金家詞	017190	
63	宋	元	沈	溪	紗	粉	兒	黃	正	淡	淡	金家詞	017191	
64	宋	元	沈	踏	行	吟	痕	王	建	理	羽	金家詞	017192	
65	宋	元	江	城	梅	花	引	張	翥	玉	兒	金家詞	017193	
66	宋	元	多	麗	賦	現	張	翥	小	庭	指	金家詞	017194	
67	宋	明	好	女	兒	楊	慎	柳	柳	柳	柳	金家詞	017195	
68	宋	明	灼	灼	花	佳	人	足	楊	慎	柳	金家詞	017196	
69	宋	明	青	玉	東	馬	洪	判	判	判	判	金家詞	017197	
70	宋	明	善	善	善	善	善	善	善	善	善	金家詞	017198	

詞賦詩文	題作者摘	要藝初覽類函集備考
64 明多	麗王肯堂 步花陰滿園春色	28 103 105
65 明沈園	春美人指甲 沈景高 新勝驕驕曉霞	28 103 107
66 明玉	湖蝶 陳子龍 綠通子春溪明綠柳	28 103 109
67 明流溪	紗袍紹華 手揭藏衣襟湖風	28 103 110
68 明踏莎	行 沈嘉謨 芳情舞絮沾雨	28 103 110

中国美女伝稿

四部献書	名	撰者	摘	要	藝	初	覽	類	函	集	備	考
82 子小説志	劉宋	異苑	劉歊叔	徐瑛女	子	魏	魏	魏	魏	魏	魏	魏
170 子小説雜錄	南宋	夷堅志	京師異聞	洪邁	京師異聞	人	夢	夢	夢	夢	夢	夢
			瓶賦	前通判	女	子	魏	魏	魏	魏	魏	魏
			宋仁宗	張擇端	美人	魏	魏	魏	魏	魏	魏	魏
108 子小説法	唐	異物志	李元平	女子	紅	魏	魏	魏	魏	魏	魏	魏
173 子小説志	南宋	異聞錄	張文林	子	魏	魏	魏	魏	魏	魏	魏	魏
100 子小説雜錄	唐	遠	史盧李	二生	盧	子	女	子	魏	魏	魏	魏
12 子補子	名家	周尹	文子	大道上	蕭	尹	文	蕭	公	二	國	色
129 子小説雜錄	唐	陰德傳	劉弘	敬	方	補	蘇	有	珠	色	魏	魏
96 子小説雜錄	唐	雲溪友議	范摭	吳	吳	國	人	佳	人	比	蘇	小
36 子小説雜論	前漢	淮南子	精神訓	劉安	魏	魏	魏	魏	魏	魏	魏	魏
			本經訓	七	魏	魏	魏	魏	魏	魏	魏	魏
			齊俗訓	荷	西	魏	魏	魏	魏	魏	魏	魏
			說山訓	西	魏	魏	魏	魏	魏	魏	魏	魏
			說林訓	西	魏	魏	魏	魏	魏	魏	魏	魏
			脩務訓	要	魏	魏	魏	魏	魏	魏	魏	魏
1 經易	經	周易	經	繫辭傳上	治	容	魏	魏	魏	魏	魏	魏
28 史載	記	後漢	越絕書	袁康	美人	宮	子	魏	魏	魏	魏	魏
32 子補傳	唐	王氏	紀聞	北山	道	者	牛	肅	檀	州	空	雲
112 子小説傳	唐	王氏	紀聞	北山	道	者	牛	肅	檀	州	空	雲
			王蒙列傳	王蒙	列	傳	王	蒙	列	傳	王	蒙
168 子小説雜錄	(宋)	下	雅	短	腹	音	漢	明	仁	居	於	漢
105 子小説志	唐	河東	記	段	何	二	貴	一	貴	一	貴	一
99 子小説雜錄	唐	嘉祐	錄	章	絢	錄	王	承	昇	林	國	色

中国美女传稿

四部时代	书名	作者	要目	初版	类	正集	备考
212	小说新编	明 涇林雜記 (唐伯虎)	周玄暉 一餐貌尤麗麗 (沈 紹) 一麗人宮妝影飾繪顏又仙	1954	1059	鴻卷	
169	小說志怪	北宋 稽神錄 王 建 封 徐 鉉	少夜衣服縹緗而姿絕世	1954	1090	廣記 364	
162	小說雜錄	北宋 雞距集 (龐 穎)	王子韶 麗朝年四歲其教氣勝諸不飲 衣襟拂之恐體虛	1954	1056	廣記 364	
101	小說新編	唐 乾 麟 子 華 洲 參 軍 溫 庭 筠	崔氏之容色絕代	1954	1051	唐記 362	
199	史雜史	明 見 聞 錄 陳繼儒	梁敬之貌夢 美姬扶冰貌	1954	351	容顏	
211	小說新編	明 賢 奕 編 劉元卿	寧益種中女黃珠麗	1954	1059	容顏	
198	史正史	明 元 史 燕鐵木兒傳 宋濂等	一掃色甚麗	1954	295	容顏	
183	集詩評語	南宋 彥周詩話 (詩) (詞) (曲) (戲) 許 顯	福祿壽三星高天門前地地春 鳳 (李廷行) 女道士洗粧拭面羞面自照紅顏 長眉 (張山詩) (笑露珠詩) 雲霞流滅 步舞 楚腰如柳 二喬 嘲嘲驚國色	1954	1571	容顏	
114	小說新編	唐 玄 怪 錄 (王勝益表) 牛僧孺	一衣何十九 姑麗如北	1954	1102	容顏	
172	小說志怪	南宋 玄池說林 (駐色 酒)	立髮得金能令顏色美	1954	1091	容顏	
77	藝術總論	陳 古今樂錄 (挑 紫) 釋智匠	挑紫王叔也 蜀之樂之歌 共處 挑紫時 挑紫時 挑紫時 二喬 挑紫時 挑紫時 挑紫時	1954	935	容顏	
186	集詩評語	宋 古今詩話 李 頎	挑紫王叔也 蜀之樂之歌 共處 挑紫時 挑紫時 挑紫時 二喬 挑紫時 挑紫時 挑紫時	1954	935	容顏	
61	子雜考	晉 古今注 崔 豹	魏武帝絕世佳人 魏武帝 陳叔子陳叔子 魏武帝 魏武帝 魏武帝 魏武帝 魏武帝 魏武帝 魏武帝 魏武帝 魏武帝 魏武帝	1954	1017	容顏	
203	子雜考	明 虎 晉 (魏明) 陳繼儒	虎所搏得 虎所搏得 虎所搏得 虎所搏得 虎所搏得 虎所搏得 虎所搏得 虎所搏得 虎所搏得 虎所搏得 虎所搏得	1954	1017	容顏	
150	史雜記	宋 五國故事 劉銀人	名產環仁	1954	357	容顏	
27	史雜記	後漢 吳越春秋 王傳 趙 曄	越王得子 越王得子 越王得子 越王得子 越王得子 越王得子 越王得子 越王得子 越王得子 越王得子 越王得子	1954	357	容顏	
58	史地雜志	晉 吳會分地記 王 隱	王 隱 王 隱 王 隱 王 隱 王 隱 王 隱 王 隱 王 隱 王 隱 王 隱 王 隱 王 隱	1954	357	容顏	
231	史地雜志	清 吳江縣志 陳其美	陳其美 陳其美 陳其美 陳其美 陳其美 陳其美 陳其美 陳其美 陳其美 陳其美 陳其美 陳其美	1954	357	容顏	
94	史地雜志	唐 吳地記 (語兒 亭) 陸廣微	陸廣微 陸廣微 陸廣微 陸廣微 陸廣微 陸廣微 陸廣微 陸廣微 陸廣微 陸廣微 陸廣微 陸廣微	1954	357	容顏	

四部書		名撰者摘	要藝初覽類函集備考
47	史別	史晉後漢書 (梁集卷孫壽) 華嶠	漢書孫壽色美而善歌舞作枕眉 時班固馬援折體少鐵齒文以爲 媚也
69	史正	史劉宋後漢書漢冀傳范曄	范曄容貌幹明漢宮
187	集詩評	謝詩北齊後山詩話 (花燕夫人) 陳師道	最及以才色入官後主驪花誌 夫人
107	孫說志怪	唐廣異記張果女戴名孚	張果年十五病死容色豐麗情 態嫵媚舉止閑婉 婦人姿容殊絕可計八九 婦人女婉麗殊絕 長史王文蔚絕無雙光彩映發 聲音雙入容態嫵媚
782	集詩評	謝詩北齊後山詩話 (花燕夫人) 陳師道	王玄之 新繁縣令 劉長史女
182	集詩評	謝詩北齊後山詩話 (花燕夫人) 陳師道	王玄之 新繁縣令 劉長史女
67	史別	集晉高柔集敘孫統	高柔通胡服女年十姿容清麗通上 流婦人
275	子小說雜錄	明高坡吳墓 (李茂元) 楊儀	婦人容貌絕世而肌膚潤澤身軀 大
54	史雜史事實	晉江表傳虞溥	虞溥立得作類序足爲歡
6	史雜史事實	秦國語周語上 吳有昭注	康公王孫恭王祭美之物以象以 美物歸女 康公以驪皮獲驪姬子思報父之 恥而驪姬欲難母色強化可謂姦 婦也必後之流得情事故後其終 心也哉國
723	子小說傳奇	唐崑崙奴傳 (崔生) 楊巨源	一之三人貌皆地代直達紅 綃妓道來明璫玉女環環初 墜紅臉嬌舒幽恨方深
127	子小說傳奇	唐才鬼記李章武鄭萼	李萼武妻神人遊夢可謂其容色衣服 完顏貌如花紅紅翠麗容身貌
141	史雜史事實	宋歐州雜記 (文君并)	宋歐州雜記 (文君并)
167	子小說雜錄	南齊採蘭雜志 (文君并)	宋歐州雜記 (文君并)
77	史正	史劉宋三國志魏志 (荀彧傳注) 裴松之	裴松之注
45	晉	吳志吳主權夫人陳壽周瑜傳	夫人以美麗得寵寵冠後庭 楊公女皆國色也

[illegible]

[illegible]

[illegible]

四部叢書		名撰者摘	要藝初覽類函集備考
222	子小說傳奇	明女俠傳	羅若 郭麒麟
		附註：此書係明末清初人馬駟氏所撰，內容多屬影射，情節動人。	257 1119 a 綠窗
172	子小說雜錄	元女紅餘志	眼 詒 龍 輔
		附註：此書係元代人眼詒龍輔所撰，內容多屬影射，情節動人。	257 1065 a 綠窗
221	子小說傳奇	明添婢傳	潘之恆
		附註：此書係明末清初人潘之恆所撰，內容多屬影射，情節動人。	257 1173 綠窗
130	子小說雜錄	唐散書記序	李士及
		附註：此書係唐代人李士及所撰，內容多屬影射，情節動人。	257 1021 綠窗
140	子小說雜錄	唐妝樓記	香 漢 張 泌
		附註：此書係唐代人香漢張泌所撰，內容多屬影射，情節動人。	257 1121 綠窗
110	子小說傳奇	唐章臺柳傳	許堯佐
		附註：此書係唐代人許堯佐所撰，內容多屬影射，情節動人。	257 1079 綠窗
232	史地理方志	清松江府志	松江府志
		附註：此書係清代人松江府志所撰，內容多屬影射，情節動人。	257 1079 綠窗
119	子小說傳奇	唐滿湘錄	襄陽老叟 李 隱
		附註：此書係唐代人襄陽老叟李隱所撰，內容多屬影射，情節動人。	257 1107 綠窗
124	子小說傳奇	唐蔣子文傳	羅 鄭
		附註：此書係唐代人羅鄭所撰，內容多屬影射，情節動人。	257 1109 綠窗
230	史地理方志	清常熟縣志	常熟縣志
		附註：此書係清代人常熟縣志所撰，內容多屬影射，情節動人。	257 1079 綠窗
234	子小說傳奇	清情史類略	唐肅外史
		附註：此書係清代人唐肅外史所撰，內容多屬影射，情節動人。	257 1079 綠窗
57	史傳記通錄	晉襄陽耆舊記	裴 頠
		附註：此書係晉代人裴頠所撰，內容多屬影射，情節動人。	257 1079 綠窗
10	子法家周慎	子 慎	慎 到
		附註：此書係周慎所撰，內容多屬影射，情節動人。	257 1079 綠窗
34	子儒學	漢新論	桓 譚
		附註：此書係漢代人桓譚所撰，內容多屬影射，情節動人。	257 1079 綠窗
50	史編年	晉晉紀	紀(綠珠)于寶
		附註：此書係晉代人紀(綠珠)于寶所撰，內容多屬影射，情節動人。	257 1079 綠窗
57	史編年	晉晉紀	鄧 象
		附註：此書係晉代人鄧象所撰，內容多屬影射，情節動人。	257 1079 綠窗
48	史洲史	晉晉書	王 隱
		附註：此書係晉代人王隱所撰，內容多屬影射，情節動人。	257 1079 綠窗
89	史正史	唐唐書	賈 充 傅 太 余
		附註：此書係唐代人賈充傅太余所撰，內容多屬影射，情節動人。	257 1079 綠窗

四部職書		名撰者摘	要藝初覽類函集備考
	揚素妾 (響麻廊)	揚素妾著色絕倫 響麻廊以柳村板鋪於光面進行 則響故也	757 057 050 C4
128	子小撰傳奇唐薛昭傳	裴劍	757 7112 050 a 說法
33	子儒學經濟前漢說	范尊賢劉向 惜文	757 714 050 a 四備
236	析津日記	許慎	397 3913 391 405
19	經小學著後漢說文	文	757 714 050 a 四備
120	子小撰傳奇唐宣室志鄭德懋張讀	許慎	757 714 050 a 四備
25	史雜文事實前漢戰國策	策(又解戰)劉向	757 714 050 a 四備
35	子儒學經濟後漢潛夫論潛數篇王符	符	757 714 050 a 四備
14	子諸小說先秦山海經	元	757 714 050 a 四備
180	集謝詩話宋全唐詩話	元	757 714 050 a 四備
201	史地理雜志明楚小志	章華臺錢希言	757 714 050 a 四備
17	集楚辭周楚辭	九歌山鬼屈原宋玉	757 714 050 a 四備
	大招宋玉	大招宋玉	757 714 050 a 四備

中国美女伝稿

四部	時代	書名	撰者	摘要	藝	初	覽	類	函	集	備考
64	子	說	怪	骨搜神記	(錢生)于	寶	文	年	可	126	卷類神記
8	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子
通鑑											
79	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子
85	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子
清溪廟神											
72	史	史	史	史	史	史	史	史	史	史	史
785	集	集	集	集	集	集	集	集	集	集	集
30	史	史	史	史	史	史	史	史	史	史	史
225	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子
160	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子
81	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子
208	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子
范蠡西施											
洵美且都											
小 說											
神仙之廣詞											
207	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子
739	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子
5	史	史	史	史	史	史	史	史	史	史	史

四部	書名	撰者	提要	初覽	類函	集備	考
233	史地理志	清 中江縣志	新編增補續修一統志	增 255a1b5	270a	270a	270a
254	子小說雜錄	唐 朝野僉載	任懷孝張鷟	增 255a1b5	270a	270a	270a
223	子小說傳奇	明 趙喜奴傳	釋真可	增 255a1b5	270a	270a	270a
204	子雜學論	明 長松社	陳繼儒	增 255a1b5	270a	270a	270a
213	子說雜錄	明 珍珠船	陳繼儒	增 255a1b5	270a	270a	270a
92	史正史	唐 陳書	高祖皇后 姚思廉	增 255a1b5	270a	270a	270a
		張貴妃	增 255a1b5	270a	270a	270a	270a
20	經傳訓詁	漢 通俗文	嵇康 服虔	增 255a1b5	270a	270a	270a
		螺 娜	增 255a1b5	270a	270a	270a	270a
121	子小說傳奇	唐 通幽記	陳 勸	增 255a1b5	270a	270a	270a
46	史通記	晉 帝王世紀	殷商 紂 湯	增 255a1b5	270a	270a	270a
117	子說傳奇	唐 鄭德珪傳	鄭德珪 薛 榮	增 255a1b5	270a	270a	270a
188	子雜學雜說	元 輟耕錄	崔 麗 人 陶宗儀	增 255a1b5	270a	270a	270a
43	子儒學雜論	魏 典	論 內 誠 文 帝	增 255a1b5	270a	270a	270a
210	子典故類書	明 天中記	李 勢 妹 陳 文	增 255a1b5	270a	270a	270a
38	子雜學雜論	後漢 天祿閣外史	黃 憲	增 255a1b5	270a	270a	270a
118	子說傳奇	唐 傳 奇	曾 李 衡 裴 劍	增 255a1b5	270a	270a	270a
80	子說雜錄	(宋) 姪 記	李 勢 女	增 255a1b5	270a	270a	270a
97	子說雜錄	唐 杜陽雜編	薛 瑤 英 蘇 鶯	增 255a1b5	270a	270a	270a
		飛鸞輕鳳	增 255a1b5	270a	270a	270a	270a
173	雜宋唐 史	(龐 姐)	龐姐 龐姐	增 255a1b5	270a	270a	270a

中国美女伝稿

四部	時代	書名	撰者	摘要	藝初	覽類	函集	備考
133	史正史	唐書	魏瓘	劉昫	劉昫撰唐書紀傳	380 824	272 a	舊唐書170p
39	子小說	世說新語	劉義慶	郭憲	世說新語四庫全書	2352227 增	1093 a	通史
26	史別史	漢書	劉向	劉向	漢書別傳	380 464 380 6213	2352202 a	277 a
91	史雜史	唐書	東漢奏記	裴庭裕	裴庭裕撰唐書	2352227 增	298 a	298 a
142	史雜史	宋書	燈下閑談	蘇軾	蘇軾撰宋書	2352227 增	298 a	298 a
219	子小說	明史	桃花仕女傳	沈仕	沈仕撰明史	2352227 增	298 a	298 a
784	集韻	宋書	桐江詩話	沈仕	沈仕撰宋書	2352227 增	298 a	298 a
166	子小說	宋書	投轄錄	王明清	王明清撰宋書	2352227 增	298 a	298 a
145	史雜史	宋書	道山清話	曾娘	曾娘撰宋書	2352227 增	298 a	298 a
93	史正史	唐書	唐書	李延壽	李延壽撰唐書	2352227 增	298 a	298 a
			梁平侃傳					
			思院阮個傳					
			(美人石)					
151	史載記	宋書	南唐近事	嚴維相	嚴維相撰宋書	2352227 增	298 a	298 a
152	史載記	宋書	保儀黃氏	馬令	馬令撰宋書	2352227 增	298 a	298 a
108	子小說	唐書	南唐煙花錄	馮贛	馮贛撰唐書	2352227 增	298 a	298 a
195	子小說	元書	南唐美人傳	楊維禎	楊維禎撰元書	2352227 增	298 a	298 a
177	子小說	宋書	梅妃傳					
158	子樂歌類	宋書	白孔六帖	白孔	白孔撰宋書	2352227 增	298 a	298 a
115	子小說	唐書	博異志	沈亞之	沈亞之撰唐書	2352227 增	298 a	298 a
62	子樂歌類	晉書	博物志	張華	張華撰晉書	2352227 增	298 a	298 a
122	子小說	唐書	非烟傳	非烟	非烟撰唐書	2352227 增	298 a	298 a
40	子小說	前漢	飛燕外傳	伶玄	伶玄撰前漢書	2352227 增	298 a	298 a

四	部	附	代	書	名	撰	者	摘	要	藝	初	覽	類	函	集	備	考	
								合德競為趙婕妤趙后與漢好生后 詠賦城好杜使行日神曉漢人 細袖似石華以馬侍衛袖 后治五藏大台湯通池水冰涼 降神石華杜婕妤治荷湯湯德華 百來粉										增 255.25.17 增 255.25.17 增 255.25.17 增 255.25.17
235	子	說	諸	語	清美人譜	徐震		古美人古林名故古林時美人道 跡容韻莊事居修飾助錄錄									1726 香臨 a	
88	集	韻	詩	話	梁文心彫龍雜	文劉		里曉排上才關西池之曉風									255 1547 四備 256 a 增 257 1054 五聯說 258 a 增 259 254 增	
737	子	說	雜	錄	代聞奇錄畫	工于述		趙魏得軟彈圖掛人懸										
746	史	雜	史	記	宋聞見後錄	邵博		昭昭林杜杜無題管其血綠 珠詩善并飲其美杜杜以瓦石 實之費能後後若魯操等華切 杜杜驚變道子如或美廣如藏脂 領如婦精齒如銀單錄其源 乃其傳其用助公類加詳考									255 1177 綠窗 256 b.2 257 1784 四備 a	
196	刊	說	傳	奇	元牡丹燈記	陳惜		參註其簡見一錄一私人隨後約 年十八部類雜錄其國性										
66	子	通	教	雅	著	晉抱朴子論	弘葛洪	不可以強宿能杜德而開在杜德 風西施漢 後身宿能是西施之點客 羽筆到則宿地以羽翼而宿而滅 曉 西施之宿而說則姿顏故麗 廣宿能是宿而宿而宿而宿	博喻 學 判								778 四備 a	
27	經	小	學	方	廣漢方言	揚雄		故漢漢故漢故漢故漢 針線 桂籍廣故漢 奕僕									387 255.17.10 449 增 86 387 105.11a.9 387 255.17.10 18 17.10.17 384 宋鑑	
202	史	地	理	紀	行	明蓬權夜話	李日華	胡氏酒館一支皆殊色									255 612 五聯小說 256 a 257 359 三聯法 258 a 增 259 1784 四備 a	
743	史	雜	史	記	北宋北夢瑣言	(崔夫人)孫光憲		崔有容色									255 1784 四備 a	
778	子	小	說	(宋)北窗志異	(黃)攬			見如女羊及持婦體之容婉媚 之態容其鮮妍									255 1784 四備 a	
75	子	諸	子	說	先秦穆天子傳	晉郭璞注		穆天子好慕美人之地									255 1784 四備 a	
167	子	小	說	雜	錄	北宋墨客揮犀	(湖南之俗)彭乘 (柳如京)開	有婦人聞其色甚研 墨客繪其像其									255 1055 綠窗 256 b 8 增 257 1784 四備 a	
165	子	小	說	雜	錄	南宋墨莊漫錄	(宋張在杭州)張邦基	觀梅老人情入七麗年三餘風 觀門唯唯其體良 多待兒而小觀觀其研麗 六憶詩觀詩色									255 1050 綠窗 256 a 增 257 1784 四備 a	
								(直方之父) (沈約六德詩)									255 1784 四備 a	

中国美女伝稿

四部	時代	書名	撰者	摘	要	藝	初	覽	類	西	集	備	考
		(西施)		西施入吳 吳越春秋 莊子 孟子									
		(東陽阿嬌)(詩)		東陽阿嬌 漢書 班固									
		(李淑)(雜詩論)		李淑 宋史 李淑									
				代文									
732	集韻	唐 本事詩	孟榮	本事詩 孟榮									
		餅師書		餅師書									
		看護妻		看護妻									
		李逢吉		李逢吉									
726	子小說傳奇	唐 夢遊錄	任蕃	夢遊錄 任蕃									
226	集韻	代明 名媛詩歸	鍾惺	名媛詩歸 鍾惺									
148	史籍	宋 默記	王鈺	默記 王鈺									
155	子雜學雜說	宋 捫蝨新語	陳善	捫蝨新語 陳善									
157	子雜學雜考	宋 野客叢談	王楙	野客叢談 王楙									
		詒益精明		詒益精明									
		東坡聊齋		東坡聊齋									
220	子小說傳奇	明 幽怪錄	趙源再世	幽怪錄 趙源再世									
83	子小說評註	明 幽明錄	劉義慶	幽明錄 劉義慶									
		轉輾絕代語		轉輾絕代語									
205	子雜學雜說	明 通雅	蘇祐	通雅 蘇祐									
109	子小說傳奇	唐 遊仙窟	張鷟	遊仙窟 張鷟									
125	子小說傳奇	唐 揚州夢記	鄭	揚州夢記 鄭									
174	子小說傳奇	宋 楊梅外傳	樂史	楊梅外傳 樂史									
237		羅山子		羅山子									
22	經緯	禮記	嘉	禮記 嘉									
78	經緯	禮記	記	禮記 記									
131	集文	選唐 洛神賦注	李善	洛神賦注 李善									

四部賦書	名撰者	要藝初覽類	正集備
144 史雜史類記 宋 洛陽閻記	張翥賢	爲相人有色豐貌多威類 豐貌爲山中人也	387 C15
16 子兵書兵法 周 六韜	呂望	有士女三散聖主得之獻於紂	387 387b
116 子小說傳奇 唐 劉涓子傳	薛調	劉涓子之妻鍾離春貌醜實明 貌若神仙中人	387 387b
55 史載記 北涼涼州記	段龜龍	隋王美人有彩色醜	387 387b
193 子小說傳奇 元 綠衣人傳	吾丘衍	有女子綠衣雙鬟行於大難 不憂被盜帥而盜者怒人	387 387b
175 子小說傳奇 宋 綠珠傳	樂史	美而醜事臨以珠趙王生好珠 故生男爲珠兒	387 387b
214 子小說雜錄 明 麗情集	徐淑	才德兼美	387 387b
	劉后	貌醜而豐而色	387 387b
	潘妃	東晉侯潘妃以金蓮花爲地	387 387b
	胡琴琵琶兒	宋侯潘妃率琵琶胡琴琵琶樂 美如戲曲而神兒	387 387b
	青娥	一美姬名青娥	387 387b
	呂用之	劉振妻段氏有國色	387 387b
	沈嘉真	第三班名貌好絕 漸露古風之	387 387b
29 史傳記列女 晉 列女傳	劉向	美而醜 晉侯潘妃之妹 孟姚 有彩色	387 387b
	趙姬	倡在齊襄王以其美而取之	387 387b
31 史傳記前漢 前漢 列女傳	蕭史	得法王王好之(蕭)	387 387b
194 子小說傳奇 元 道情一極傳	徐觀	極學也雅雅雅雅雅雅	387 387b
7 子謝氏傳 周 魯建子	魯仲連	古詩古詩古詩古詩古詩 不悅 醜色醜	387 387b
102 子小說雜錄 唐 盧氏雜說	盧言	盧氏提議嚴於時色 江陵寫居士有美姬	387 387b
200 史載記 明 雙起雜事	楊儀	張之信 錦一美姬	387 387b
191 子小說雜錄 元 珊瑚娘記	伊世珍	孩兒雜記 色雅雅雅雅雅	387 387b
37 子小說雜錄 論 衡 逢 遇 王充		好客人所好也以醜而色稱 補於上 瑣瑣無美之 穠於色醜都棄之	387 387b